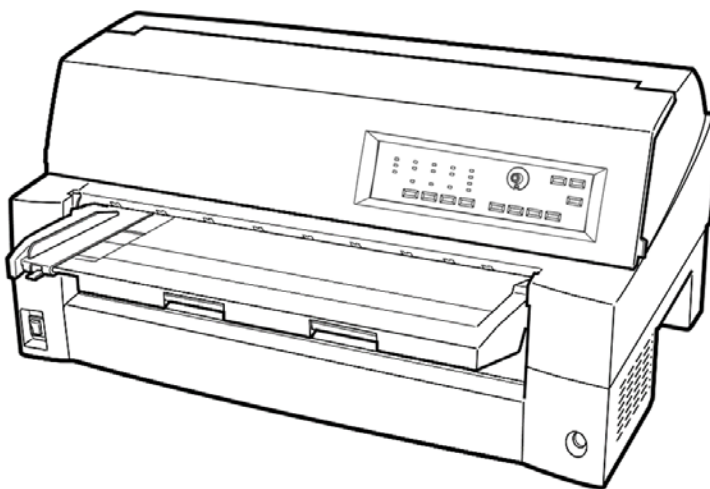


MultImpact シリーズ

シリアルドットインパクトプリンタ

ユーザーズマニュアル



MultImpact 720SEN

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

このマニュアルには、本プリンタを安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。本プリンタをご使用になる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアルに記載されている安全上の注意事項をよく読み、理解された上で本プリンタをご使用ください。また、このマニュアルは、当製品の使用中、いつでも参照できるように、大切に保管してください。

● VCCI 適合基準について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI－B

● 事業系の使用済製品の引取りとリサイクルについてのお願い

この製品の所有者が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

● 漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950-1）の漏えい電流基準に適合しております。

● 電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

● 長時間、または大量に印字するときの換気について

換気の悪い部屋で長時間使用するとき、または大量の印字を行うときは、適切な換気を行ってください。

● 騒音について

この製品は、印字中に騒音が発生しますので、事務所とは別室に設置することを推奨します。

は じ め に

このたびは、MultiImpact 720SEN プリンタをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、プリンタが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

2020 年 4 月



安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアルにはプリンタのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、プリンタ内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、 <u>人が死亡する、または重傷を負う</u> おそれがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、 <u>火傷やけがのおそれ、および物的損害</u> の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。
この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがある
ことを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	<u>発煙または発火</u> のおそれがあることを示します。
	<u>感電</u> のおそれがあることを示します。
	<u>火傷</u> を負うおそれがあることを示します。
	<u>けが</u> をするおそれがあることを示します。
	<u>指などがはさまれる</u> おそれがあることを示します。
	<u>特定しない一般的な注意・警告</u> を示します。







行為の禁止

行為の禁止は「⓪」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。 感電や火災 のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 感電や火傷などの傷害 が起こるおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。 感電 のおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。 感電 のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。 感電や発火 のおそれがあります。
	製品の近くで火器類を扱わないでください。 火災 の原因となるおそれがあります。
	直射日光を避けてください。 発火 のおそれがあります。
	破損した電源コードは使わないでください。 感電や火災 のおそれがあります。
	電源プラグを中途半端に差し込まないでください。 火災 のおそれがあります。
	不安定な場所を避けてください。 けが をするおそれがあります。
	電源コードをねじらないでください。 感電や火災 のおそれがあります。
	薬品類をかけないでください。 電源コードや本体電気部品の劣化による 感電や火災 のおそれがあります。
	手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて けが をするおそれがあります。
	特定しない一般的な行為の禁止を示します。



行為の強制

注意の喚起は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンタの電源コードをコンセントから抜いてください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	電源コードは添付のものを使ってください。専用品を使わないと <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	電源コードは AC100V のコンセントに差し込んでください。 <u>火災や漏電</u> のおそれがあります。
	アース線を接続してください。万一漏電した場合に <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
	特定しない一般的な行為の強制を示します

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の記号を使っています。

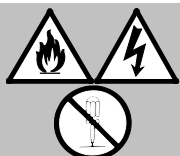
記号	内 容
 重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
 チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンタが正しく動作しないことがあります。

警告



煙や異臭・異音がしたら電源をOFFにする

万一、煙・異臭・異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源コードをコンセントから抜いてください。その後、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。



分解・修理・改造はしない

カバーをはずしたり、分解、修理、改造をおこなったりしないでください。本プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。



針金や金属片を差し込まない

本プリンタのすきまから金属片や針金などの異物を落としたり、差し込んだりしないでください。感電や故障のおそれがあります。



ぬれた手で触らない

ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。また、通電中にぬれた手で本プリンタ側面のインターフェース部や本プリンタ内部に触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。



火の中に投げ入れない

本プリンタおよび本プリンタ内蔵部品を火の中に投げ入れないでください。プラスチック部分が溶け出して、有害な成分が発生することがあります。

注意



100V以外のコンセントに差し込まない

電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏電になるおそれがあります。



電源コードは本体付属品を使用する

付属品以外を使用すると、火災のおそれがあります。



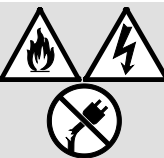
電源コードを中途半端に差し込まない

電源コードはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、電源のプラグ部は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよく拭き取ってください。ほこりがたまったら、水滴などが付くと発熱し、火災となるおそれがあります。



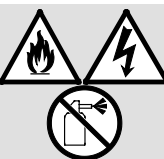
延長コードは使用しない

電源コードだけでコンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの容量超過により発熱するおそれがあります。



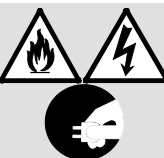
損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い上げの販売店またはサポート窓口へ修理を依頼してください。



電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源コードを抜くときは電源プラグ部を持っておこなってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。



長期間使用しないときは電源コードを抜く

連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためプリンタ本体および電源コードを抜いてください。火災の原因となることがあります。



ほこり・湿気の多い場所で使用しない

本プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。



直射日光が当たる場所、温度変化の激しい場所には置かない

本プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。また温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）、湿気の多い場所には設置しないでください。温度変化により内部の温度が上がったり、結露現象が起こったりして、故障の原因となるばかりでなく、異常動作したり、火災を引き起こしたりすることがあります。



不安定な場所に置かない

本プリンタを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。



調理台や加湿器、熱器具のそばなど、油煙や湯気、熱が当たる場所に置かない

絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が溶け、火災・感電の原因となるおそれがあります。



本プリンタの上に重い物を置かない

置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるおそれがあります。



腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。プリンタ内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。



配線部には触らない

動作中でなくても、電源がONになっているときに配線部に触ると、感電するおそれがあります。



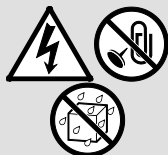
高温部品に触らない

カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてからおこなってください。本プリンタの動作直後に触ると火傷するおそれがあります。



指を挟まない

カバーの開閉時に指を挟まないように気を付けてください。けがをすることがあります。



本プリンタ内に異物を入れない

本プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。
もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご連絡ください。



突起物に手などをぶつけない

本体内部の突起物などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。



本プリンタを落としたり、強い衝撃を与えたりしない

カバーなどが破損し、火災・感電のおそれがあります。万一、本体を落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはサポート窓口へご連絡ください。



巻き込み注意

本プリンタの動作中、用紙を交換するときは本プリンタのギヤなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをすることがあります。



雷が鳴りだしたら本プリンタに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源コードをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて本プリンタには触らないでください。



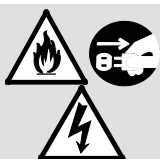
お手入れの際は、電源コードをコンセントから抜く

感電の原因となるおそれがあります。



シンナーやベンジンなどの薬品類で本プリンタを拭かない

火災の原因となるおそれがあります。



移動するときは、電源コードを抜く

接続したまま移動すると電源コードが傷つき、火災・感電の原因となるおそれがあります。



本プリンタを子供に使わせたり、幼児の手の届くところに置いたりしない
感電・けがの原因となるおそれがあります。



動作中はトップカバーを閉じてご使用ください。

けがのおそれがあります。



カバーなどを破損した場合は、電源コードをコンセントから抜きお買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせください。

そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。



壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師に相談してください。



目や口にインクを入れない

インクリボンのインクを目や口に入れないでください。インクが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。



電源コードをたこ足にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

■ 装置上のマークの説明

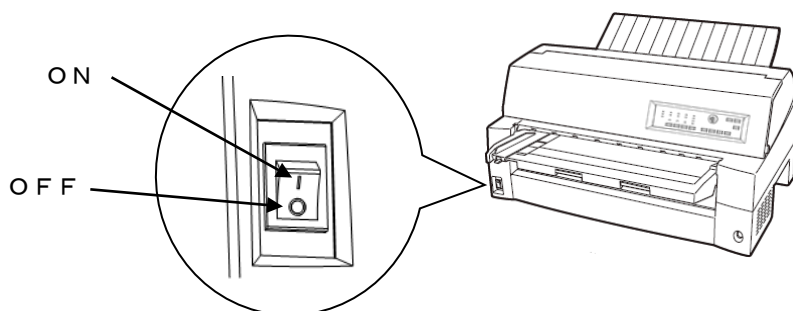
本製品には、注意ラベル、警告ラベルが貼ってあります。

内容をご覧になり、安全にお使いください。

注意ラベル、警告ラベルは、絶対に剥がしたり、汚したりしないでください。

・ 電源スイッチ

プリンタの電源をON (印字可能状態) / OFF (印字不可能状態)にします。

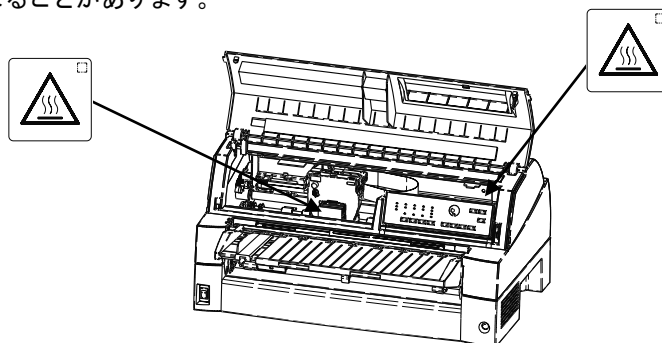


・ 印字ヘッド／駆動モーター

使用中や印字した直後は、印字ヘッドやプリンタ内部が高温になります。

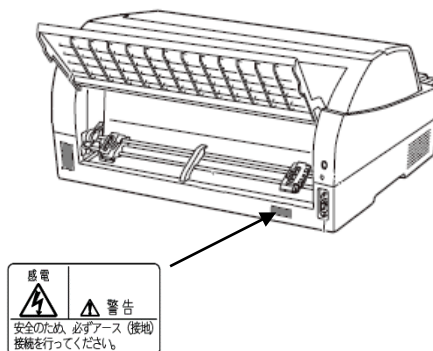
温度が下がるまで印字ヘッドやプリンタ内部に触れないでください。

けがや、やけどの原因となることがあります。



・ 警告表示

必ずアース接続(接地)を行ってください。けがややけど、感電の原因となることがあります。



商標について

NEC、NEC ロゴ、MultiImpact ロゴは日本電気株式会社の登録商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

MultiImpact 720SEN の「PR-NP-905 LAN ボード」が使用するオープンソースソフトウェアについて

「PR-NP-905 LAN ボード」は、GNU GPL、LGPL または BSD License 等でライセンスされるオープンソースソフトウェアを使用しています。これらのソフトウェアに適用されているライセンス全文は、ソフトウェア CD-ROM に格納されています。

以下のファイルを参照してください。

ドライブ名 : ¥Manual¥License.txt

GNU GPL、LGPL またはその他のソースコード提供が必要なライセンスの元で使用を許諾されているソフトウェアのソースコードにつきましては、本製品の出荷後 3 年間、ご希望に応じて提供いたします。ご希望の方は、NEC プリンタインフォメーションセンターまでご連絡ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© NEC Corporation, NEC Embedded Products, Ltd. 2020

日本電気株式会社、NEC エンベデッドプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などをおこなうことはできません。

目次

製品を安全に使用していただくために	2
は じ め に	3
安全にかかわる表示	4
■ 装置上のマークの説明	13
商標について	14
MultiImpact 720SEN の「PR-NP-905 LAN ボード」が使用する オープンソースソフトウェアについて	14
第 1 章 お使いになる前に	19
1.1 主な特長	20
1.2 製品の内容	21
■ 添付品	21
■ オプション・消耗品	22
1.3 使用上のお願い	23
■ 設置場所について	23
■ 電源について	24
■ 使用方法について	24
■ パソコンの BIOS 設定について（対象：DOS/V 互換機）	24
1.4 各部の名称とはたらき	25
■ 各部の名称	25
■ 各部のはたらき	26
1.5 プリンタを設置する	28
■ 設置手順	28
■ 輸送用固定材の取り外し	29
■ 単票テーブルのセット	30
■ 単票テーブルの取り扱いについて	31
■ スタッカの取り付け	32
■ パソコンとの接続	33
■ 電源コードの接続	35
1.6 電源の投入と切断	36
■ 電源を入れる	36
■ 電源を切る	37
1.7 インクリボンカートリッジを取り付ける	38
1.8 トラクタフィーダの位置を決める	40
■ トラクタフィーダの着脱について	41
1.9 テスト印字をする	45
第 2 章 プリンタの機能とその使いかた	47
2.1 操作パネルの機能	48
■ ランプ	49
■ スイッチ	50
2.2 操作パネルを操作する	51
■ オンライン状態とオフライン状態を切り替える	51
■ 印字開始位置を微調整する	51
2.3 オンライン状態で行う操作	52
■ 用紙をカットする	52
■ 単票用紙の排出方向を切り替える	52
■ 印字モードを切り替える	53
■ 高複写モードに切り替える	53

2.4	オフライン状態で行う操作	54
■	用紙の吸入や排出を行う	54
■	改行する	55
■	改ページを行う	55
■	給紙口を切り替える	56
■	紙厚調整モードを切り替える	56
2.5	単票手差しの方法を切り替える	57
2.6	プリンタをリセットする	58
2.7	機能設定を変える	59
■	機能設定の変えかた	59
■	オフラインセットアップモードでの設定変更例（設定一覧を印字する場合）	61
■	『紙厚調整』を「自動」から「手動」に変更する例	62
■	『連帳ページ長』を「66 行」から「75 行」に変更する例	64
■	設定を工場出荷値に戻す	65
■	機能設定の種類	66
2.8	行間ズレを直す	83
2.9	用紙吸入量を調整する	86
2.10	連続帳票用紙をカット位置に送る	87
■	カット位置に送る	87
■	カット位置の補正方法	89
2.11	HEX ダンプ印字をする	90
2.12	自動検出機能	91
第3章	用紙のセット	92
3.1	用紙をセットする	93
■	連続帳票用紙をセットする（前トラクタフィーダ給紙の場合）	93
■	連続帳票用紙をセットする（後トラクタフィーダ給紙の場合）	100
■	連帳用紙をセットする（連帳セットフリーオン時）	106
■	単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時）	108
■	単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）	113
■	単票用紙をセットする（カットシートフィーダを取り付けた場合）	116
■	単票用紙をセットする（CSFセットフリーオン時）	120
3.2	用紙厚を調整する	122
3.3	印字開始位置について	125
■	印字開始位置（行方向）を微調整する	126
第4章	用紙について	127
4.1	用紙使用上のご注意	128
■	連続帳票普通紙	128
■	連続帳票特殊紙	130
■	単票普通紙	132
■	単票特殊紙	133
4.2	連続帳票用紙	135
■	一般用紙（前・後トラクタフィーダ）	139
■	はがき用紙（前トラクタフィーダ）	140
■	封筒用紙（前・後トラクタフィーダ）	141
■	タック用紙（前・後トラクタフィーダ）	143
■	宅配伝票（前トラクタフィーダ）	145
4.3	手差しで使用する単票用紙	146
■	一般用紙	146
■	用紙のとじ方法	148
■	はがき	148
■	封筒	149

■ 宅配伝票	151
4.4 カットシートフィーダ (オプション) で使用する単票用紙	152
■ 一般用紙	152
■ 用紙のとじ方法	154
■ はがき	155
■ 封筒	156
4.5 プレプリント用紙を使用するとき	157
4.6 とじ穴の開けかた	160
4.7 用紙の形状について	161
4.8 取り扱い上のご注意	162
第5章 日常の保守	163
5.1 インクリボンカートリッジを交換する	164
5.2 プリンタの清掃	166
第6章 故障かな?と思ったときは	167
6.1 プリンタがうまく動かないとき	168
■ エラーメッセージが表示されている	168
■ 電源投入時の不具合	170
■ 単票用紙吸入時の不具合	171
■ 単票用紙排出時の不具合	173
■ 連帳用紙吸入時の不具合	174
■ 印字中の問題点	175
■ 印字結果の問題点	176
■ 印字位置の問題点	178
■ 印字位置がページによってズれる	179
■ カットシートフィーダ使用時の不具合	180
6.2 用紙づまりのとき	182
■ 連続帳票用紙がつまったとき	182
■ 単票用紙がつまったとき	187
■ スタッカ部に用紙がつまったとき	189
■ カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき	191
6.3 保証および修理の依頼について	194
6.4 プリンタを輸送するとき	196
6.5 プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について	197
第7章 オプション	198
7.1 カットシートフィーダを取り付ける	199
■ プリンタ前部 (前側) に取り付ける	199
■ プリンタ後部 (後ろ側) に取り付ける	204
7.2 カットシートフィーダを取り外す	206
付 録	208
プリンタの概略仕様	209
外観図	212
■ 標準外観図	212
■ カットシートフィーダ (オプション) 取り付け時の外観図	213
インターフェース仕様	214
■ パラレルインターフェース	214
■ USB インターフェース仕様	218
■ LAN インターフェース仕様	219
プリンタエミュレーションの制限事項	220
初期状態	221
キャラクタコード一覧表	223

非漢字一覧表	225
JIS ⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覧表	228
JIS ⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覧表	231
■ ご注意	234

第 1 章

お使いになる前に

この章では、プリンタの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、インクリボンカートリッジの取り付け、電源の投入/切断について説明します。

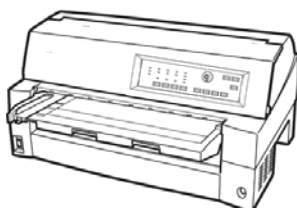
1.1 主な特長

- ◆ 斜行自動補正機能
 - ・ 単票手差しは、どの位置でも用紙を軽くセットするだけで、プリンタが単票用紙の傾きを検出し、傾きを補正して自動的に印字位置を調整する機能（斜行自動補正機能）を搭載しています。
- ◆ 自動印字位置補正機能（セットフリー機能）
 - ・ 単票テーブル、カットシートフィーダ、トラクタフィーダから吸入する用紙の用紙端面を検出し、自動的に印字位置を調整する機能（セットフリー機能）を搭載しています。
- ◆ 優れた媒体ハンドリング
 - ・ 単票テーブル、カットシートフィーダを前後に装着することで、単票が装置の前後から用紙吸入が可能となり、あらゆる設置環境に対応可能です。
- ◆ 着脱式トラクタフィーダ
 - ・ トラクタフィーダは着脱式で、プリンタの前部と後部に装着可能です。
- ◆ 高い複写能力
 - ・ 標準モードでオリジナル+4Pの複写能力を実現。
さらに、高複写モードにすることにより、最大オリジナル+7Pまで使用可能です。
- ◆ USB ケーブルでの接続が可能
 - ・ USB2.0 TypeB コネクタケーブルでの USB インターフェースをサポート。
- ◆ ESC/P コマンドに対応
 - ・ ESC/P コマンド（180dpi）に準拠。
- ◆ 環境対応
 - ・ 国際エネルギースタープログラム画像機器基準 Ver3.0 の基準に適合した低消費電力を実現しています。

1.2 製品の内容

■ 添付品

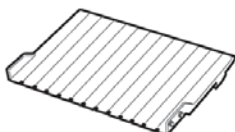
お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。
なお、プリンタが入っていた箱、および梱包材、固定材は、プリンタの保管・輸送の際に必要なになりますので捨てないでください。



プリンタ本体



変換プラグ 電源コード



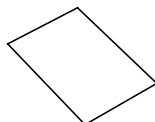
スタック



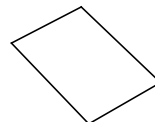
インクリボンカートリッジ（黒、1個）



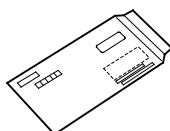
プリンタソフト
ウェア CD-ROM



ソフトウェア
ご使用条件



クイック
スタートガイド



保証書

———お使いになる前に次のことを忘れずに行ってください。———

- ・ 本プリンタにプリンタケーブルは含まれていません。プリンタケーブルは、別途用意してください。
- ・ 添付の保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。
お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
詳しくは、「6.3 保証および修理の依頼について(194 ページ)」をご参照ください。
- ・ 保証書は大切に保管してください。

■ オプション・消耗品

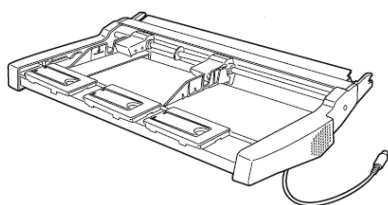
品名	型番	備考
カットシートフィーダ (CSF)	PR-D720AE-04	オプション ※1
トラクタフィーダ	PR-D720AE-03	オプション ※2
インクリボンカートリッジ (黒)	PR-D720SE-01	消耗品
交換用インクリボン (黒)	PR-D720SE-02	消耗品
プリンタケーブル	PC-PRCA-01	1.5m ※3
	PC-CA205	4m ※3
USBケーブル	PR-T300S-U01	※4
プリンタ卓	PR-D201X-09A	プリンタを置く台

※1: カットシートフィーダ (CSF) は、プリンタの前部と後部に装着することができます。前部に装着したカットシートフィーダを前カットシートフィーダ、後部に装着したカットシートフィーダを後カットシートフィーダと呼びます。

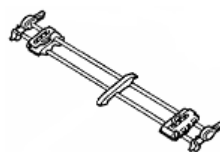
※2: トラクタフィーダは、プリンタの前部と後部に装着することができます。前部に装着したトラクタフィーダを前トラクタフィーダ、後部に装着したトラクタフィーダを後トラクタフィーダと呼びます。

※3: IEEE1284 規格準拠の平行インターフェースケーブル

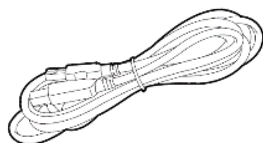
※4: USB2.0 規格認証のインターフェースケーブル



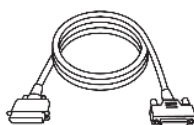
カットシートフィーダ (CSF)



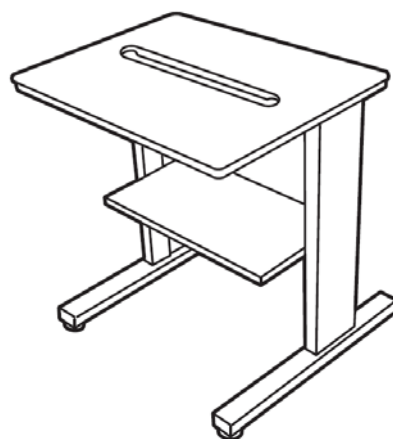
トラクタフィーダ



USB ケーブル



プリンタケーブル



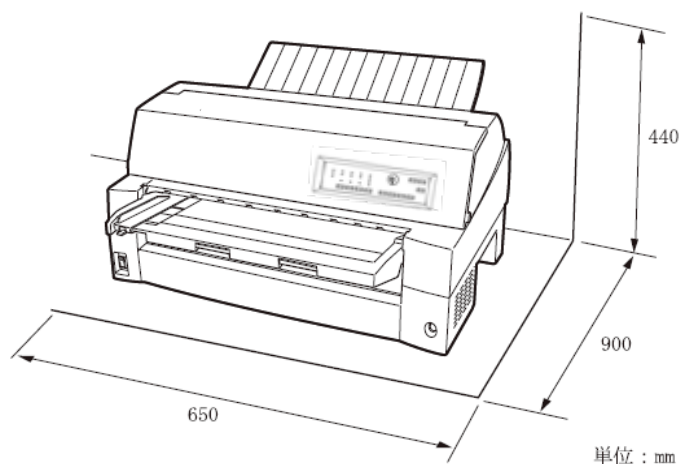
プリンタ卓

1.3 使用上のお願い

このプリンタを使用するには、以下の点に十分留意されるようお願いいたします。

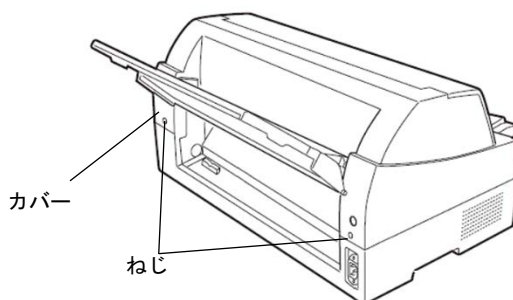
■ 設置場所について

- ・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
 - ・周囲温度：5℃ ～ 35℃
 - ・周囲湿度：20% ～ 80%（結露しないこと）
- ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所、火気のある場所、水気のある場所は避けてください。
- ・テレビやスピーカーなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。
- ・プリンタを設置するときに必要なスペースは下図のとおりです。
十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。



警告

ねじを緩めたりカバーを外したりしないでください。感電の原因となることがあります。保守は資格のある者が行う必要があります。



■ 電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を使用してください。

- ・ 電源電圧 : AC100V \pm 10%
- ・ 電源周波数 : 50/60Hz +2%, -4%

■ 使用方法について

- ・ 用紙およびインクリボンカートリッジをセットしていない状態で、印字しないでください。印字ヘッドやプラテンが傷む原因となります。
- ・ 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。プリンタの故障の原因となります。

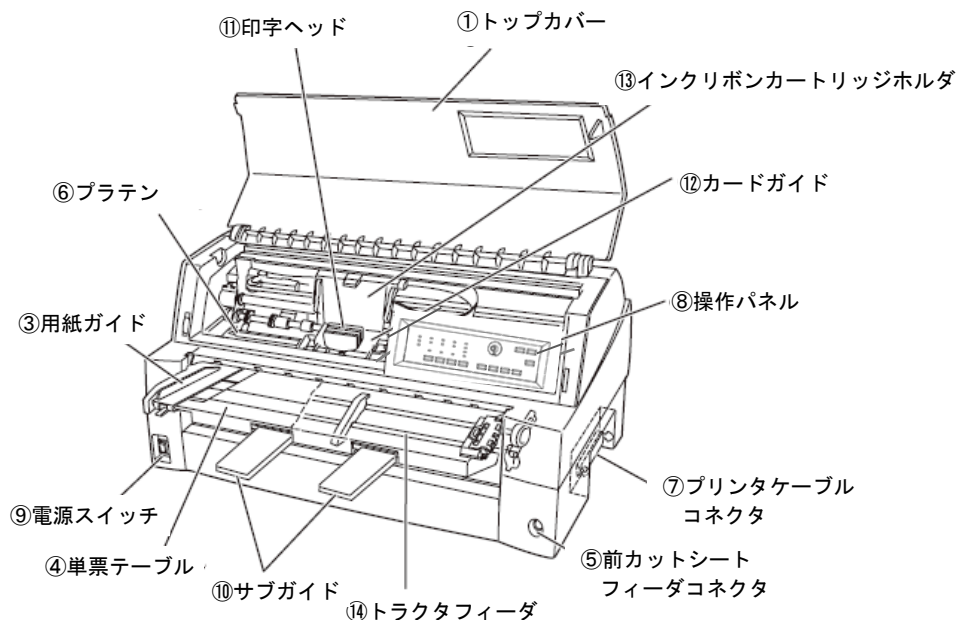
■ パソコンの BIOS 設定について（対象：DOS/V 互換機）

本プリンタを接続するパソコンの平行インターフェースのポート設定は、必ず「Bidirectional（双方向）」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンのマニュアルを参照してください。

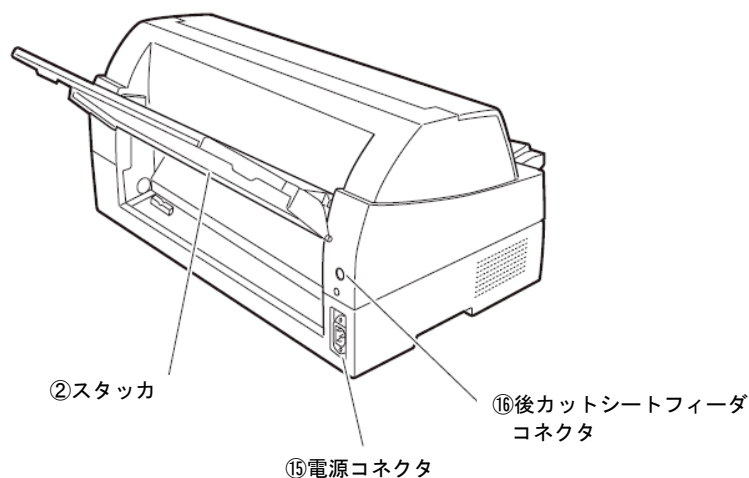
1.4 各部の名称とはたらき

■ 各部の名称

◆ 正面（前部）



◆ 背面（後部）



■ 各部のはたらき

各 部 の 名 称	は た ら き
① トップカバー	オペレーターが動作中の印字ヘッドに触れない様に保護します。 また、印字ヘッドをほこりやちりから守ります。トップカバーを開けるとプリンタはオフライン状態になります。印字を行う場合は、トップカバーを閉じて、オンライン状態にしてください。
② スタッカ	単票用紙をスタックします。
③ 用紙ガイド	単票セットフリーがオフの場合に、単票手差し時に用紙の左端を支えます。 印字開始位置に対して用紙ガイドを移動することにより、左端余白を調整できます。 単票セットフリーがオンの場合は使用しないで、左端に寄せておきます。
④ 単票テーブル	手差し単票用紙を使用するときのテーブルです。
⑤ 前カットシート フィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを装置前部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。
⑥ プラテン	印字時に用紙を支えます。
⑦ プリンタケーブル コネクタ	プリンタケーブルを接続するコネクタです。
⑧ 操作パネル	プリンタの状態表示、プリンタを操作するための各種スイッチがあります。 詳細は、「2.1 操作パネルの機能（48 ページ）」を参照
⑨ 電源スイッチ	「 」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑩ サブガイド	長い単票を使用するとき、引き伸ばして用紙がプリンタから落下しないようにするガイドです。
⑪ 印字ヘッド	用紙に印字する部品です。
⑫ カードガイド	用紙を送るときの案内板です。また、カードガイド上の二本線は、行方向の印字位置を合わせるための目安です。

各 部 の 名 称	は た ら き
⑬ インクリボンカートリッジホルダ	インクリボンカートリッジを取り付けるところです。
⑭ トラクタフィーダ (プリンタ前部に装着した場合 前トラクタフィーダ、背部に 装着した場合後トラクタフ ィーダと呼びます。)	連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。 プリンタの前部または後部に取り付けることが できます。 後トラクタフィーダ給紙時は、前トラクタフ ィーダ(標準装備)を後部に付け替え、または、オプ ションのトラクタフィーダの追加装着が必要です。
⑮ 電源コネクタ	電源コードを接続します。
⑯ 後カットシート フィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを装置後部 に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続する コネクタです。

✓ チェック

- ・ プリンタの電源が入っているときは、印字ヘッドに触れたり無理な力を加えたりしないでください。
- ・ 印字中は、トップカバーを開けないでください。
トップカバーを開けると、印字が中断されます。
カバーを閉じた後に、自動的に中断した位置から印字を再開しますが、印字品質が低下することがあります。

1.5 プリンタを設置する

■ 設置手順

プリンタは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 箱の中身を確認する

箱の中身は「1.2 製品の内容（21 ページ）」を参照してください。

2 カバー部品を固定しているテーピング、固定部材を外す

3 トップカバーを開けて輸送用固定材を外す

輸送用固定材の取り外しについては、「輸送用固定材の取り外し（29 ページ）」を参照してください。

4 単票テーブルをセットする

単票テーブルのセットについては、「単票テーブルのセット（30 ページ）」を参照してください。

5 スタッカを取り付ける

スタッカの取り付けについては、「スタッカの取り付け（32 ページ）」を参照してください。

6 トラクタフィーダ給紙の前後の位置を選択する

トラクタフィーダ給紙の前後の選択については、「1.8 トラクタフィーダの位置を決める（40 ページ）」を参照してください。

トラクタフィーダの位置変更については、「トラクタフィーダの着脱について（41 ページ）」を参照してください。

7 電源コードを接続する

電源コードの接続については、「電源コードの接続（35 ページ）」を参照してください。

8 インクリボンカートリッジを取り付ける

インクリボンカートリッジの取り付けについては、「1.7 インクリボンカートリッジを取り付ける（38 ページ）」を参照してください。

9 必要に応じて機能設定を変更する

機能設定の変更方法については、「2.7 機能設定を変える」（59 ページ）を参照してください。

10 パソコンと接続する

プリンタケーブル（別売り）を準備します。

パソコンとの接続については、「パソコンとの接続（33 ページ）」を参照してください。

11 テスト印字を行う

テスト印字を行います。テスト印字の方法について、「1.9 テスト印字をする（45 ページ）」を参照してください。

■ 輸送用固定材の取り外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。

プリンタを使用する前に、必ず取り外してください。

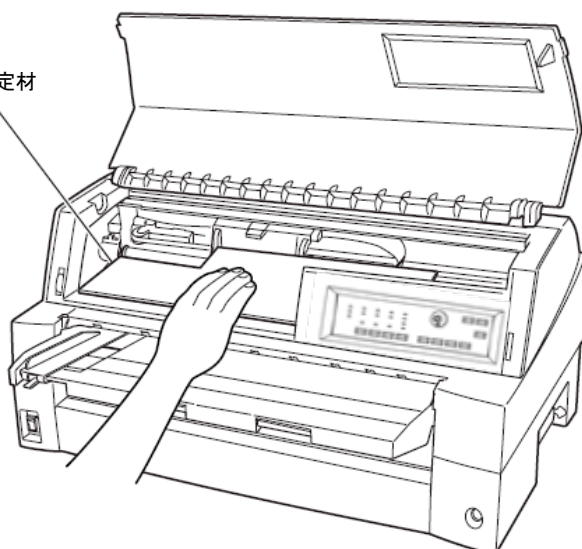


チェック

取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

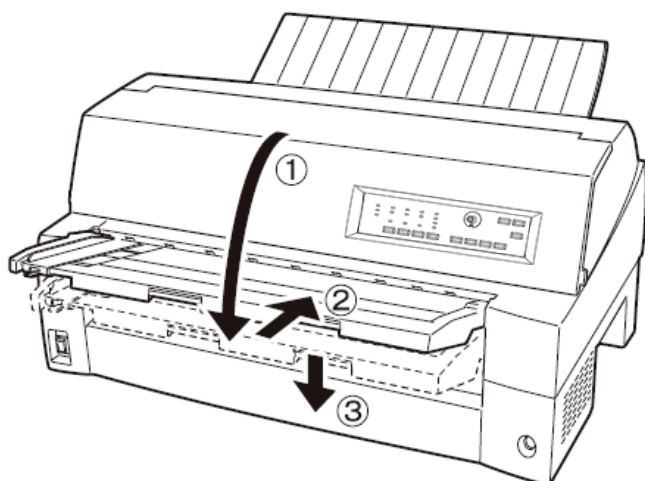
トップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取ります。

輸送用固定材

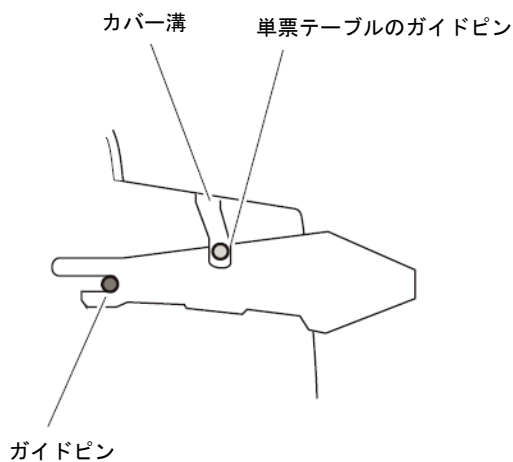


■ 単票テーブルのセット

下図のように単票テーブルを回転させた(①)のち、奥に押し込んで(②)セットします(③)。



セット完了状態は下図のように、単票テーブルの先端がプリンタのガイドピンに挿入され単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていることを確認してください。



✓チェック

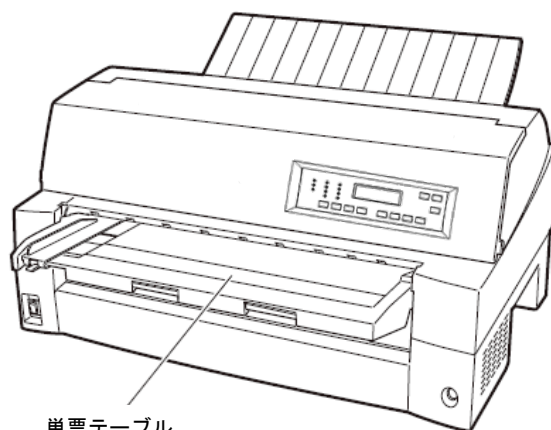
単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。
破損の原因となります。
また、途中の状態で放置しないようにしてください。
単票テーブルをセットしている途中の状態で使用すると、用紙づまりの原因となります。

■ 単票テーブルの取り扱いについて

単票テーブルは、連続帳票用紙を前トラクタフィーダにセットするときや、カットシートフィーダをプリンタ前部に取り付けるときに、いったん開閉する必要があります。

◆ 通常時

通常は下図のような状態です。



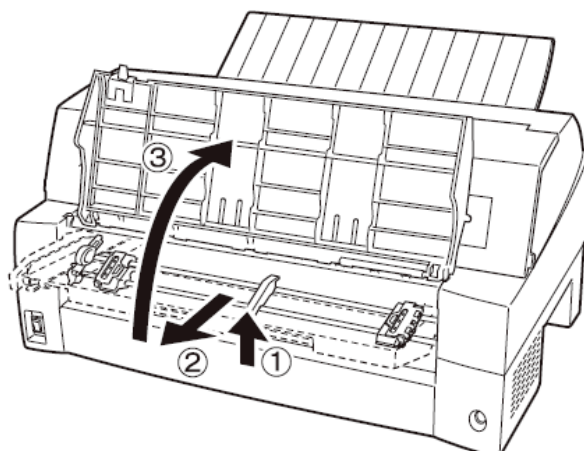
単票テーブル

◆ 開いた状態

前トラクタフィーダ着脱時、前トラクタフィーダに連続帳票用紙をセットする時、およびオプションのカットシートフィーダをプリンタの前部に取り付ける時は、単票テーブルを開いた状態にします。以下の方法で行います。

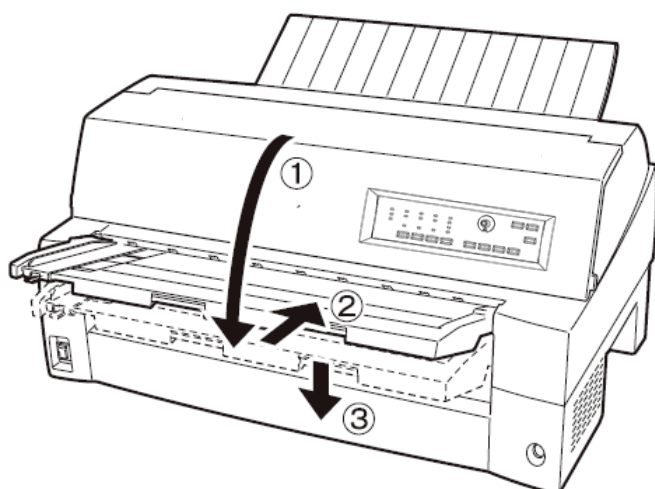
1 単票テーブルを開く

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



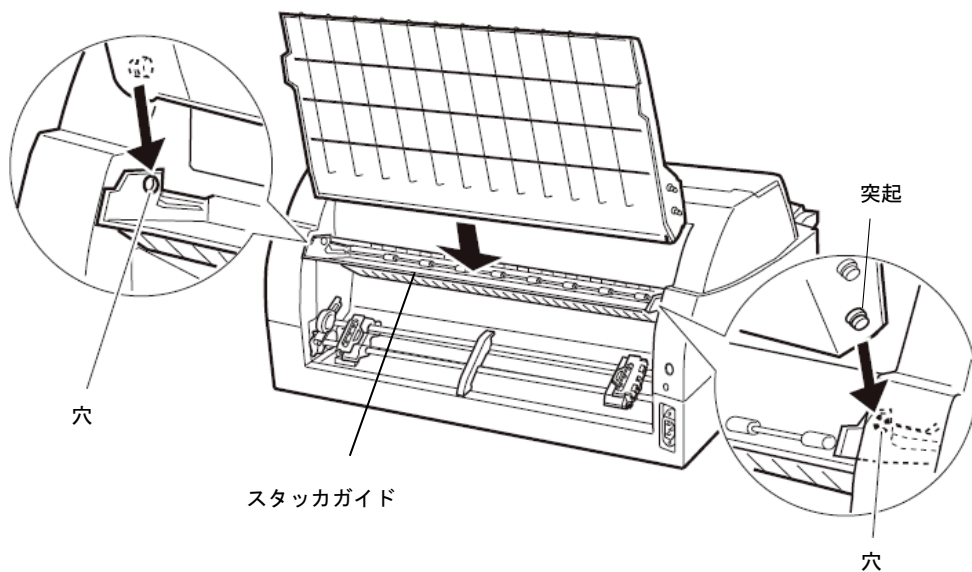
2 単票テーブルを閉じる

下図のように回転させた (①) のち、奥に押し込んで (②) 閉じます (③)。



■ スタッカの取り付け

下図の様にプリンタ背面のスタッカガイドの内側の穴にスタッカ両側の突起をはめます。



■ パソコンとの接続

このプリンタはパラレルインターフェース、USB インターフェースおよび LAN インターフェースを備えています。各インターフェースのケーブルは接続するパソコンによって異なります。別途用意してください。



注意

- ・ ケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。
- ・ ケーブルの接続は間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、プリンタ本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

パソコンとの接続は、次の手順で行います。

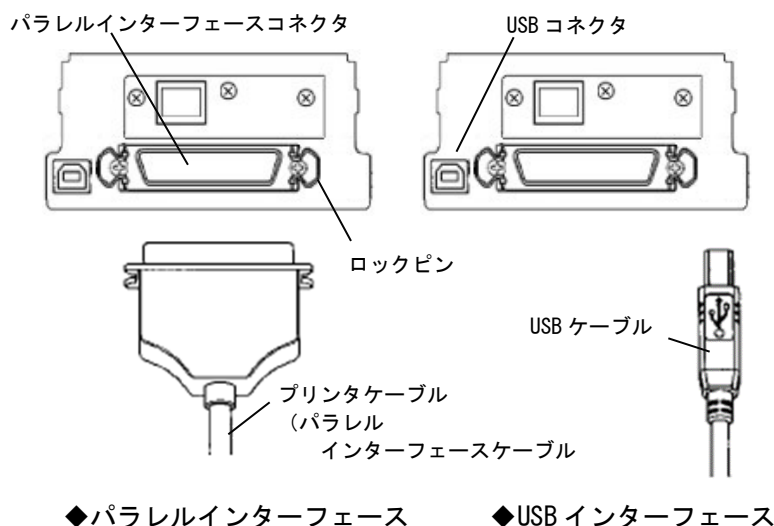
1 プリンタとパソコンの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

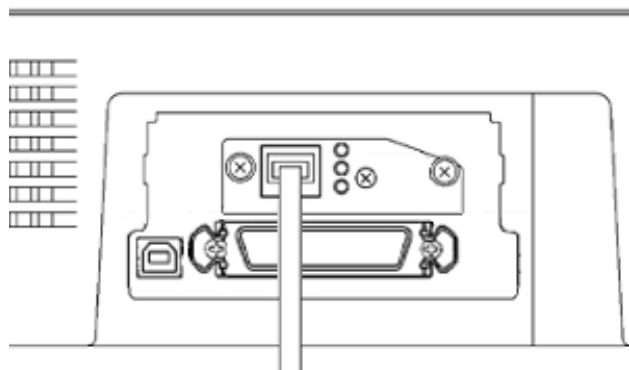
2 ケーブルをプリンタに接続する

ケーブルの一方を、プリンタのコネクタに差し込みます。
パラレルインターフェースの場合は、左右のロックピンで固定します。

〈パラレルインターフェースおよび USB インターフェースの場合〉



〈LAN インターフェースの場合〉



◆ LAN インターフェース

- ・ USB インターフェースとの同時接続はできません。USB ケーブルが接続されていると、LAN インターフェースは無効となります。

3 ケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。



注意

- ・ USB インタフェースは全ての USB 対応機器との接続を保証するものではありません。
- ・ USB ケーブルは USB2.0 に準拠したケーブルを用意してください。
- ・ パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- ・ 印字中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- ・ USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- ・ 本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- ・ USB 変換ケーブルで接続した場合、プリンタを認識しなかったり、正しい印字が行えない場合があります。

■ 電源コードの接続



添付の電源コード以外は使用しないでください。
変換プラグを使用する場合、変換プラグから出ている緑/黄色のしま模様のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。（アース接続）

- ・コンセントのアース端子
 - ・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
 - ・接地工事（D 種（第 3 種））を行なっている接地端子
- 必ずアース接続を行ってください。

アース接続をしないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

アース接続は、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。

また、アース接続を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コード、変換プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。

電源コードの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

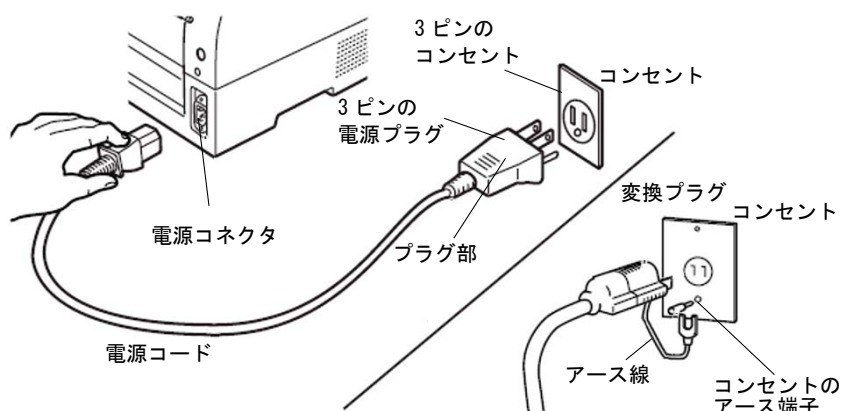
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタに電源コードを差し込む

プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続します。

3 電源コードをコンセントに差し込む

できるだけ 3 ピンの電源プラグを使用してください。もし 3 ピンのコンセントがない場合は、添付の変換プラグを使用し、変換プラグのアース線をコンセントのアース端子に接続してから変換プラグをコンセントに差し込んでください。



1.6 電源の投入と切斷

プリンタの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

■ 電源を入れる



チェック

購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。

- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、周波数が 50 または 60Hz であること

トップカバーが閉じていることを確認して、プリンタの前面にある電源スイッチを（|）側に倒します。

「電源」ランプが点灯します。

電源スイッチ（|）側



点灯

- 電 源
- スタンバイ
- オンライン

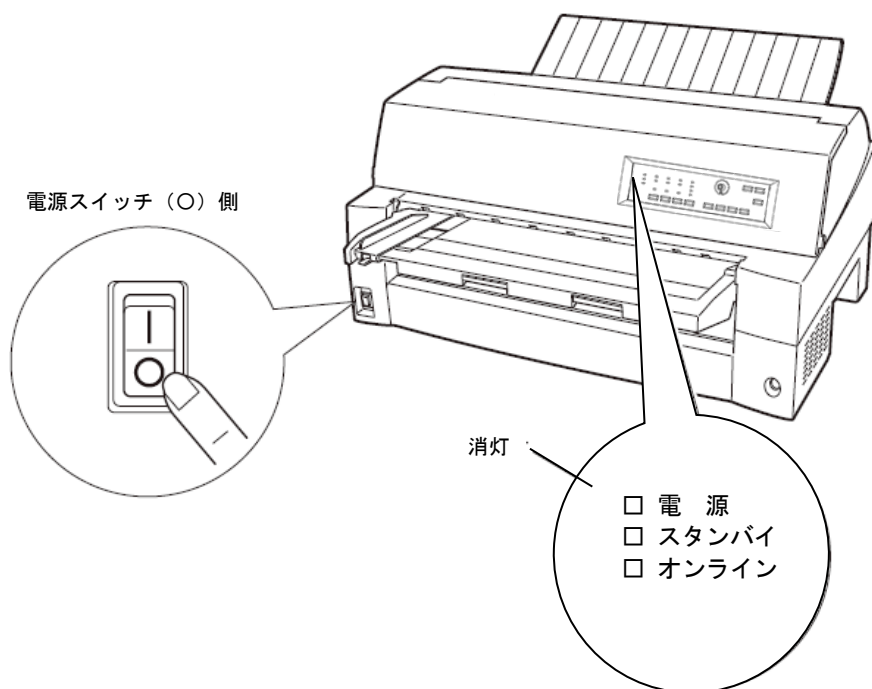
■ 電源を切る



- ・ 電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。
電源プラグを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたりする場合があります。
- ・ 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- ・ 電源を切った後、再び電源を入れる場合は、4 秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源」ランプが点灯しているときは、電源スイッチを（○）側に倒します。

「電源」ランプが消灯します。



1.7 インクリボンカートリッジを取り付ける

インクリボンカートリッジの取り付けは、次の手順で行います。

- 1 プリンタをインクリボンカートリッジが交換できる状態にする
印字ヘッドの輸送用固定材が取り外されていることを確認した後、
トップカバーを閉じた状態で電源を投入します。
印字ヘッドが移動し、インクリボンカートリッジ交換位置に停止することを確認します。



トップカバーが開いていると印字ヘッドは動作しません。
トップカバーを閉めて電源を投入してください。

- 2 プリンタの電源を切る
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。
- 3 トップカバーを開ける
- 4 印字ヘッドがインクリボンカートリッジ交換位置（プリンタ本体に刻印があります）にあることを確認する
印字ヘッドがインクリボンカートリッジ交換位置にない場合は、印字ヘッド部分を持ち、ゆっくり横方向へ移動させてください。



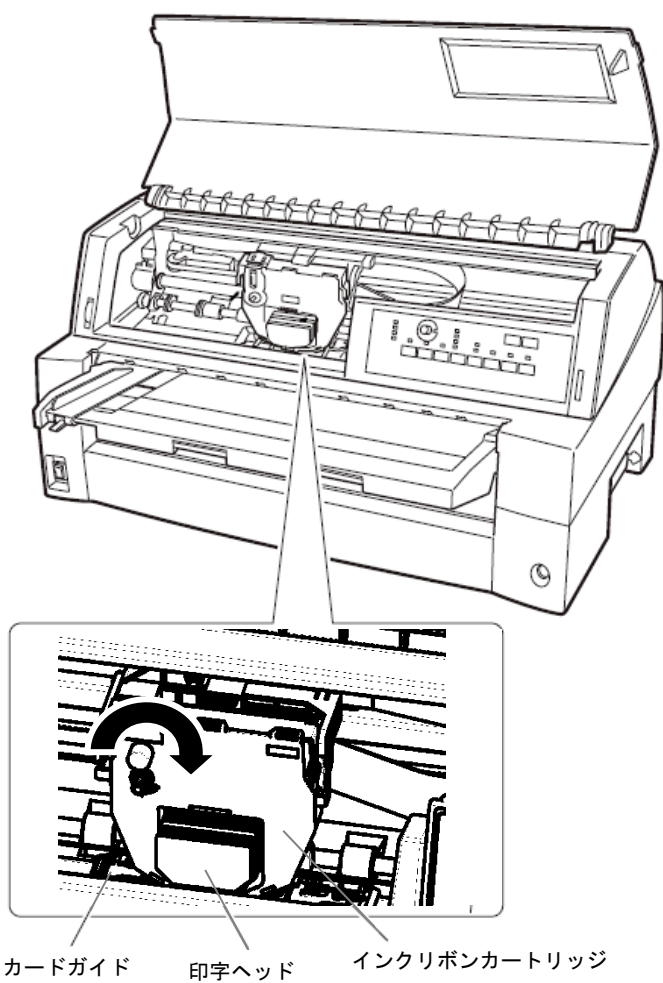
注意

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

- 5 インクリボンカートリッジを取り付ける
印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、インクリボンカートリッジをゆっくり押し込みます。

6 リボンのたるみを取る

リボン巻取りノブを時計方向に回して、リボンのたるみを取ります。



7 トップカバーを閉める

1.8 トラクタフィーダの位置を決める

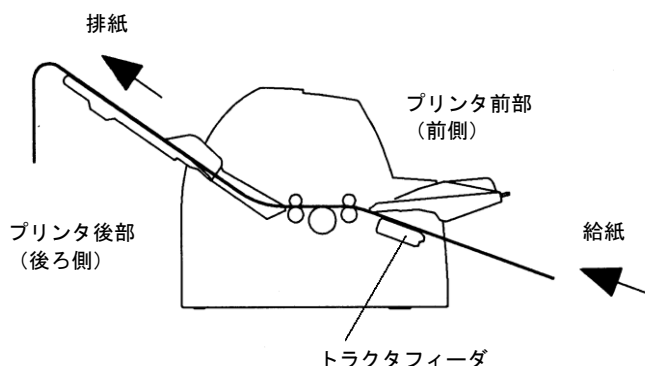
本プリンタは前後共通の着脱式トラクタフィーダを使用しているため、設置条件、業務形態に応じてトラクタフィーダ給紙の前後の位置を選択して使用できます。

工場出荷時はプリンタ前部（前側）に搭載されていますが、必要に応じて後部（後ろ側）に付け替えてご使用ください。

なお、オプションのトラクタフィーダを追加すれば、前後にトラクタフィーダを取り付けて使用することができます。

◆ トラクタフィーダをプリンタ前部（前側）に搭載したときの特長

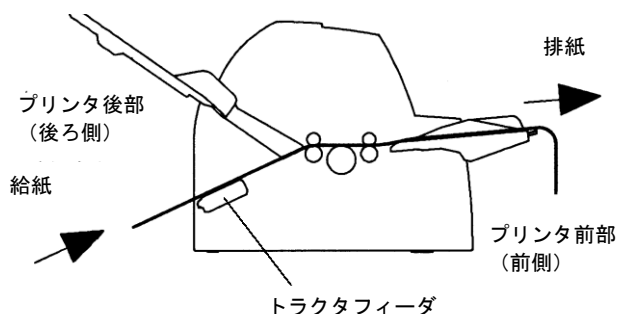
手前側より連続用紙を交換することができ、頻繁に用紙を交換する業務に適しています。



プリンタを横から見た図

◆ トラクタフィーダをプリンタ後部（後ろ側）に搭載したときの特長

手前側で用紙のカットが行いやすく、頻繁に用紙をカットするような業務に適しています。用紙のカット方法は「2. 10 連続帳票用紙をカット位置に送る (87 ページ)」を参照してください。



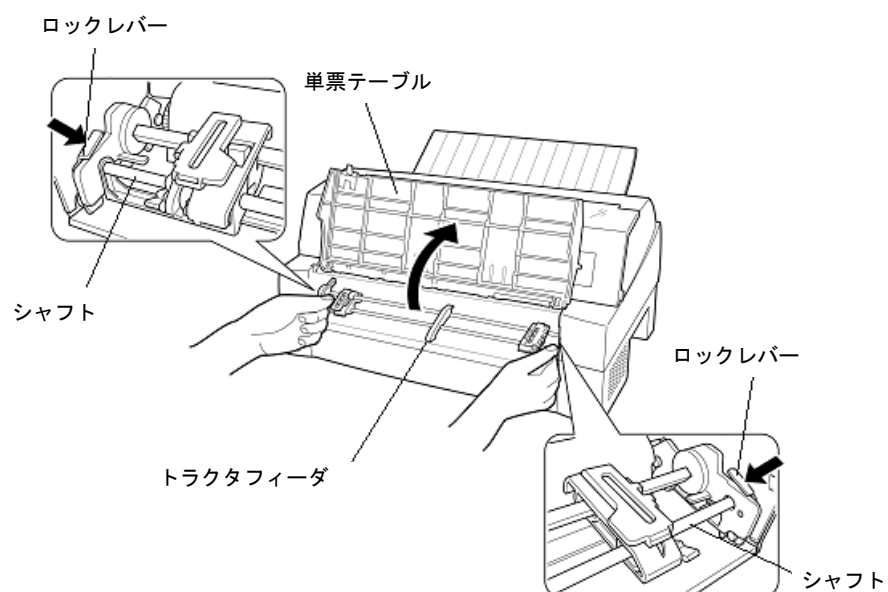
プリンタを横から見た図

■ トラクタフィーダの着脱について

◆ プリンタ前部（前側）へのトラクタフィーダの脱着

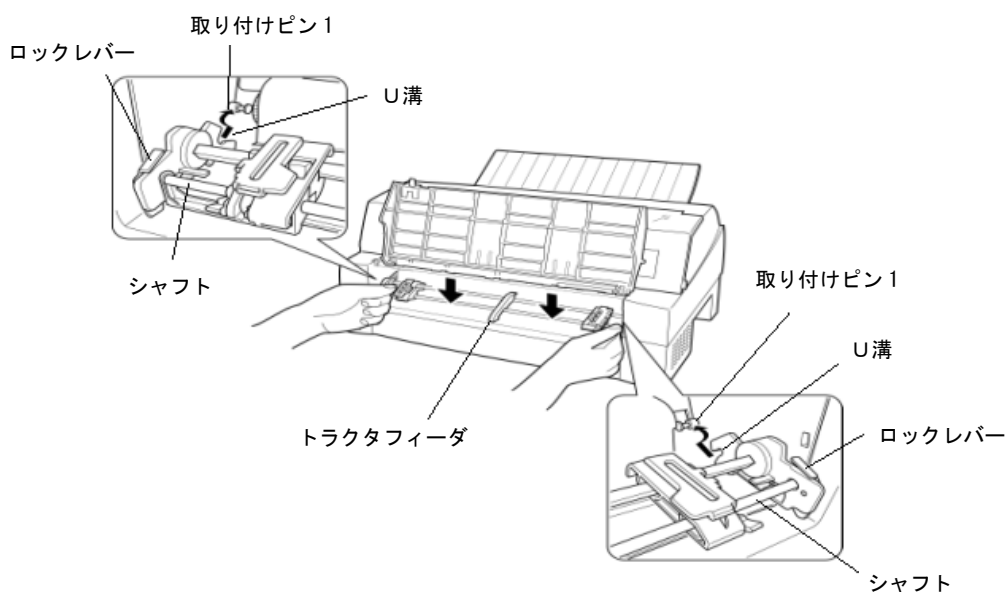
【取り外しかた】

単票テーブルを開きます。トラクタフィーダの左右にあるトラクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクタフィーダを上方に持ち上げて外します。

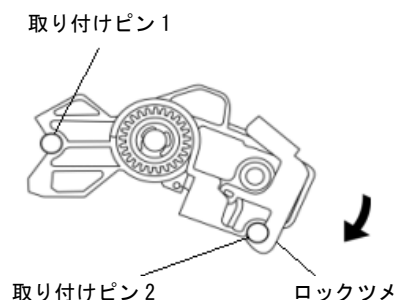


【取り付けかた】

- 1) トラクタフィーダ左右の U 溝をプリンタの取り付けピン 1 に合わせます。
(左側の取り付けピン 1 の溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピン 1 には、溝はありません。)
- 2) トラクタフィーダ手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。
(押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。)



- 3) 下図のように取り付けピン 2 にトラクタフィーダの左右のツメがしっかりかかっていることを確認してください。

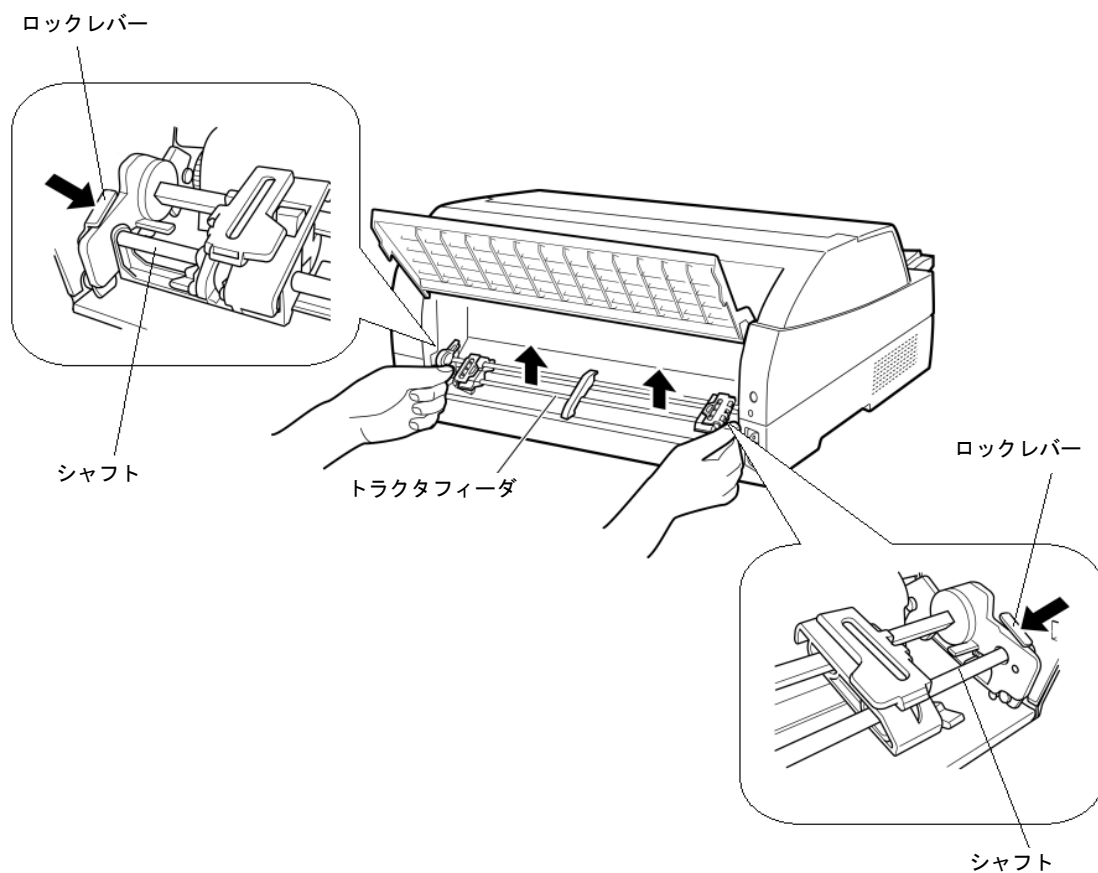


トラクタフィーダを横から見た図

◆ プリンタ後部（後ろ側）へのトラクタフィーダの着脱

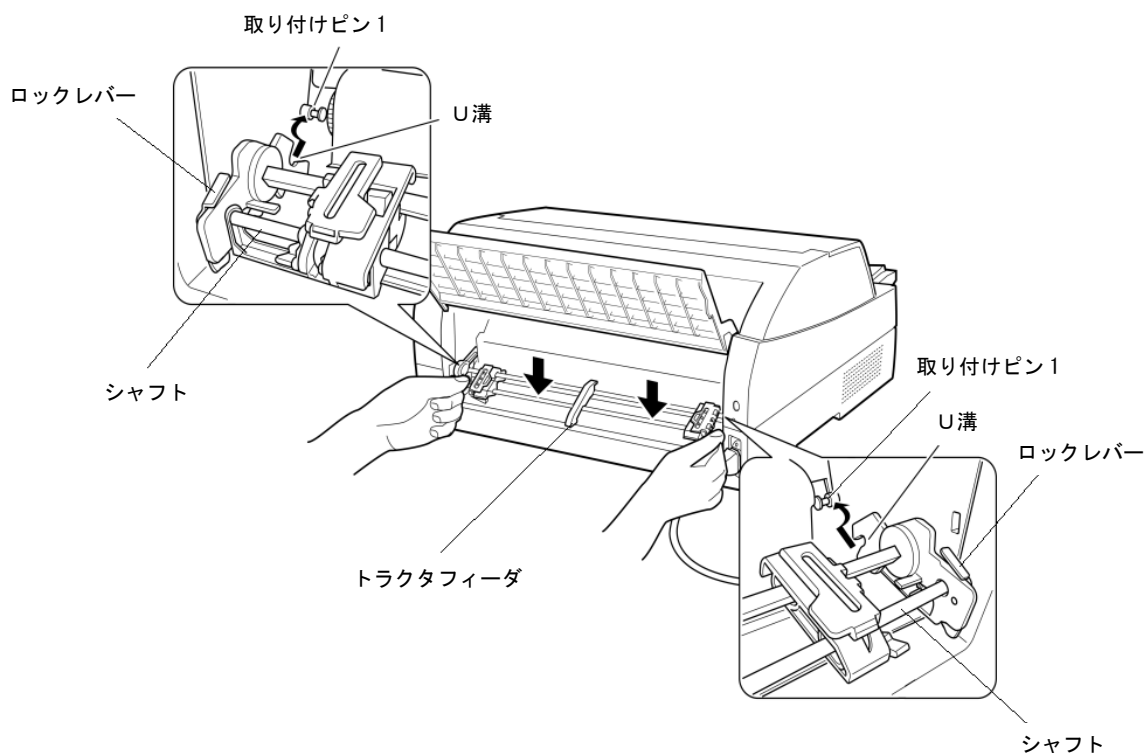
【取り外しかた】

トラクタフィーダの左右にあるトラクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクタフィーダを上方に持ち上げて外します。

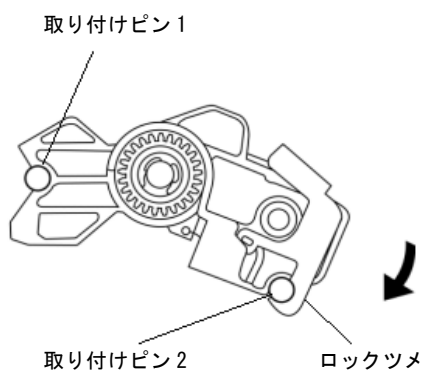


【取り付けかた】

- 1) トラクタフィーダ左右の U 溝をプリンタの取り付けピン 1 に合わせます。
(左側の取り付けピン 1 の溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピン 1 には、溝はありません。)
- 2) トラクタフィーダ手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。
(押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。)



- 3) 下図のように取り付けピン 2 にトラクタフィーダの左右のロックツメが、しっかりかかっていることを確認してください。



トラクタフィーダを横から見た図

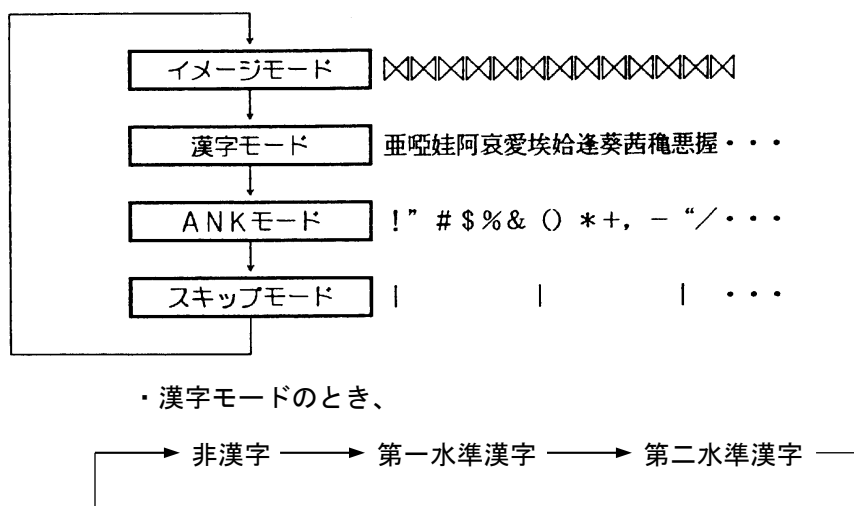
1.9 テスト印字をする

テスト印字は、次の手順で行います。

- 1 単票用紙または連続帳票用紙をセットする
- 2 電源を切る
(電源スイッチが (○) 側に倒れていることを確認します。)
- 3 【手前排出 | 改行】スイッチを押しながら電源を入れ、操作パネルのランプがすべて点灯したらスイッチを離す
用紙が無くなるまで、連続して印字します。

[テストモードを切り替えるとき]

印字中に【手前排出 | 改行】スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、順次テストモードが切り替わります。



の順番で印字します。

- ・ANKモードのとき、高品位文字を印字します。

[印字速度を切り替えるとき]

印字中に【印字モード | 改ページ】スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字速度が切り替わります。

スイッチを押すたびに、高速印字モード、標準印字モード、低騒音モードが切り替わります。高速印字モードのときは、「高速」ランプ、低騒音モードのときは「低騒音」ランプが点灯します。

[標準印字/高複写モードを切り替えるとき]

印字中に【高複写】スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字密度が切り替わります。

スイッチを押すたびに、標準印字モードと高複写モードが交互に切り替わります。高複写モードのときは、「高複写」ランプが点灯します。

[明朝体/ゴシック体を切り替えるとき]

印字中に【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押すと、印字ヘッドが左端または右端に移動したときに、印字の字体が切り替わります。

スイッチを押すたびに、明朝体とゴシック体が交互に切り替わります。

- 4** テスト印字中に【オンライン】スイッチを押すと、テスト印字が終了する

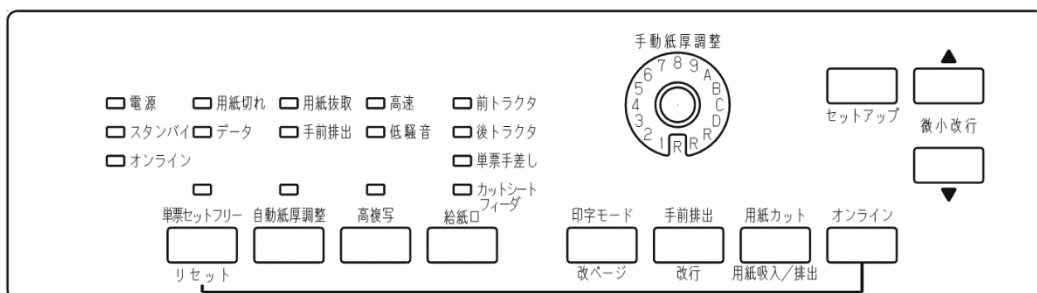
第2章

プリンタの機能とその使いかた

この章では、操作パネルの機能、機能設定の変えかた、行間ズレの修正のしかた、用紙吸入量の調整のしかた、および自動検出機能などプリンタの機能とその使いかたについて説明します。

2.1 操作パネルの機能

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとプリンタを操作するためのスイッチおよびダイヤルが付いています。



各スイッチの真上のランプは、各スイッチと連動した機能になります。

■ ランプ

各ランプの機能は下表のとおりです。

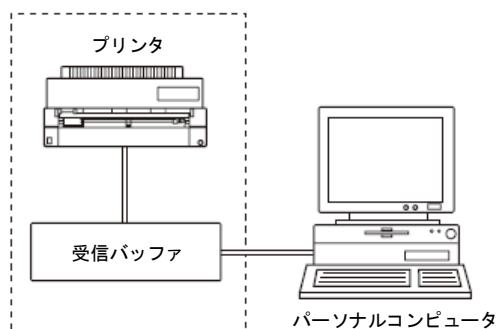
ランプ名称	色	機 能
電源	緑	電源スイッチを入れる（（ ）側に倒す）と点灯します。 スタンバイ状態になると消灯します。
スタンバイ	橙	スタンバイ状態移行時に点灯します。 この時、他のランプは全て消灯状態となります。
オンライン	緑	オンライン状態で点灯します。
用紙切れ	橙	用紙がなくなると点灯します。 アラーム発生時に点滅します。
データ	緑	未印字データ有の時に点灯、無しの時に消灯します。 データ受信中に点滅します。
単票セットフリー	緑	単票セットフリー機能がオンの状態で点灯します。
用紙抜取 (注1)	緑	手前に排出した用紙が抜き取り待ち状態のときに点滅します。
手前排出	緑	単票の排出方向が「手前排出」のときに点灯します。
自動紙厚調整	緑	自動紙厚調整の場合に点灯します。
高速	緑	高速印字モード（間引き印字）のときに点灯します。
低騒音	緑	低騒音印字モード（間引き印字）のときに点灯します。
高複写	緑	高複写印字モードのときに点灯します。
前トラクタフィーダ	緑	前トラクタフィーダからの用紙を使用する場合に点灯します。
後トラクタフィーダ	緑	後トラクタフィーダからの用紙を使用する場合に点灯します。
単票手差し	緑	単票手差しからの用紙を使用する場合に点灯します。
カットシートフィーダ	緑	カットシートフィーダまたは単票手差しからの用紙を使用する場合に点灯します。

注1) 単票用紙の抜き取り待ち状態とは、下記の不具合を防止するために単票テーブルに排出した用紙が除去されるまで動作を停止し、用紙抜取ランプを点滅させ、オペレーターに排出された用紙の除去を促します。

- ・ 単票テーブルに排出した用紙が誤って再吸入される。
- ・ 単票テーブルに連続排出された用紙が単票テーブルから落下する。

◆ オンライン状態、オフライン状態とは

プリンタにはオンライン状態とオフライン状態があります。
オンライン状態とはパソコンからのデータを受信し、印字することができる状態です。
オフライン状態とはパソコンからのデータの受信と印字を停止している状態です。



オンライン状態からオフライン状態にして印字を停止した場合に、受信バッファにデータが残っていることがあります。
再度オンライン状態にすると、印字を続行します。

■ スイッチ

用紙カット/用紙吸入/排出、手前排出/改行、印字モード/改ページのように、スイッチの上下に名称が書かれている場合、そのスイッチの機能はオンライン状態のときは上側、オフライン状態のときは下側になります。

各スイッチを使用した機能については、次ページ以降を参照してください。

2.2 操作パネルを操作する

印字をするときに用紙の給紙口を切り替えたり、強制的に改ページを行ったりするために操作パネルを操作します。



プリンタのトップカバーが開いていると、スイッチは操作できません。ただし、【微小改行▲】、【微小改行▼】スイッチは操作できます。
印字ヘッドが動いているときに、トップカバーを開けた場合は、【微小改行▲】、【微小改行▼】スイッチも操作できません。

■ オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、操作パネルの【オンライン】スイッチによって切り替えます。

◆ オンライン状態

パソコンからデータを受信して印字動作ができる状態をいいます。通常、電源を投入するとオンライン状態になり「オンライン」ランプが点灯します。「オンライン」ランプが消灯しているとき（オフライン状態）に【オンライン】スイッチを押すと、オンライン状態になります。

◆ オフライン状態

パソコンからデータを受信できない状態をいいます。オンライン状態のときに【オンライン】スイッチを押すと、オフライン状態になります。
用紙下端検出によりオフライン状態になったとき、本スイッチを押すと、下端余白部に強制的に1行印字（オーバーライド機能）します。

■ 印字開始位置を微調整する

【微小改行▼】スイッチ、【微小改行▲】スイッチを1回押すと、▼▲の方向に、1/180インチずつ微小改行を行います。
スイッチの上に表示されている▼▲の方向に、正改行、または逆改行の動作となります。
本スイッチを押し続けると、連続微小改行動作となります。
詳細は「3.3 印字開始位置について(125 ページ)」を参照してください。

2.3 オンライン状態で行う操作

■ 用紙をカットする

前/後トラクタフィーダ給紙時に【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押すと、あらかじめセットしたプリンタの用紙がカット位置にくるように用紙送りを行います。「カット位置に送る（87 ページ）」参照。

再度押すと、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。

単票モードの場合は、本スイッチは無効になります。

■ 単票用紙の排出方向を切り替える

単票用紙の排出方向の切り替えを行います。

単票用紙の排出方向には、手前（プリンタ前部）と後方（プリンタ後部）の2つがあります。

Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定を優先します。プロパティが「自動排出」設定の場合は、プリンタ側の排出方向設定が有効となります。

◆ 「手前排出」ランプと排出方向

【手前排出 | 改行】スイッチを押して、「手前排出」ランプの点灯、消灯を切り替えます。

「手前排出」ランプ点灯時

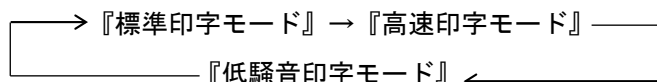
単票用紙は、単票手差し、前カットシートフィーダ、後カットシートフィーダ、いずれを使用した場合でも手前（プリンタ前部）に排出されます。

「手前排出」ランプ消灯時

単票用紙は、単票手差し、前カットシートフィーダ、後カットシートフィーダ、いずれを使用した場合でも後方（プリンタ後部）に排出されます。

■ 印字モードを切り替える

〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押すごとに、



の順に切り替わります。

標準印字モード : 180dpi の解像度で印字します。

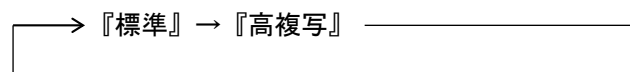
高速印字モード : 間引き印字することにより、標準の 2 倍の速度で
(高速ランプ点灯) 印字します。

低騒音印字モード : 高速印字モード (間引き印字) のパターンを標準
(低騒音ランプ点灯) 印字速度で印字し、騒音を低減します。

Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先されます。プロパティが「プリンタ設定優先」の場合は、プリンタ側の印字モード設定が有効となります。

■ 高複写モードに切り替える

〔高複写 | 給紙口〕スイッチを押すごとに



の順に切り替わります。

高複写モードのときは、「高複写」ランプが点灯します。

高複写 : 印字速度を若干落とし、印字圧を上げます。
(高複写ランプ点灯)

2.4 オフライン状態で行う操作

■ 用紙の吸入や排出を行う

◆ 前トラクタフィーダ／後トラクタフィーダセット時

（給紙口で「前トラクタフィーダ」または「後トラクタフィーダ」を選択した時）

用紙無し状態の場合、【用紙カット | 用紙吸入／排出】スイッチを押すと、前トラクタフィーダ、または後トラクタフィーダにセットしてある連帳用紙を印字開始位置まで吸入します。

用紙有り状態の場合、【用紙カット | 用紙吸入／排出】スイッチを押すと、前トラクタフィーダ、または後トラクタフィーダにセットしてある連帳用紙を待機位置まで後退します。

◆ 単票用紙セット（手差しモード）時

機能設定で『オートローディング』（66 ページ参照）を「無効」に設定している場合、単票テーブルに単票用紙をセットした状態で【用紙カット | 用紙吸入／排出】スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。

用紙有り状態で【用紙カット | 用紙吸入／排出】スイッチを押すと、単票用紙の排出を行います。

排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。

◆ 単票用紙セット（カットシートフィーダ搭載）時

前カットシートフィーダまたは後カットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で【用紙カット | 用紙吸入／排出】スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。

用紙吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を排出します。

排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。

カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、前カットシートフィーダおよび後カットシートフィーダのどちらをビン 1、ビン 2 に割り当てるかは、【その他の設定】の『CSF ビン 1 選択』（80 ページ参照）に従います。

用紙後退中に途中で止まることがありますが、故障ではありません。しばらくすると動きだします。

■ 改行する

【手前排出 | 改行】スイッチを 1 回押すと、正改行(用紙繰り出し方向)動作を行います。

正改行の方向は、プリンタ前面から吸入する用紙(前トラクタフィーダ、単票、前カットシートフィーダ)と、プリンタ背面から吸入する用紙(後トラクタフィーダ、後カットシートフィーダ)では、用紙繰り出し方向が異なります。

押し続けると、連続正改行動作となります。

(【手前排出 | 改行】スイッチによる正改行の送り量は、1/6 インチ固定です。)

■ 改ページを行う

【印字モード | 改ページ】スイッチを押します。

◆ 前トラクタフィーダ/後トラクタフィーダ時

(給紙口で「前トラクタフィーダ」または「後トラクタフィーダ」を選択した時)

用紙を次のページの先頭行に送ります。このときのページの長さは、【E P 設定】の『連帳ページ長』(初期設定 66 行)により設定されます。(73 ページ参照)。

印字実行後は、プリンタドライバ、アプリケーションから設定した値になりますが、その後に電源の切断、【単票セットフリー | リセット】スイッチによるリセット、リセットコマンド送出によるリセットを実行した場合は、【E P 設定】の『連帳ページ長』で設定したページ長になります。

◆ 単票用紙セット (手差しモード) 時

用紙を排出します。

(機能設定で【その他設定】の『単票モード時の FF コード』を「ページ送り」(79 ページ参照)にした場合はページ長分用紙を送ります)

◆ 単票用紙セット (カットシートフィーダ搭載) 時

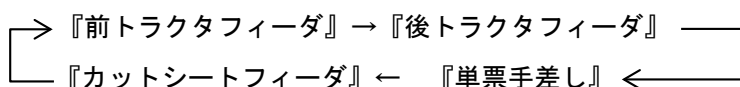
前カットシートフィーダまたは後カットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。用紙吸入状態で本スイッチを押すと、この単票用紙を排出後、前カットシートフィーダまたは後カットシートフィーダにセットした次の単票用紙を印字開始位置まで吸入します。

カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、前カットシートフィーダおよび後カットシートフィーダのどちらをビン 1、ビン 2 に割り当てるかは、【その他の設定】の「CSF ビン 1 選択」(80 ページ参照)に従います。

■ 給紙口を切り替える

使用する給紙口を選択します。

【給紙口】スイッチを1回押すごとに、給紙口が、



の順に切り替わり、選択した給紙口に対応するランプが点灯します。

「カットシートフィーダ」ランプは、カットシートフィーダが搭載されているときのみ選択可能です。

Windows から印字する場合、プリンタドライバのプロパティ設定が優先します。

■ 紙厚調整モードを切り替える

【自動紙厚調整】スイッチを2秒間押すと、自動紙厚調整と手動紙厚調整とを切り替えます。

(自動紙厚調整のときは、自動紙厚調整ランプが点灯します。)

◆ 自動紙厚調整時

用紙厚を自動で調整します。

「自動紙厚調整」のときは、プリンタドライバのプロパティでの用紙厚設定が優先されますので、プリンタドライバのプロパティで用紙厚を正しく設定する必要があります。

◆ 手動紙厚調整時

「手動紙厚調整」の紙厚をダイヤルで設定します。

手動紙厚調整ダイヤルの位置の詳細は、プリンタ編「3.2 用紙厚を調整する (122 ページ)」を参照してください。

2.5 単票手差しの方法を切り替える

単票手差しの方法を切り替えます。

【単票セットフリー | リセット】スイッチを押すごとに単票セットフリーのオン／オフが切り替わります。

◆ 単票セットフリー オフ時（単票セットフリーランプ消灯）

用紙ガイドに用紙左端を沿わせてセットします。

印字開始位置は、用紙ガイド（左）を移動させて余白を調整してください。

単票セットフリー オフの場合のみ、機能設定の『オートローディング』の時間設定が有効となります。

◆ 単票セットフリー オン時（単票セットフリーランプ点灯）

用紙を単票テーブルの用紙吸入口に軽く押し込むだけで用紙がセットされます。

印字開始位置は【余白量設定】の『手差しセットフリー余白量』（71 ページ参照）で設定した値になります。『オートローディング』が「無効」の場合（66 ページ参照）は、【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押さないと用紙を吸入しません。

2.6 プリンタをリセットする

プリンタのリセット方法を説明します。
リセットすると未印字データは消去されます。

プリンタ内に未印字データがあるときは、「データ」ランプが点灯しています。
このときプリンタを初期化すると、未印字データは消去されます。

1 【オンライン】スイッチを押してオフライン状態にする

2 【オンライン】スイッチを押しながら、【単票セットフリー | リ
 セット】スイッチを押す

ブザーが鳴り、未印字データが消去されます。

2.7 機能設定を変える

ここでは、機能設定の変えかたと動作モードごとに設定できる機能の内容について説明します。

■ 機能設定の変えかた

機能設定は、「オフラインセットアップモード」で行います。

オフラインセットアップモードによる設定手順は次のとおりです。

1 プリンタに単票用紙をセットする。

2 オフラインセットアップモードへ入る。

プリンタの電源が ON の場合と OFF の場合で以下(1)、(2)の操作方法があります。

(1) プリンタの電源が ON の場合

オフライン状態（オンラインランプ消灯状態）で【セットアップ】スイッチをブザーが鳴るまで押し続けます。

(2) プリンタの電源が OFF の場合

【セットアップ】スイッチを押しながら電源を入れます。
一度すべてのランプが点灯してからスイッチを離してください。

操作後、単票用紙に以下の通り印刷されます。

セットアップ開始
設 定 終 了 設定一覧 初期化

メニューの内容は次のとおりです。

メニュー名	内 容
設定	プリンタの機能設定を変更します。
終了	プリンタの機能設定を終了します。
設定一覧	現在の設定内容をすべて印字します。
初期化	現在の設定内容を初期設定に戻します。

3 オフラインセットアップを実行する

操作パネルによる操作により、選択項目に印字ヘッドを移動させ、オフラインセットアップを行います。オフラインセットアップモードによる機能設定の操作は以下のスイッチで行います。

項	操作内容	使用するスイッチ
1	印字ヘッドを移動し、メニューを選択する。	【印字モード 改ページ】
2	印字ヘッド位置の機能を確定し、次の設定項目に進む。	【微小改行▼】
3	印字ヘッド位置の機能を確定し、一つ前の設定項目に戻る。	【微小改行▲】
4	用紙無し状態時の用紙吸入を行う。	【用紙カット 用紙吸入/排出】
5	機能設定開始状態(トップメニュー)、または大項目メニューに戻る。	【オンライン】

■ オフラインセットアップモードでの設定変更例 (設定一覧を印字する場合)

印字結果の例

セットアップ開始			
設 定	終 了	設定一覧	初期化 (1)
Multi Impact 720 SEN ROM版数: 01A			
装置機能設定		補正機能	
印字モード	= 標準	手差し改行補正量	= 0 mm
紙厚調整	= 自動	前CSF改行補正量	= 0 mm
.	.	.	.
.	.	.	.
(2)			
.	.	.	.
SLCTIN	= 有効		
DC1/DC3	= 無効		
SLCT	= HIGH固定		
TOF位置FFコード	= 有効		
設 定	終 了	設定一覧	初期化 (3)
セットアップ終了			

- 1) A4 タテ以上の用紙をセットして、【セットアップ】スイッチを押しながら電源を投入してオフラインセットアップモードに入り、トップメニューを印字します。…… (1)
- 2) 【印字モード | 改ページ】スイッチを2回押し、印字ヘッドを「設定一覧」の位置に移動させ、【微小改行▼】スイッチを押すと設定一覧を印字します。
- 3) 途中用紙がなくなり、用紙が排出されたら、新しい用紙をセットします。…… (2)
- 4) 設定一覧の印字が終了したら【オンライン】スイッチを押すとトップメニューが印字されます。…… (3)
- 5) 【印字モード | 改ページ】スイッチを1回押し、印字ヘッドを「終了」の位置に移動させ【微小改行▼】スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。

注) カットシートフィーダを取り付けているときは、用紙設定状態に関わらずオフラインセットアップモードに入れません。

■ 『紙厚調整』を「自動」から「手動」に変更する例

印字結果の例

セットアップ開始				
設 定	終 了	設定一覧	初期化 (1)
装置機能設定	余白量設定	E P 設定	補正機能	その他の設定 (2)
印字モード				
<u>標準</u>	高速	低騒音 (3)	
<u>標準</u>	高速	低騒音		
紙厚調整				
<u>自動</u>	手動 (4)		
自動	<u>手動</u>			
印字圧モード				
<u>標準</u>	高複写 (5)		
装置機能設定	余白量設定	E P 設定	補正機能	その他の設定 (6)
設 定	終 了	設定一覧	初期化 (7)
セットアップ終了				

- 1) A4 タテ以上の用紙をセットして、【セットアップ】スイッチを押しながら電源を投入してオフラインセットアップモードに入り、トップメニューを印字します。…… (1)
- 2) 印字ヘッドが「設定」の位置に移動していることを確認し、【微小改行▼】スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。…… (2)
- 3) 印字ヘッドが【装置機能設定】の位置に移動していることを確認し、【微小改行▼】スイッチを押すと最初の設定項目を印字します(「標準」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動していることを確認してください)。…… (3)
- 4) 印字された設定項目を変更する必要が無い場合は【微小改行▼】スイッチを押すと、次の設定項目を印字します(「自動」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動していることを確認してください)。…… (4)
- 5) ここで、【印字モード | 改ページ】スイッチを1回押し、印字ヘッドを「手動」の位置に移動させ、【微小改行▼】スイッチを押すと、選択した項目が決定され、次の項目を印字します。…… (5)

- 6) 変更する作業が終了した後、【オンライン】スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。……（6）
 - 7) もう一度【オンライン】スイッチを押すと、トップメニューを印字します。……（7）
 - 8) 【印字モード | 改ページ】スイッチを1回押し、印字ヘッドを「終了」の位置に移動させ、【微小改行▼】スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。
- 注 1) 機能設定を変更中に電源が切れた場合には、設定した内容は保証されません。

■ 『連帳ページ長』を「66行」から「75行」に変更する例
(設定値が9個以上ある項目を変更する場合)

印字結果の例

セットアップ開始									
設 定	終 了		設定一覧		初期化	 (1)		
装置機能設定	余白量設定		E P 設定		補正機能		その他の設定 (2)		
連帳ページ長									
65行	<u>66行</u>	67行	68行	69行	70行	71行	72行	次の設定値	... (3)
73行	74行	<u>75行</u>	76行	77行	78行	79行	80行	次の設定値	... (4)
73行	74行	<u>75行</u>	76行	77行	78行	79行	80行	次の設定値	
連帳ミシン目スキップ									
<u>0インチ</u>	1インチ			 (5)				
装置機能設定	余白量設定		E P 設定		補正機能		その他の設定 (6)		
設 定	終 了		設定一覧		初期化	 (7)		
セットアップ終了									

- 1) A4 タテ以上の用紙をセットして、【セットアップ】スイッチを押しながら電源を投入してオフラインセットアップモードに入り、トップメニューを印字します。…… (1)
- 2) 印字ヘッドが「設定」の位置に移動していることを確認し、【微小改行▼】スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。…… (2)
- 3) 印字ヘッドが【E P 設定】の位置に移動していることを確認し、【微小改行▼】スイッチを押すと最初の設定項目を印字します(「66行」が選択されており、その位置に印字ヘッドが移動していることを確認してください)。…… (3)
- 4) ここで、【印字モード | 改ページ】スイッチを7回押し、印字ヘッドを「次の設定値」の位置に移動させ、【微小改行▼】スイッチを押すと、次の設定値が印字され、印字ヘッドは「次の設定値」の位置に停止します。(【微小改行▼】スイッチを押した場合は前の設定値が印字されます) …… (4)
- 5) ここで、【印字モード | 改ページ】スイッチを3回押し、印字ヘッドを「75行」の位置に移動させ、【微小改行▼】スイッチを押すと、選択した項目が決定され、次の項目を印字します。…… (5)

- 6) 変更する作業が終了した後、【オンライン】スイッチを押すと、各設定項目の大項目メニューを印字します。……（6）
- 7) もう一度【オンライン】スイッチを押すと、トップメニューを印字します。……（7）
- 8) 【印字モード | 改ページ】スイッチを1回押し、印字ヘッドを「終了」の位置に移動させ、【微小改行▼】スイッチを押すと、オフラインセットアップモードを終了します。

■ 設定を工場出荷値に戻す

【オンライン】スイッチと【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押しながら、電源を投入します。一度、すべてのランプが点灯し、印字可能状態になったら完了です。すべての設定が工場出荷値に戻ります。

■ 機能設定の種類

機能設定で設定できる項目の一覧を次の表に示します。

表中の初期設定とは、ご購入時にすでに設定してある値をいいます。

○印のついている設定項目が初期設定です。

◆ 機能設定の項目

機能名の「CSF」とは、カットシートフィーダの略称です。

設定項目名	機能名	設定内容 (○)は初期設定	初期 設定	内 容
装置機能設定	印字モード	標準	○	印字モードを設定します。
		高速		
		低騒音		
	紙厚調整	自動	○	電源投入時の紙厚調整方法を選択します。 ・自動の場合は、プリンタドライバのプロパティ設定に従います。 ・手動の場合は、プリンタドライバのプロパティ設定を無視し、指定した設定に従います。
		手動		
	印字圧モード (注 1)	標準印字圧	○	電源投入時の印字圧モードを設定します。
		高印字圧		
	オートローディング (注 2)	無効		単票用紙に印字するときに、自動的に給紙するかどうかを設定します。自動的に給紙する場合は、単票用紙がセットされてから用紙の吸入が開始されるまでの時間を選択します。単票用紙セットの操作性に合わせ設定を変更してください。
		1.0 秒		
		1.5 秒	○	
		2.0 秒		
	手差しセットフリー	有効	○	電源投入時の手差し単票用紙の単票セットフリー機能の有効/無効を設定します。
		無効		

注 1) 高印字圧に設定すると、印字速度を低下させます。また、インパクト力を上げるため、印字ヘッドの寿命も短くなります。

高印字圧は、感圧発色が薄いときだけ設定し、普段は標準印字圧で使用してください。

注 2) 『手差しセットフリー』が「有効」に設定されている場合は、本設定での時間は無効です。

設定項目名	機能名	設定内容 (○) は初期設定	初期 設定	内 容
装置機能設定	前 CSF セットフリー	有効		前カットシートフィーダ用紙の セットフリー機能の有効/無効 を設定します。
		無効	○	
	後 CSF セットフリー	有効		後カットシートフィーダ用紙の セットフリー機能の有効/無効 を設定します。
		無効	○	
	前トラクタセット フリー	有効		前トラクタ用紙のセットフリー機 能の有効/無効を設定します。
		無効	○	
	後トラクタセット フリー	有効		後トラクタ用紙のセットフリー機 能の有効/無効を設定します。
		無効	○	
	手差し排出方向	手前排出	○	電源投入時の手差しモード時の 単票用紙の排出方向を設定しま す。操作パネルにより変更でき ます。また、プリンタドライバ で設定することができます。
		後方排出		
	前 CSF 排出方向	手前排出		電源投入時に前カットシート フィーダを搭載している場合 の単票用紙の排出方向を設定 します。また、プリンタドライ バで設定することができます。
		後方排出	○	
	後 CSF 排出方向	手前排出		電源投入時に後カットシートフ ィーダを搭載している場合の単 票用紙の排出方向を設定しま す。また、プリンタドライバで設 定することができます。
		後方排出	○	
	手差し用紙無し検出	検出する	○	カットシートフィーダ未搭載時 の、単票用紙無しを検出する/し ないを設定します。カットシート フィーダ搭載時は、単票手差し口 から吸入した用紙に対しても、本 設定は無効となります。
		検出しない		
	用紙無し検出時の状態	オンライン	○	用紙無し検出時のプリンタの状 態をオンラインにするかオフラ インにするかを設定します。
		オフライン		
	漢字書体	明朝体	○	電源投入時の全角漢字および半 角漢字の書体を、明朝体または ゴシック体に設定します。
		ゴシック体		

設定項目名	機能名	設定内容 (○) は初期設定	初期 設定	内 容
装置機能設定	手差し自動排出	排出する	○	単票用紙無し検出が有効に設定されているとき、単票用紙無しを検出したときに用紙を自動的に排出するかしないかを設定します。
		排出しない		
	ブザー	オン	○	ブザーのオン(鳴動する)/オフ(鳴動しない)を設定します。「オフ」を選択すると、一切鳴らなくなります。
		オフ		
	印字方向	両方向	○	電源投入時の印字方向を、「両方向」または「片方向」に設定します。プリンタドライバからの設定が優先されるので、プリンタドライバのプロパティ設定を行う必要があります。
		片方向		
	受信バッファ	有り	○	受信バッファ (32KB)の有無を設定します。 「無し」に設定した場合、使用出来るインターフェースはパラレルインターフェース固定となります。
		無し (パラレル)		
	給紙口指定	ドライバ優先	○	給紙口をプリンタドライバの指定を優先するか、プリンタ側の設定を優先するかを設定します。
		プリンタ優先		
	印字モード指定	ドライバ優先	○	印字モード及び印字圧モードをプリンタドライバの指定を優先するか、プリンタ側の設定を優先するかを設定します。
		プリンタ優先		
	ページ長指定	ドライバ優先	○	ページ長をプリンタドライバの指定を優先するか、プリンタ側の設定を優先するかを設定します。
		プリンタ優先		
	TOF センサスライス レベル (注 3)	60%		用紙の有無を検出する TOF センサのスライスレベルを設定します。プレプリント用紙など、反射率によって用紙の有無が正常に検知できない場合に設定します。
		70%		
		80%		
		90%		
		100%	○	
		110%		
		120%		

注 3) 使用する用紙と設定値によっては、用紙の有無を正常に検出できなくなる場合があります。

設定項目名	機能名	設定内容 (○) は初期設定	初期 設定	内 容
装置機能設定	スタンバイモード	1 分 : 60 分 (1 分単位)	○	スタンバイモードへの移行時間を設定します。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
余白量設定	上端余白量指定	ドライバ優先	○	「ドライバ優先」にすると、本セットアップモードで設定されている上端余白量にかかわらず、プリンタドライバで指定した上端余白量となります。 「プリンタ優先」にすると、本セットアップモードで設定されている上端余白量となります。
		プリンタ優先		
	手差し上端余白量 (注 4)	4. 2mm		手差し口から用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8. 5mm	○	
		22. 0mm		
		その他		
	手差し上端余白量 (その他) (注 5) (注 6)	-10. 0mm : 8. 5mm : 30. 0mm	○	『手差し上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。(本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です)
	前 CSF 上端余白量 (注 4)	4. 2mm		前カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8. 5mm	○	
		22. 0mm		
		その他		
	前 CSF 上端余白量 (その他) (注 5) (注 6)	-10. 0mm : 8. 5mm : 30. 0mm	○	『前 CSF 上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。(本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です)
	後 CSF 上端余白量 (注 4)	4. 2mm		後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8. 5mm	○	
		22. 0mm		
		その他		
	後 CSF 上端余白量 (その他) (注 5) (注 6)	-10. 0mm : 8. 5mm : 30. 0mm	○	『後 CSF 上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。(本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です)

注 4) 『上端余白量指定』の設定が「ドライバ優先」のときは、プリンタドライバで設定した上端余白量となります。

注 5) 4. 2mm 未満は印字領域外となりますので、印字は行わないでください。

注 6) 「その他」は、0. 5mm 単位で設定できます。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
余白量設定	前トラクタ上端余白量 (注 7)	4. 2mm		前トラクタから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8. 5mm	○	
		22. 0mm		
		その他		
	前トラクタ上端余白量 (その他) (注 8) (注 9)	-10. 0mm : 8. 5mm : 30. 0mm	○	『前トラクタ上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。(本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です)
	後トラクタ上端余白量 (注 7)	4. 2mm		後トラクタから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で設定します。
		8. 5mm	○	
		22. 0mm		
		その他		
	後トラクタ上端余白量 (その他) (注 8) (注 9)	-10. 0mm : 8. 5mm : 30. 0mm	○	『後トラクタ上端余白量』で「その他」を選択した時の上端余白量を設定します。(本項目は「その他」を選択している時のみ設定可能です)
	前トラクタ下端余白量	4. 2mm	○	前トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。
		101mm		
	後トラクタ下端余白量	4. 2mm	○	後トラクタ用紙の下端余白量を用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で設定します。
		157mm		
	手差しセットフリー余白量 (注 10) (注 11)	0. 0mm : 5. 1mm : 45. 2mm	○	単票(手差し)セットフリーオン時の左端余白量(用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量)を設定します。
	前 CSF セットフリー余白量 (注 10) (注 11)	0. 0mm : 5. 1mm : 45. 2mm	○	前カットシートフィーダセットフリーオン時の左端余白量(用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量)を設定します。

注 7) 『上端余白量指定』の設定が「ドライバ優先」のときは、プリンタドライバで設定した上端余白量となります。

注 8) 4. 2mm 未満は印字領域外となりますので、印字は行わないでください。

注 9) 「その他」は、0. 5mm 単位で設定できます。

注 10) 5. 0mm 未満は印字領域外となりますので、印字は行わないでください。

注 11) 約 0. 3mm (1/90 インチ) 単位で設定できます。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
余白量設定	後 CSF セットフリー 余白量 (注 12) (注 13)	0. 0mm : 5. 1mm : 45. 2mm	○	後カットシートフィーダセットフリーオン時の左端余白量（用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量）を設定します。
	前トラクタセット フリー余白量 (注 13) (注 14)	0. 0mm : 11. 3mm : 45. 2mm	○	前トラクタセットフリーオン時の左端余白量（用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量）を設定します。
	後トラクタセット フリー余白量 (注 13) (注 14)	0. 0mm : 11. 3mm : 45. 2mm	○	後トラクタセットフリーオン時の左端余白量（用紙の左端から第一印字開始文字の第一ドット目までの量）を設定します。
	セットフリー無効時の 左端位置	標準	○	セットフリー機能無効時の印字開始位置を設定します。 この設定は、すべての用紙に有効になります。 「標準」の場合、第一ドット目印字開始位置が目盛り (96 ページ参照) の位置となり、「左寄せ」の場合、12. 7mm 左になります。
		左寄せ		

注 12) 5. 0mm 未満は印字領域外となりますので、印字は行わないでください。

注 13) 約 0. 3mm (1/90 インチ) 単位で設定できます。

注 14) 11. 43 未満は印字領域外となりますので、印字は行わないでください。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
E P 設定	連帳ページ長	1 行 : 66 行 (1 行単位) : 132 行	○	連帳用紙のページ長を設定します。前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。1 行は 1/6 インチ固定です。Windows から印字した場合は、プリンタドライバからの指定値に変更されます。
	連帳ミシン目スキップ	0 インチ	○	連帳用紙のミシン目の手前でスキップする量を設定します。前トラクタおよび後トラクタ用紙の両方に有効な値です。Windows でユーザー定義サイズを指定して印字した場合、本機能は動作しません。
		1 インチ		
	オートティアオフ (用紙を切り取る位置に送り出す機能)	有効		連帳用紙のオートティアオフの「有効」または「無効」を設定します。
		無効	○	
	行間	6LPI	○	改行ピッチの大きさを設定します。
		8LPI		
	ANK 文字間	10CPI	○	ANK 文字の文字ピッチの大きさを設定します。
		12CPI		
	ANK 文字品位	LQ	○	ANK 文字の文字品位を設定します。
		DRAFT		
	ANK 縮小文字	標準印字	○	ANK 文字の大きさを設定します。
		縮小印字		
	ANK コード表	カタカナ	○	ANK コード表を設定します。
		拡張グラフィックス		
	ANK 書体	クーリエ	○	ANK 文字の書体を設定します。
		サンセリフ		
	ゼロフォント	スラッシュ無し	○	ANK コードの 0 (ゼロ) の字体を「0」とするか「∅」とするかを設定します。クーリエフォントに対してのみ有効となります。
		スラッシュ有り		
	国際文字	日本	○	国際文字の出力種類を設定します。
		アメリカ		
	CR コード (注 15)	CR	○	CR コードの機能を印字指令とするか、印字改行指令とするかを設定します。
		CR+LF		
		AFXT		

注 15) ハード信号の制御に従います。

詳しくは、215 ページの * AUTO FEED XT を参照してください。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
E P 設定	SLCTIN	有効	○	SLCTIN 信号の有効/無効を設定します。
		無効		
	DC1/DC3	有効		DC1/DC3 コマンドの「有効」または「無効」を設定します。
		無効	○	
	SLCT	HIGH 固定	○	SLCT 信号を HIGH 固定とするか、プリンタの状態により可変とするかを設定します。
		可変		
	TOF 位置 FF コード	有効	○	TOF 位置で受信した FF コードの「有効」または「無効」を設定します。
		無効		

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
補正機能	手差し改行補正量	-1.0mm		手差し単票用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254mm改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)
		-0.6mm		
		-0.3mm		
		0mm	○	
		+0.3mm		
		+0.6mm		
		+1.0mm		
	前 CSF 改行補正量	-1.0mm		前カットシートフィード用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254mm改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)
		-0.6mm		
		-0.3mm		
		0mm	○	
		+0.3mm		
		+0.6mm		
		+1.0mm		
	後 CSF 改行補正量	-1.0mm		後カットシートフィード用紙に対する累積改行補正量を設定します。(約254mm改行した時の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)
		-0.6mm		
		-0.3mm		
		0mm	○	
		+0.3mm		
		+0.6mm		
		+1.0mm		
	前トラクタ改行補正量	-1.0mm		前トラクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(1ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)
		-0.6mm		
		-0.3mm		
		0mm	○	
		+0.3mm		
		+0.6mm		
		+1.0mm		
	後トラクタ改行補正量	-1.0mm		後トラクタ用紙に対する累積改行補正量を設定します。(1ページ目に対する、その後のページの印字位置ズレ量を補正します。印字位置が上にズレている場合は、+方向の補正を行います。)
		-0.6mm		
		-0.3mm		
		0mm	○	
		+0.3mm		
		+0.6mm		
		+1.0mm		

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
補正機能	前トラクタ改行補正量 (最終頁)	-1.0mm		前トラクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約100mm 間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+方向の補正を行います)。
		-0.6mm		
		-0.3mm		
		0mm	○	
		+0.3mm		
		+0.6mm		
		+1.0mm		
	後トラクタ改行補正量 (最終頁)	-1.0mm		後トラクタ用紙の最終頁に対する累積改行補正量を設定します。(最終ページの下端から約155mm 間の改行ズレ量を補正します。印字位置が上にズれている場合は、+方向の補正を行います)。
		-0.6mm		
		-0.3mm		
		0mm	○	
		+0.3mm		
		+0.6mm		
		+1.0mm		
	手差し上端余白量調整	-1.0mm : 0mm (0.1mm 単位) : +1.0mm	○	手差し口から用紙を吸入した後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	前 CSF 上端余白量調整	-1.0mm : 0mm (0.1mm 単位) : +1.0mm	○	前カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	後 CSF 上端余白量調整	-1.0mm : 0mm (0.1mm 単位) : +1.0mm	○	後カットシートフィーダから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	前トラクタ上端余白量調整	-1.0mm : 0mm (0.1mm 単位) : +1.0mm	○	前トラクタから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。
	後トラクタ上端余白量調整	-1.0mm : 0mm (0.1mm 単位) : +1.0mm	○	後トラクタから用紙を吸入後の第一印字開始行の位置を、用紙の上端から第一行印字文字上端までの量で微調整します。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
補正機能	単票下端余白量調整	-10.0mm : 0mm (0.5mm 単位) : +10.0mm	○	単票用紙(手差し、カットシートフィーダ)の下端余白量を、用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で微調整します。
	前トラクタ下端余白量調整 (注 16)	-10.0mm : 0mm (0.5mm 単位) : +10.0mm	○	前トラクタの下端余白量を、用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で微調整します。
	後トラクタ下端余白量調整 (注 17)	-10.0mm : 0mm (0.5mm 単位) : +10.0mm	○	後トラクタの下端余白量を、用紙下端から印字可能最終行の文字の下端までの量で微調整します。

注 16) 本設定は『前トラクタ下端余白量』が 4.2mm に設定されている時に有効となります。

注 17) 本設定は『後トラクタ下端余白量』が 4.2mm に設定されている時に有効となります。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
その他の設定	前用紙吸入時の キャリア位置	ポジション1	○	単票手差し、前トラクタ、前カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1：約31桁目 ・ポジション2：約42桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。「単票セットフリー機能」が「有効」に設定されている場合、単票手差し口からの用紙に対しては、本設定は無効です。
		ポジション2		
	後用紙吸入時の キャリア位置	ポジション1	○	後トラクタ、後カットシートフィーダから用紙を吸入するときの印字ヘッドキャリアの位置を設定します。 ・ポジション1：約31桁目 ・ポジション2：約42桁目 帳票用紙を事前に印刷したプレプリント用紙を使用する場合、用紙上端が正しく検出できない場合があります。その場合は、ポジションを変更してください。
		ポジション2		
	用紙吸入時の斜行検出	有効	○	単票用紙を吸入するとき斜行を検出するかしないかを設定します。
		無効		
	セットフリー斜行しきい値 (注1)	0.5mm		単票（手差し）セットフリーオンで手差し単票用紙を吸入するときに、斜行吸入と判断する値を設定します。
		1.0mm		
		1.5mm		
		2.0mm	○	
		2.5mm		
	手差し斜行しきい値 (注18)	0.5mm		単票（手差し）セットフリーオフで手差し単票用紙を吸入するときに、斜行吸入と判断する値を設定します。
		1.0mm		
		1.5mm		
		2.0mm	○	
		2.5mm		

注18) 【その他の設定】の『用紙吸入時の斜行検出』が「有効」(78 ページ参照)に設定されている場合のみ本設定値が有効となります。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
その他の設定	単票自動オンライン	有効	○	単票用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		無効		
	トラクタ自動オンライン	有効	○	連帳用紙吸入後、自動的にオンラインとするかしないかを設定します。
		無効		
	単票モード時のFFコード	ページ長送り		単票用紙セット時（手差しモード時）のFFコードおよび【印字モード 改ページ】スイッチの処理方法を設定します。
		排出	○	
	用紙外印字防止 (注 19)	有効	○	用紙の左右端を検出し、印字領域を超えるデータの処理方法を設定します。
		無効		
	用紙幅検出方式	1 回検出	○	用紙吸入時の用紙幅検出方式を設定します。 プレプリントにより用紙幅を誤検出してしまう場合には 2 回検出を設定してください。
		2 回検出		
	前トラクタ 印字カット量 L (注 20) (注 21)	10.0mm : 14.0mm (1.0mm 単位) : 34.0mm	○	前トラクタの左端面印字カット量(余白量)を設定します。
	前トラクタ 印字カット量 R (注 20) (注 21)	10.0mm		前トラクタの右端面印字カット量(余白量)を設定します。
		11.0mm		
		12.0mm		
		13.0mm		
		14.0mm	○	
	後トラクタ 印字カット量 L (注 20) (注 21)	10.0mm : 14.0mm (1.0mm 単位) : 34.0mm	○	後トラクタの左端面印字カット量(余白量)を設定します。

注 19) カットシートフィーダ使用時は、『用紙外印字防止』が「有効」の場合でも、114 桁を超える媒体（約 A4 横以上の単票）では、右側の用紙外印字防止が作動しませんので、注意してください。

注 20) 【その他の設定】の『用紙外印字防止』が「有効」に設定されている場合のみ本設定値が有効となります。

注 21) 連続帳票への左右の印字余白が 16mm 未満となる場合は『トラクタ印字カット量』を適切な値に設定してください。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
その他の設定	後トラクタ 印字カット量 R (注 22) (注 23)	10. 0mm		後トラクタの右端面印字カット量(余白量)を設定します。
		11. 0mm		
		12. 0mm		
		13. 0mm		
		14. 0mm	○	
	単票印字カット量	2. 8mm	○	単票用紙(手差し、カットシートフィーダ)の左端面印字カット量(余白量)を設定します。
		15. 0mm		
	CSF ビン 1 選択	前 CSF	○	前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合に、どのカットシートフィーダをビン 1 として使用するかを設定します。選択されなかったカットシートフィーダがビン 2 となります。 本項目は、前/後カットシートフィーダを同時搭載した場合のみ有効となる設定です。
		後 CSF		
	CSF 給紙制御	標準	○	カットシートフィーダからの吸入方式を設定します。 「標準」は、カットシートフィーダホッパから用紙を直接吸入する方式です。「スイッチバック」に比べ、カットシートフィーダ処理時間が短縮されます。 「スイッチバック」は、カットシートフィーダホッパの用紙を一旦単票テーブルへ排出させた後に、もう一度単票テーブルから吸入する方式です。「標準」に比べ、改行精度が向上します。
		スイッチバック		

注 22) 【その他の設定】の『用紙外印字防止』が「有効」に設定されている場合のみ本設定値が有効となります。

注 23) 連続帳票への左右の印字余白が 16mm 未満となる場合は『トラクタ印字カット量』を適切な値に設定してください。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
その他の設定	トラクタ給紙制御 (注 24)	精度優先	○	連帳用紙の吸入方式を設定します。 「精度優先」は、用紙吸入時に用紙厚さ検出動作を行い、吸入された用紙の厚さに最適な用紙送り制御をします。「速度優先」に比べ改行精度が向上します。 「速度優先」は、用紙厚さ検出をしないで直接印字開始位置まで用紙を吸入します。「精度優先」に比べ用紙吸入時間が短縮されますが、「精度優先」と比べ改行精度が悪くなります。
		速度優先		
	逆改行抑制制御	有効	○	逆改行抑制制御を行うかどうかを設定します。
		無効		
	用紙カット引き戻し制御	精度優先		連帳用紙使用時、用紙カット位置から印字開始位置に用紙を引き戻す際の動作方法を設定します。 「精度優先」は印字開始位置に用紙を引き戻すときに、用紙の再吸入を行います。「速度優先」に比べ、改行精度が向上します。 「速度優先」は、印字開始位置に用紙を戻すときに、用紙の再吸入を行いません。「精度優先」に比べ用紙の引き戻し動作にかかる時間が短縮されますが、改行精度が若干劣ります。
		速度優先	○	
	連帳改行時リボン保護制御 (注 25)	有効		連帳改行時に印字ヘッドが用紙送り穴位置に停止した場合、用紙送り穴位置を避けて改行し、リボンを保護するかしないかを設定します。
		無効	○	

注 24) 手動紙厚調整モードの場合は、設定に関わらず「速度優先」による吸入制御になります。

注 25) 【その他の設定】の『用紙外印字防止』が「有効」(79 ページ参照)と設定されている場合のみ、本設定が有効となります。

設定項目名	機能名	設定内容	初期設定	内 容
その他の設定	CSF 紙厚検出	毎回		『紙厚調整』が「自動」に設定されているとき、カットシートフィーダ給紙の印字時に、用紙厚さ検出を毎ページ行うかどうかを設定します。
		通常	○	
	ヘッド交換表示	有効		印字ヘッドの交換表示をするかしないかを設定します。「有効」に設定の場合、印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時に「オンライン」ランプの点滅で通知します。設定一覧を印字すると、詳細内容をパーセントで表示します。
		無効	○	
	オーバーライド	有効	○	オーバーライド機能(51 ページ参照)を有効とするか無効とするかを設定します。
		無効		
	エラー監視機能	有効	○	ステータスマニタでのプリンタエラー監視機能を有効とするか無効とするかを設定します。
		無効		
	電源投入時の用紙位置	現在位置	○	電源投入時の用紙位置を設定します。「カット位置」選択時は用紙カット送り出し位置にあるものとして、引き戻し動作を行います。
		カット位置		
	上端ヘッド保護制御	有効	○	上端余白量がマイナス値に設定されている時の動作を設定します。「有効」の場合、上端余白量 0mm の位置に達するまでは印字／改行動作を行いません。(データは破棄されます)
		無効		

2.8 行間ズレを直す

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。

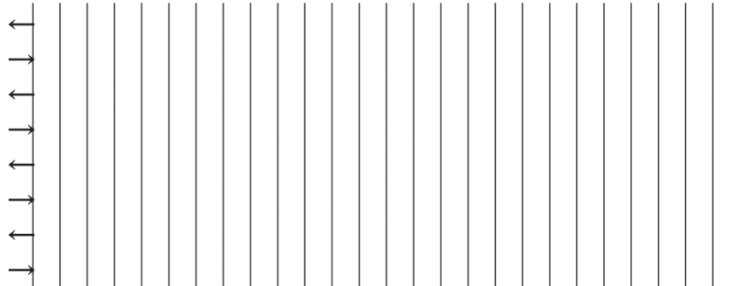
標準印字圧と高複写モードの2つの印字圧についてそれぞれ標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは 60dpi の解像度の内蔵フォントを使用して標準の3倍の速度で印字するモードです。行間ズレは、次の手順で直します。行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしておいてください。

注) 本モード中、全てのセットフリー機能(手差し/CSF/トラクタ)は無効となります。

- 1 前側より 15 インチ幅以上の連続用紙または A4 タテ以上の単票用紙をセットする
- 2 [高複写]スイッチと[自動紙厚調整]スイッチと[単票セットフリー|リセット]スイッチを押しながら電源を入れる
- 3 手動紙厚調整ダイヤルを『4』にセットし、[オンライン]スイッチを押す

標準印字圧の標準印字モードで調整用パターンを印字します。
矢印(←と→)は、印字ヘッドの移動方向を示します。

XX
高複写：消灯，LQ速度



4 調整用パターンの印字が始まったら調整を行う

印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき

【微小改行▲】スイッチを押します。

1 回の押下で 1/900 インチ矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

印字ヘッドの移動と逆の方向に印字結果を移動させるとき

【微小改行▼】スイッチを押します。

1 回の押下で 1/900 インチ矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

注 1) 続けて調整を行う場合には、一度スイッチを離してから再度スイッチを押下してください。

5 印字モードを切り替えて、高速印字モード、ドラフト印字モードで手順 4 の調整を行う

印字モードの切り替えかた

調整パターン印字中に【印字モード | 改ページ】スイッチを押します。

【印字モード | 改ページ】スイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。

→ 高速印字モード → ドラフト印字モード → 標準印字モード →

注 1) 高速印字モードのときは「高速」ランプが点灯し、ドラフト印字モードのときは、「高速」ランプと「オンライン」ランプが点灯します。

6 【高複写】スイッチを押して高複写モードにする

7 高複写モードの標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードそれぞれで手順 4 の調整を行う

印字ずれ調整モードでの調整パターンは、以下のように印字されます。

- ・印字圧モード（標準印字圧／高複写印字圧）、印字速度（標準／高速／ドラフト）の状態が、調整パターン（|）の前に印字されます。

基本印字速度	印字圧モード	タイトル印字	
		高複写	速度
標準印字	標準印字圧	消灯	L Q 速度
高速印字			C Q 速度
ドラフト印字			D Q 速度
標準印字	高印字圧	点灯	L Q 速度
高速印字			C Q 速度
ドラフト印字			D Q 速度

8 調整が終わったら【オンライン】スイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、調整パターンの印字が終了し、調整モードに戻ります。

- 注）【オンライン】スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず電源を切ると元の状態に戻ります。
調整は、標準印字モード、高速印字モード、およびドラフト印字モードの順で行ってください。

9 手動紙厚調整ダイヤルを『R』にセットし、【オンライン】スイッチを押す

調整モードを終了し、オンライン状態になります。

2.9 用紙吸入量を調整する

用紙の自動吸入（オートロード）時の用紙吸入位置を、行方向に微調整します。工場出荷時に用紙の吸入量（印字開始位置）は、初期設定値に調整されていますが、ずれている場合はこの機能で調整してください。連続帳票用紙、単票用紙それぞれの吸入量を調整できます。

用紙の吸入量は、次の手順で調整します。

1 【セットアップ】スイッチを押しながら電源を入れ、オフラインセットアップモードに入る

2 『設定』⇒『補正機能』に進み、調整したい用紙の『上端余白量調整』項目を選択する

選択項目は、下記の通りです。

- ・ 手差し上端余白量調整
- ・ 前 CSF 上端余白量調整
- ・ 後 CSF 上端余白量調整
- ・ 前トラクタ上端余白量調整
- ・ 後トラクタ上端余白量調整

3 調整値を選択する

- ・ プラスの調整値を選択すると、上端余白が大きくなります。
- ・ マイナスの調整値を選択すると、上端余白が小さくなります。
- ・ 用紙位置の調整は、手差し単票、前カットシートフィーダ、後カットシートフィーダ、前トラクタフィーダ、および後トラクタフィーダを各々独立して設定することができます。

4 調整値の設定が終わったらトップメニューに戻り『終了』を選択し、オフラインセットアップモードを終了する

調整した内容がプリンタに記憶され、オンライン状態になります。

オフラインセットアップモードの詳細は、「2.7 機能設定を変える (59 ページ)」を参照してください。

2.10 連続帳票用紙をカット位置に送る

あらかじめセットした連続帳票用紙のミシン目がカットしやすい位置（カット位置）にくるように、用紙を送る機能です。

■ カット位置に送る

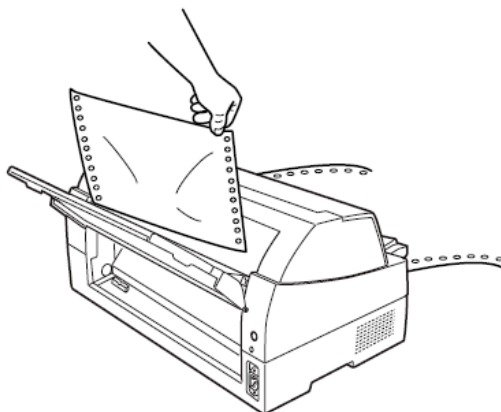
次の手順で、連続帳票用紙をカット位置に送ります。

1 オンライン状態で【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押す

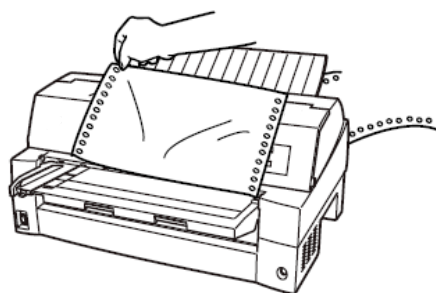
ミシン目が用紙カット位置まで送られます。

【EP 設定】で『オートティアオフ』（73 ページ参照）を「有効」に設定している場合は、印字が終わる（または印字データを印字し終わる）毎に自動的に用紙カット位置まで用紙が送られます。

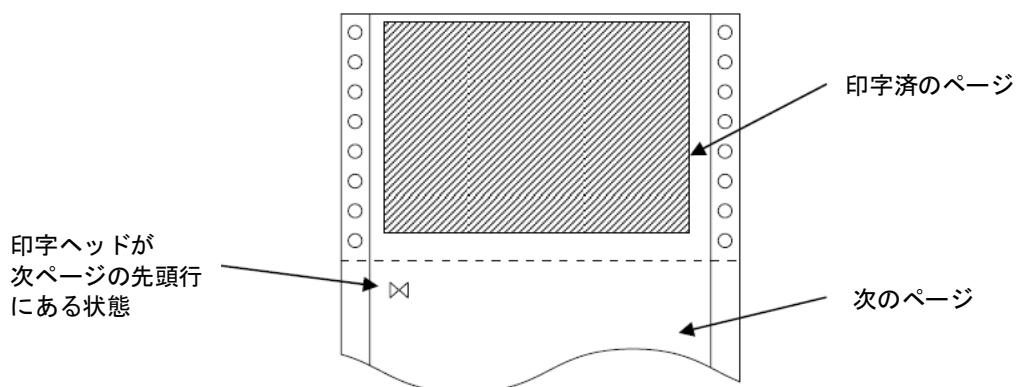
〈連続帳票用紙を前方からセットした場合〉



〈連続帳票用紙を後方からセットした場合〉



印字ヘッドの位置が次のページの先頭行にあるときには、ミシン目がカット位置まで送られます。



注) ページ長設定が正しくないとき、および【微小改行▼】 【微小改行▲】スイッチで用紙を移動させた場合は、カット位置が合わなくなります。

2 用紙を切り取る

3 もう一度、【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押す

用紙が印字開始位置に戻ります。

この操作を行わない場合は、次の印字データを受信すると自動的に元の位置に戻ります。

■ カット位置の補正方法

カット位置に用紙を送り出したときに、プリンタの用紙カッター位置と用紙のミシン目がずれている場合は次の手順で位置を補正できます。連帳用紙の送り出し量をそれぞれ補正できます。約 9mm の補正が可能です。

- 1 オンライン状態で【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押し用紙をカット位置に送る
- 2 用紙送り出し後もスイッチを押したまま、【微小改行▲】または【微小改行▼】スイッチを押しカット位置を合わせる
- 3 用紙カッター位置に用紙のミシン目が合ったら【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを離す

新たな用紙カットの送り出し量として設定されます。

- ・ 前トラクタフィーダ用紙の場合
 - 【微小改行▲】スイッチ：用紙送り出し量を大きくします。
 - 【微小改行▼】スイッチ：用紙送り出し量を小さくします。
 - 1 回スイッチを押すごとに、1/180 インチ補正します。
- ・ 後トラクタフィーダ用紙の場合
 - 【微小改行▲】スイッチ：用紙送り出し量を大きくします。
 - 【微小改行▼】スイッチ：用紙送り出し量を小さくします。
 - 1 回スイッチを押すごとに、1/180 インチ補正します。

注) 【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを離した時点で送り出し量が設定されますので途中でスイッチを離した場合は手順 1 から やり直してください。

2.11 HEX ダンプ印字をする

HEX ダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンタへ送られてきたデータを 16 進数のまま印字します。

HEX ダンプ印字は次の手順で行います。

- 1 単票用紙または連続帳票用紙をセットする
- 2 【手前排出 | 改行】と【印字モード | 改ページ】スイッチを同時に押しながら、電源を入れ、ランプがすべて点灯してからスイッチを離す

HEX ダンプを印字できる状態になります。

- 3 印字データを送る

パソコンからプリンタへ送られてきたデータは 16 進数のまま印字されます。

1 行にみたないデータは印字されず、【オンライン】スイッチを押してオフライン状態にすると印字されます。

- 4 HEX ダンプ印字を解除する

電源をいったん切ってから、もう一度投入してください。

2.12 自動検出機能

このプリンタには、次の4つの自動検出機能があります。

◆ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「用紙切れ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。
このとき（用紙無し検出時）に強制的に一行分印字させることができます。この機能をオーバーライド機能といいます。

用紙無しを検出して印字動作が停止（オフライン状態）のまま【オンライン】スイッチを押すと、後続のデータがある場合、1行だけ印字を行います。この操作は何度も繰り返すことができますが、プラテン面に用紙があることを確認しながら印字させてください。

◆ 印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの加熱状態を検出すると、1行を3回に分けて印字して印字ヘッドの温度上昇を防止します。

◆ ヘビーデューティ検出

高密度の印字（50%以上）を行うと、1行を3回に分けて印字します。

◆ 異常電流検出

プリンタ内で異常電流が流れたときは、プリンタ保護のために、自動的に電流を遮断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約5分間は電源が投入できません。数分後、電源を再投入してください。それでも電源が投入できないときは、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

第 3 章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、および印字開始位置について説明します。

3.1 用紙をセットする

このプリンタでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。

本プリンタは前/後共通の着脱式トラクタフィーダを使用しているため、設置条件、業務形態に応じてトラクタフィーダの前後の位置を選択して使用できます。工場出荷時は前側に搭載されていますが、必要に応じて後部に付け替えてご使用ください。なお、オプションのトラクタフィーダを追加すれば、前/後にトラクタフィーダを取り付けて使用することができます。

■ 連続帳票用紙をセットする（前トラクタフィーダ給紙の場合）

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

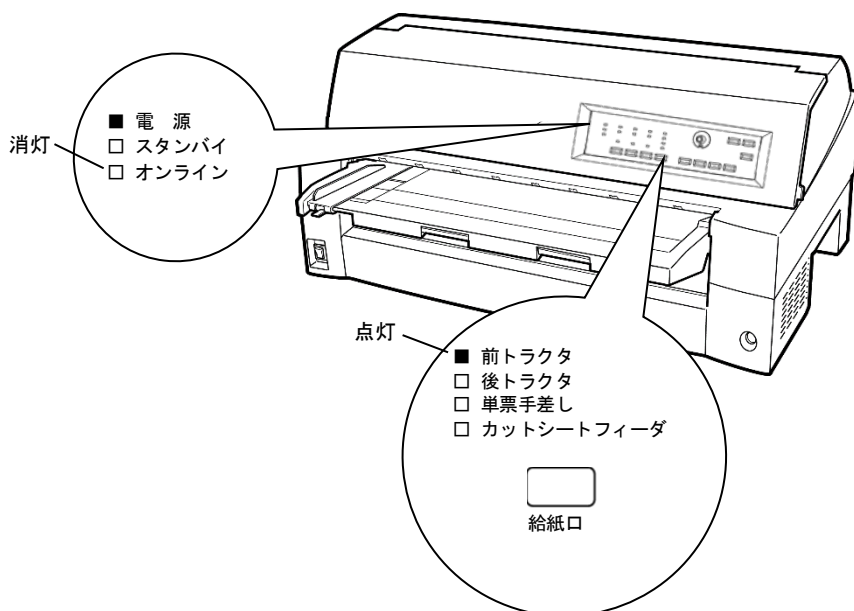
1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

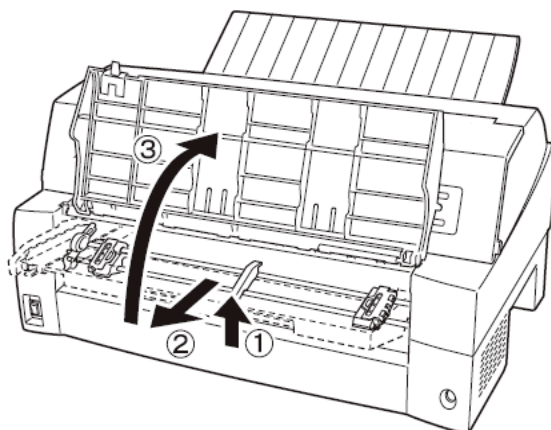
3 【給紙口】スイッチを押して、「前トラクタフィーダ」状態にする



4 単票テーブルを開く

単票テーブルを開くと、単票検知センサーに外乱光が入り誤動作することがあります。電源が入った状態で単票テーブルを開くときには給紙口を「前トラクタフィーダ」に変更してから以下の操作を行ってください。

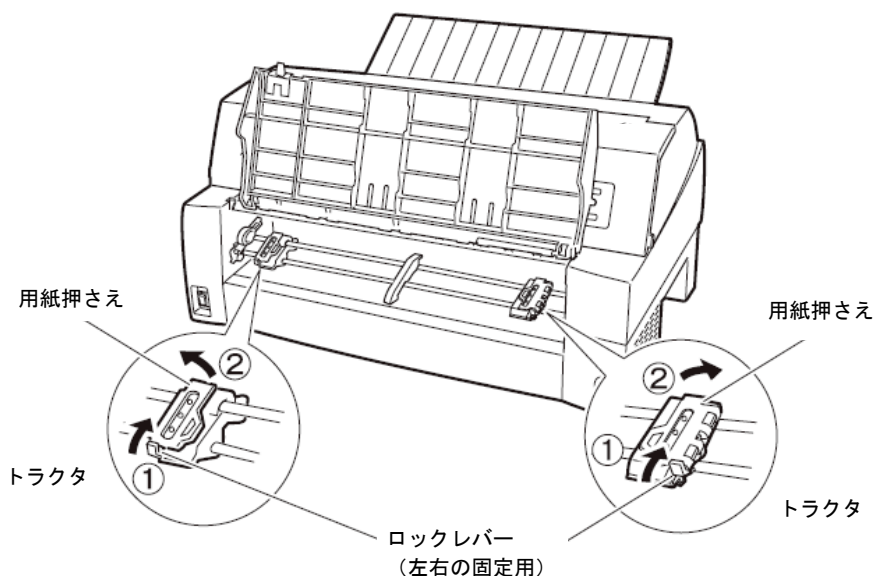
単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



5 トラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

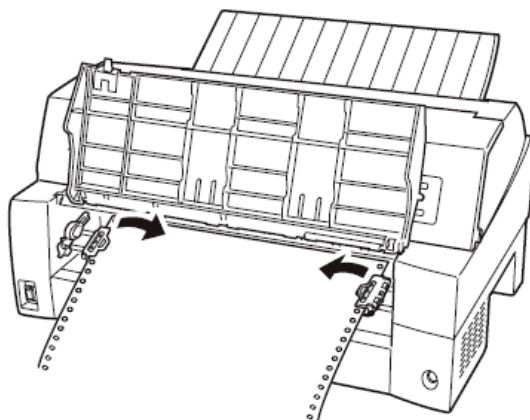
左右のトラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）、トラクタが左右に移動できるようにします。

次に用紙押さえを開き（②）、用紙をセットできる状態にします。

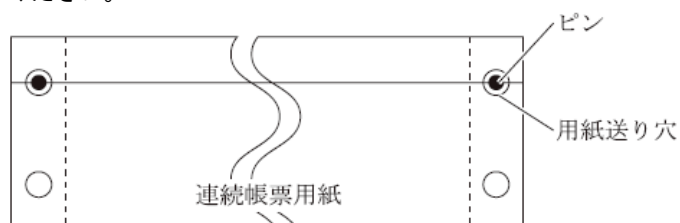


6 トラクタに用紙をはさむ

トラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



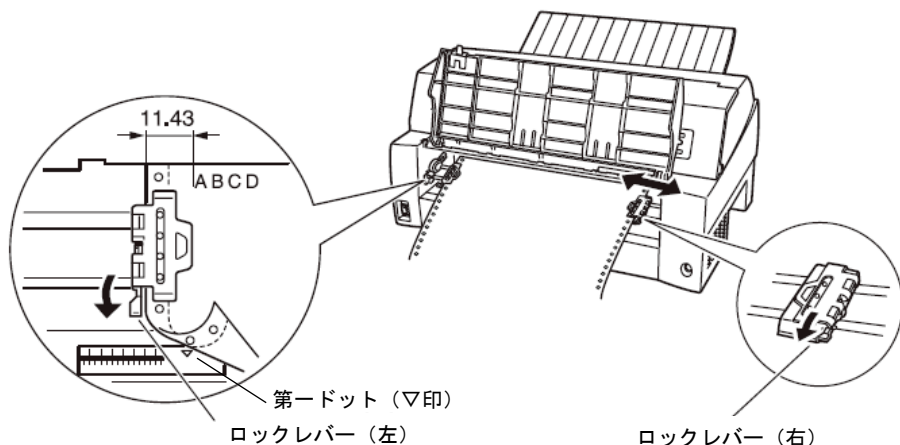
- ・ トラクタの用紙押さえを開いたまま単票テーブルを倒さないでください。トラクタおよび単票テーブルの破損の原因となります。
- ・ 用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
 - － 用紙をトラクタセットするとき、用紙を張りすぎないようにトラクタの幅を調整してください。（トラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
 - － 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



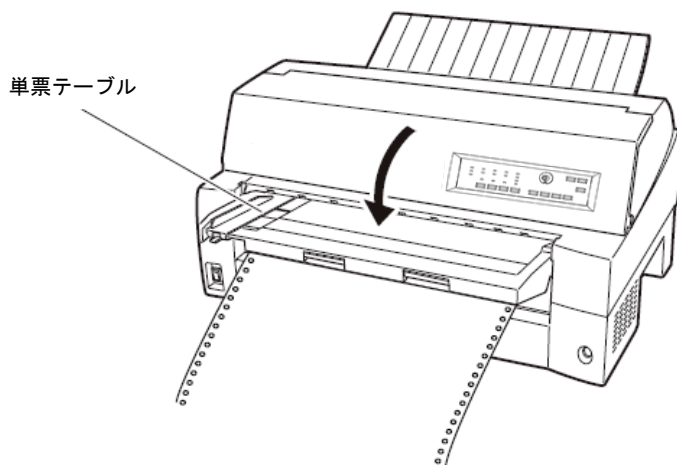
7 左側のトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側のトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白）となり、第 1 ドットが「▽」の位置となります。

注）左端余白が 16mm 未満となる場合は、セットアップ項目の『前トラクタ印字カット量 L』，『前トラクタ印字カット量 R』を適切な値に変更して使用してください。変更しない場合、左右端から約 14mm の範囲に入る印字データがカットされ、データが正しく印字されなくなるので注意してください。

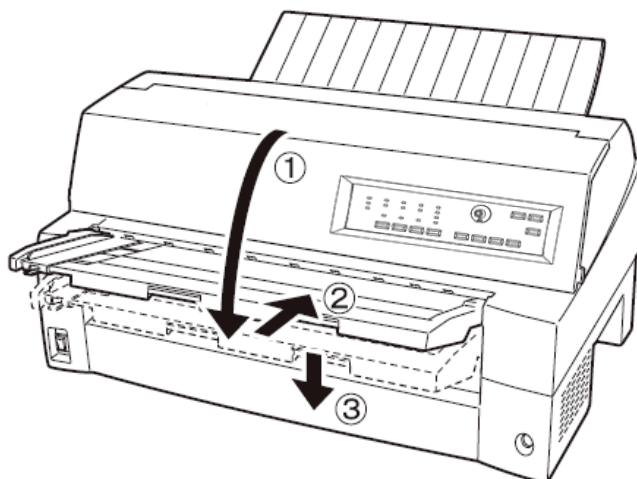


8 単票テーブルを倒す



単票テーブルを上方向に開いたまま連帳用紙を吸入させると、用紙づまりを起こす場合があります。必ず、単票テーブルを倒してから用紙を吸入させてください。

下図のように単票テーブルを回転させた(①)のち、奥に押し込んで(②) セットします(③)。



9 印字開始位置に用紙をセットする

〔用紙カット | 用紙吸入/排出〕スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、「3.3 印字開始位置について (125 ページ)」を参照してください。

✓ チェック

- ・ 用紙吸入時に用紙づまりが発生した場合、吸入動作失敗としてブザーが鳴ります。
用紙づまりが発生した場合は、「6.2 用紙づまりのとき (182 ページ)」を参照して、つまった用紙を取り除き再度用紙をセットし直してください。
- ・ 単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸入させると、単票テーブルの用紙も同時に吸入してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。

10 オンライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送ります。

注) 用紙を排出するには、次の方法があります。

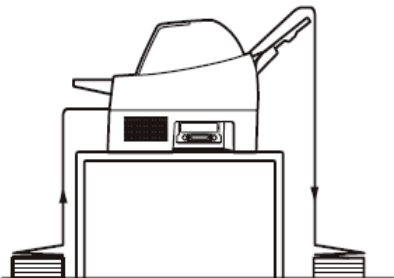
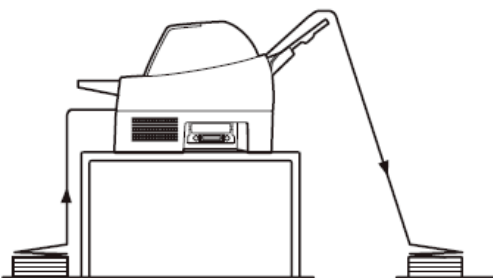
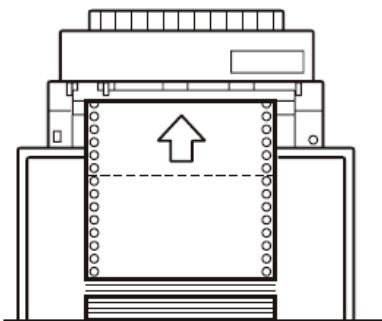
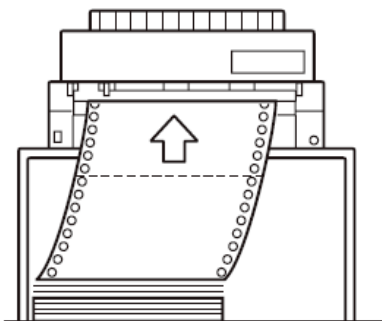
印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。

オフライン状態にして【印字モード | 改ページ】スイッチを押すと1回押すたびに1ページ分の用紙が送られます。

用紙をカット位置にした状態では、パソコンから印字データが送られてくると用紙を自動的に印字位置（元の位置）に引き込んで印字を行います。

◆ 連続帳票用紙の置きかた（前トラクタフィーダ給紙の場合）

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が機の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	<p>プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。</p> 	<p>用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。</p> 



連帳用紙は、連続して逆送りをさせるとトラクタから外れることがありますので注意してください。

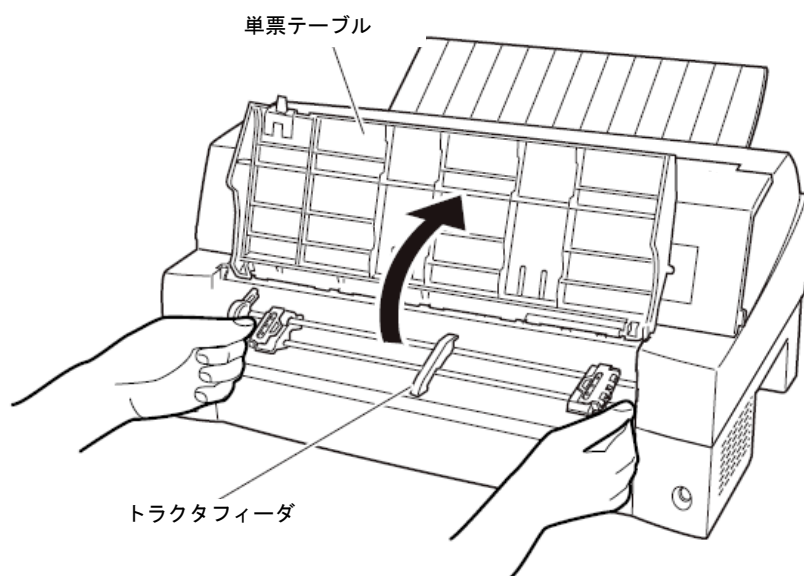
■ 連続帳票用紙をセットする（後トラクタフィーダ給紙の場合）

連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

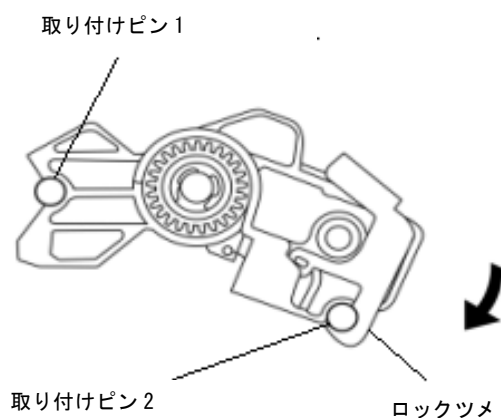
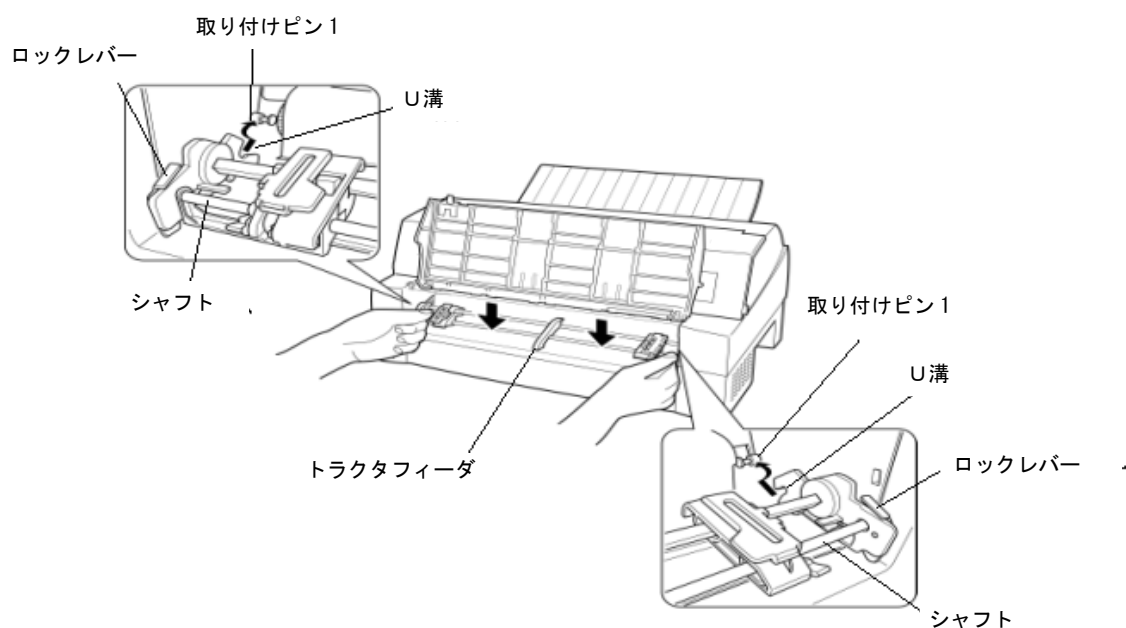
1 トラクタフィーダをプリンタの後部にセットする

前トラクタフィーダを後トラクタフィーダとして使用する場合は、単票テーブルを開いて、トラクタフィーダを取り外します。（41 ページ参照）

オプションのトラクタフィーダを後トラクタフィーダとして使用する場合は、前トラクタフィーダを外す必要はありません。



取り付けはトラクタフィーダの左右の U 溝を、プリンタ取り付けピン 1 に合わせます。（トラクタフィーダの刻印 B とプリンタ側の刻印 B を合わせます。）トラクタフィーダ手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックします。



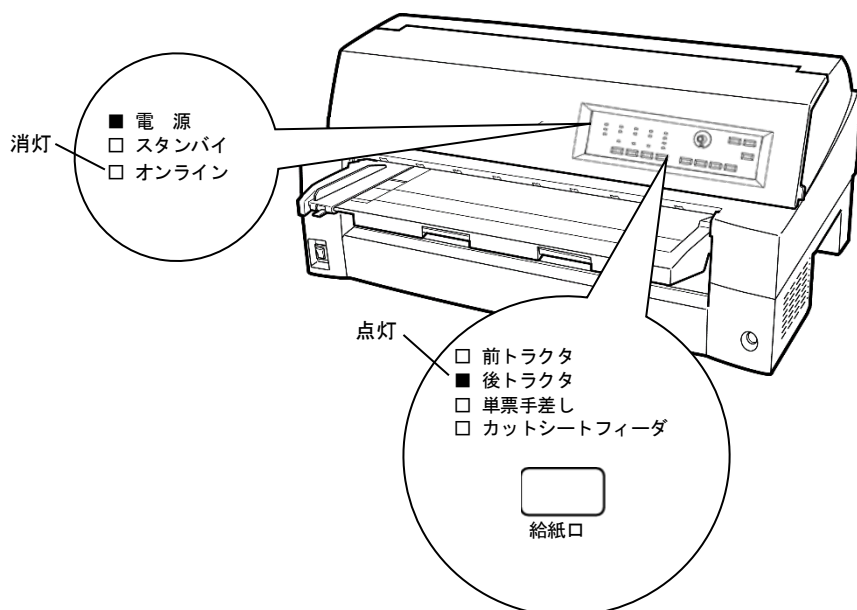
2 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

3 オフライン状態にする

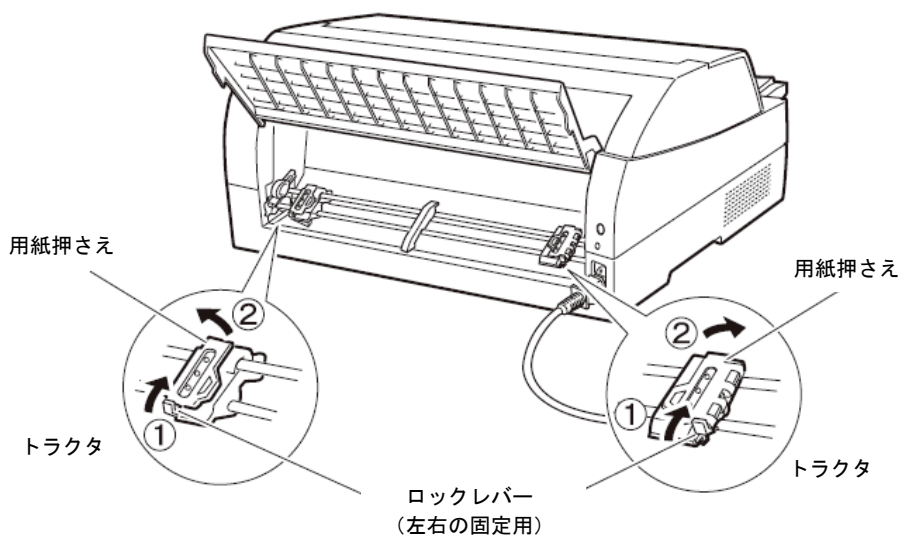
【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

4 【給紙口】スイッチを押して、「後トラクタ」状態にする



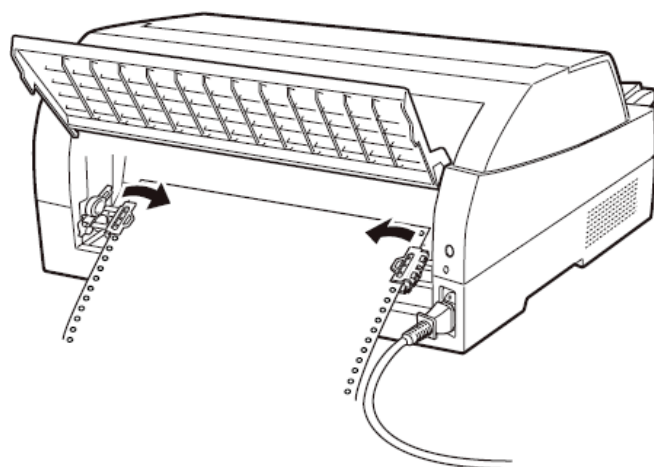
5 トラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

左右のトラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして (①) 左右のトラクタのロックを外し、用紙押さえを開きます (②)。



6 トラクタに用紙をはさむ

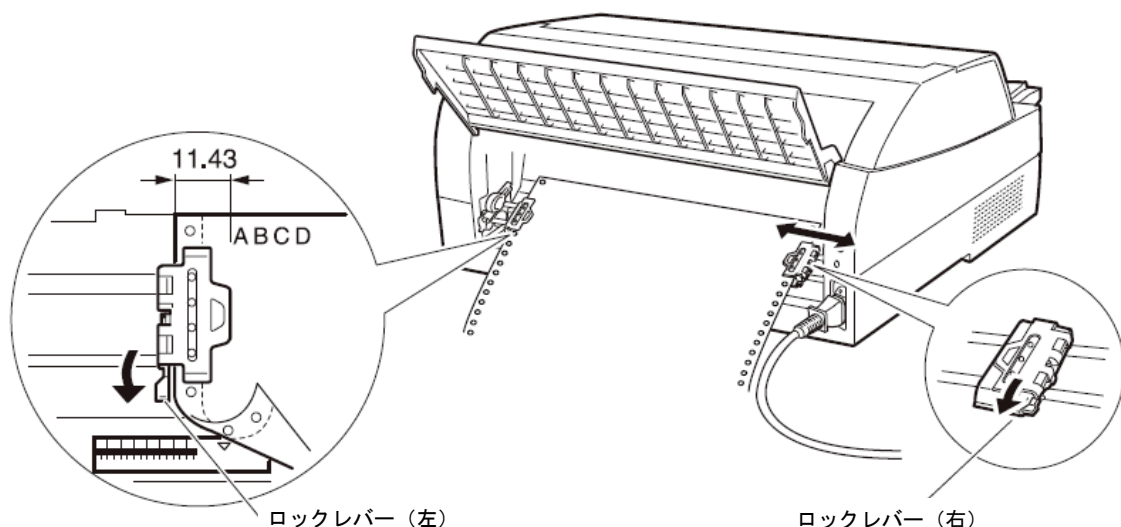
左右のトラクタの用紙押さえを開きます。トラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



7 左側のトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側のトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印の方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白）となり、第 1 ドットが「▽」の位置となります。

注）左端余白が 16mm 未満となる場合は、セットアップ項目の『後トラクタ印字カット量 L』，『後トラクタ印字カット量 R』を適切な値に変更して使用してください。変更しない場合、左右端から約 14mm の範囲に入る印字データがカットされ、データが正しく印字されなくなるので注意してください。

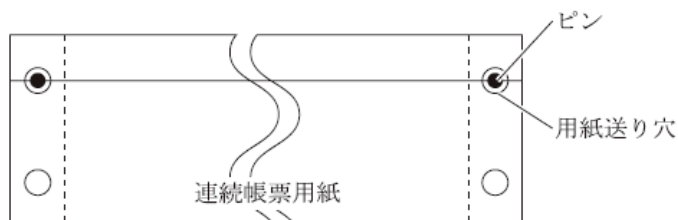




チェック

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。

- ・用紙をトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないようにトラクタの幅を調整してください。（トラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
- ・用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



8 印字開始位置に用紙をセットする

【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押します。

用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、「3.3 印字開始位置について（125ページ）」を参照してください。

9 オンライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送ります。

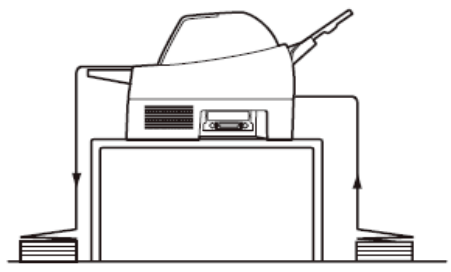
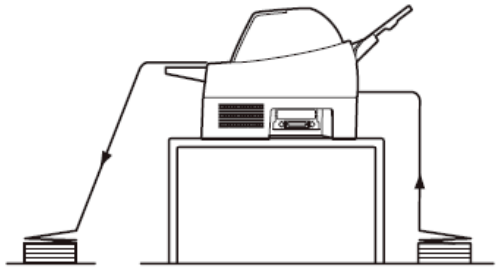
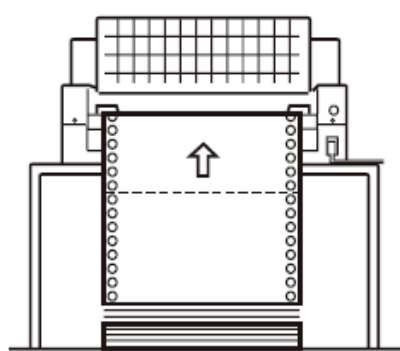
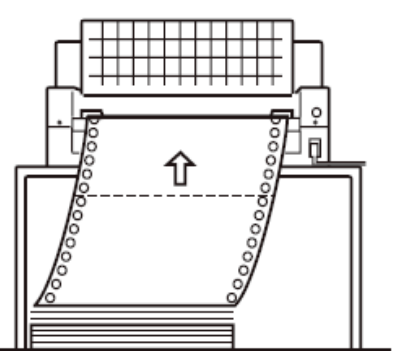
注）用紙を排出するには、次の方法があります。

印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。詳細については、「2.10 カット位置に送る（87ページ）」を参照してください。

オフライン状態にして【印字モード | 改ページ】スイッチを押します。1回押すたびに1ページ分の用紙が送られます。

◆ 連続帳票用紙の置きかた（後トラクタフィーダ給紙の場合）

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が機の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ背面	<p>プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。</p> 	<p>用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。</p> 



連帳用紙は、連続して逆送りをさせるとトラクタから外れることがありますので注意してください。

■ 連帳用紙をセットする（連帳セットフリーオン時）

連帳セットフリー機能を有効にすると、連帳の左端を検出し、横方向の印字位置を自動的に調整し、印字することができます。この機能で利用できる用紙幅は、4～15 インチです（詳細は「第 4 章 用紙について」を参照）。15 インチを超える連帳は、印字カットが発生しますので、連帳セットフリー機能を無効にして使用してください。ここで説明する連帳用紙のセット方法と注意点は、前トラクタフィーダ、および後トラクタフィーダに共通する内容です。

◆ 用紙のセットに関する注意

連帳セットフリー機能は、つぎの方法により使用します。

まず、「第 2 章プリンタの機能とその使い方」の「2.7 機能設定を変える（59 ページ）」に従い、【装置機能設定】で『前トラクタセットフリー』、または『後トラクタセットフリー』が「有効」になっていることを確認します。『前トラクタセットフリー』、または『後トラクタセットフリー』が「無効」のときは、「機能設定を変える」の手順に従い、『前トラクタセットフリー』、または『後トラクタセットフリー』を「有効」に設定してください。

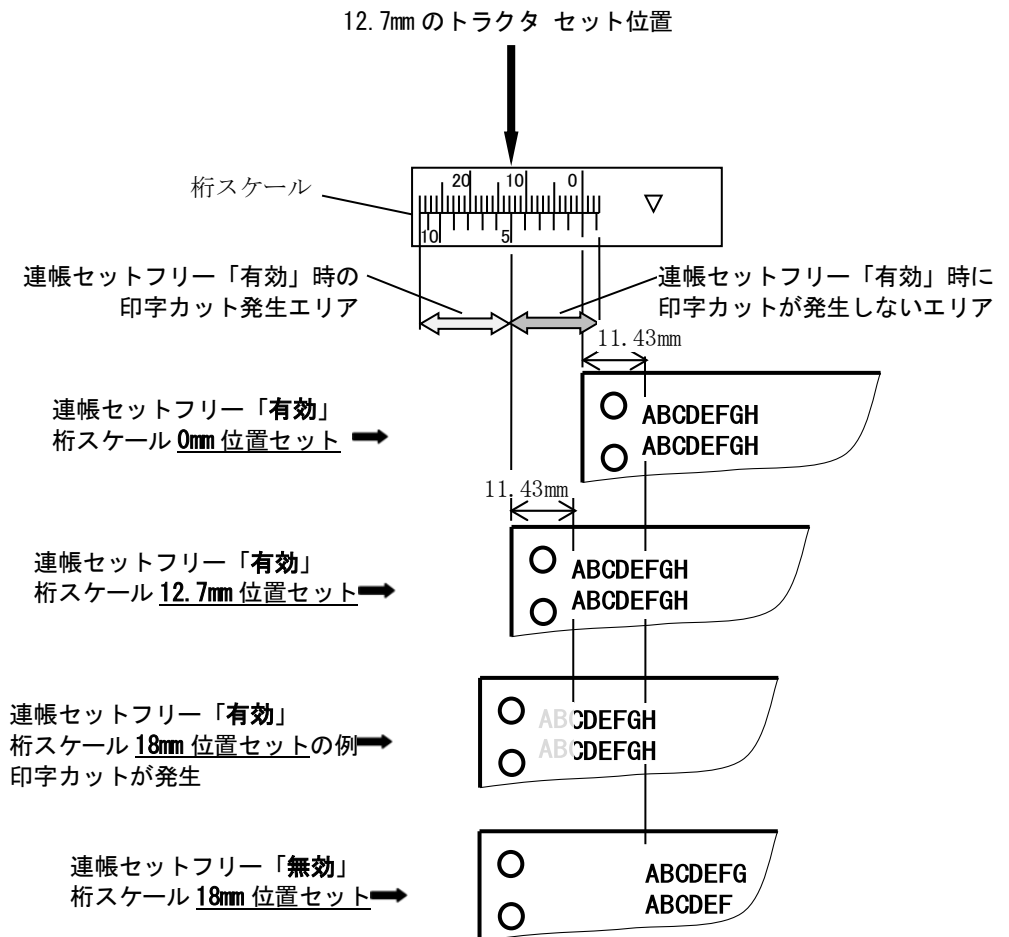
連帳のセットは、連帳セットフリー機能が無効のときと同様に「3.1 用紙をセットする（93 ページ）」に従いセットして下さい。

印字開始位置は、機能設定【余白量設定】の『前トラクタセットフリー余白量』（72 ページ）、または、『後トラクタセットフリー余白量』（72 ページ）により設定します。工場出荷時は、用紙左端より 11.3mm の位置になります。

注）印字開始位置を頻繁に変更したいときは、連帳セットフリー機能を使わずトラクタの位置で調整してください。

◆ 用紙左端位置に関する注意

左側のトラクタを用紙基準位置（桁スケール）の0～12.7mmの位置に合わせて固定してください。
12.7mmの位置より左側にセットすると、印字データによっては、印字がカットされます。



■ 単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時）

単票セットフリー機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。なお、単票用紙は一枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき～B4 です（詳細は「第 4 章 用紙について」を参照）。単票セットフリーオンで使
用できない用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。

（「単票用紙をセットする」113 ページ参照）

ここでは、連帳用紙吸入状態から、単票セットフリー機能を使用する時の手順で説明します。

1 プリンタの電源を入れる

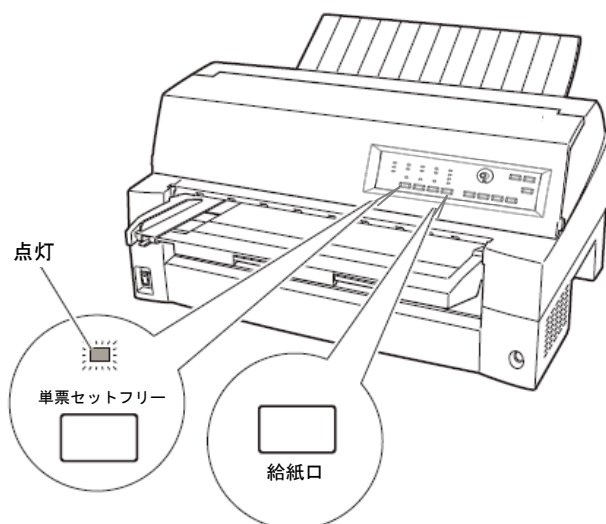
スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3 「単票セットフリー」ランプが点灯していることを確認する

消灯している場合は【単票セットフリー | リセット】スイッチを 1 回押してください。



4 【給紙口】スイッチを押して「単票手差し」状態にする

このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。



チェック

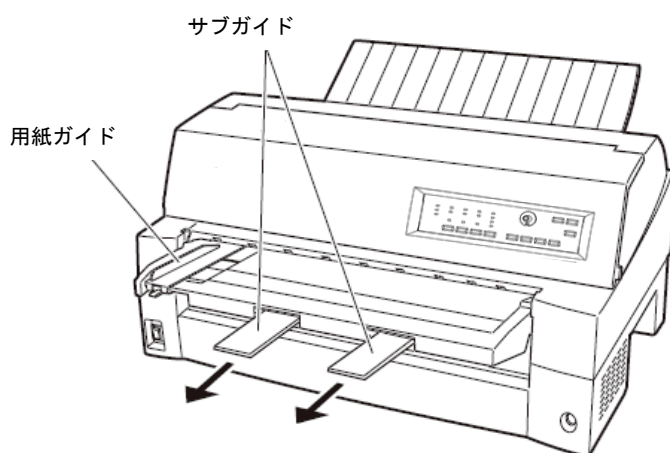
連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

5 用紙ガイドをラベル \leftarrow 部の位置に合わせる

用紙セット範囲の目安になります。

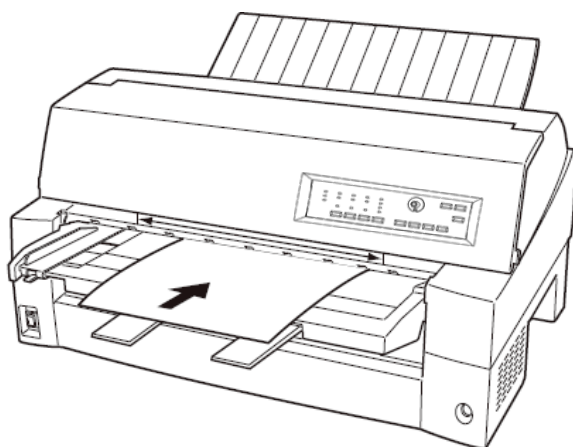
用紙ガイドを使用しないときは、単票テーブルの左端に突き当たるまで寄せてください。

6 用紙サイズに応じてサブガイドを引き出す



7 用紙をセットする

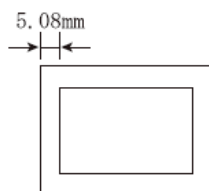
印字する面を上にし、『単票セットフリー』の用紙セット範囲に単票用紙を一枚ずつ差し込むと、自動的に吸入されます。



注 1) サブガイドを引き出して使用する場合は、上図のように 2 つのサブガイドの上に用紙を乗せ、サブガイドの長い辺から用紙がはみ出さないようにセットしてください。サブガイドからはみ出した状態で用紙をセットすると、用紙の端がサブガイドに引っかかり、正しく吸入されない場合があります。

注 2) 機能設定で『オートローディング』（66 ページ）を「無効」に設定している場合は自動的に吸入されませんので、【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチで用紙を吸入してください。

印字開始位置は、【余白量設定】の『手差しセットフリー余白量』（71 ページ）に従います。工場出荷時は、用紙左端より 5.08mm の位置になります。



注 3) 印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、単票セットフリーをオフにして用紙ガイドで調整してください。

8 オンライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送ります。

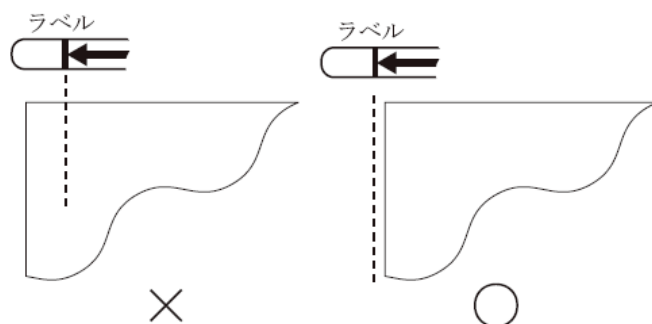
注) 「2.7 機能設定を変える（59 ページ参照）」で、【その他の設定】の『単票自動オンライン』が「有効」になっている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字が開始されます。

◆ 用紙左端位置に関する注意

プリンタのラベル \leftarrow 部（『単票セットフリー』の用紙セット範囲）に対して、用紙の左端を下記の×で示す位置にセットした場合、用紙は吸入後排出されます。○で示す位置にセットしてください。

用紙ガイドをラベル \leftarrow 部の位置に合わせておくとう用紙セット範囲の目安になります。

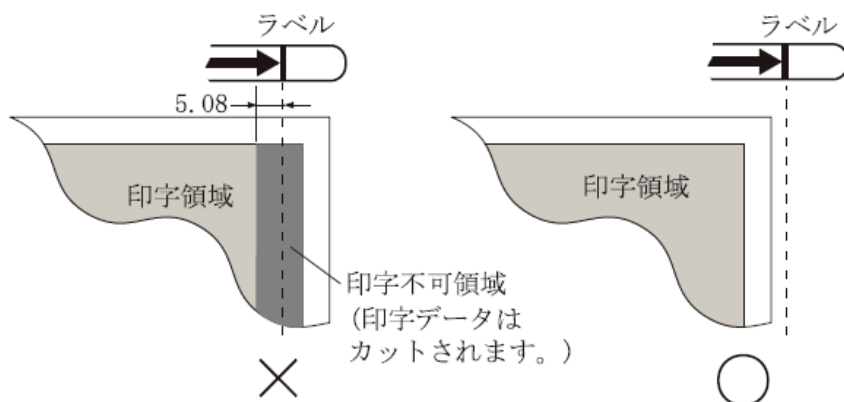
用紙ガイドを使用しないときは、単票テーブル左端に突き当たるまで左に寄せてください。



注) プリンタのラベル \leftarrow 部（「単票セットフリー」の用紙セット範囲）付近に用紙をセットする場合、用紙ガイドと単票テーブルの隙間に用紙の先端がもぐり込む場合がありますので注意してください。

◆ 用紙右端位置に関する注意

プリンタのラベル \rightarrow 部（『単票セットフリー』の用紙セット範囲）に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがありますので、○の位置にセットしてください。



◆ 用紙に関するご注意

- ・ 用紙の先端や先端のコーナー部に折れや曲がりがあると、うまく吸入できないことがあります。折れや曲がりのない用紙を使用してください。
- ・ 単票セットフリーで利用できる用紙は下記のサイズです。
この範囲にセットできる用紙をお使いください。
用紙幅 100～364mm（はがき～B4 サイズ）
用紙長さ 70～364mm（ ～B4 サイズ）
詳細は「第 4 章 用紙について」を参照してください。
- ・ 束のりとじの単票は、とじ部分が分離しやすくジャムが発生し易いので、使用を避けてください。
束のりとじ：単票の厚み部分だけでのりとじを行っているものです。
- ・ 単票セットフリーで、宅配便伝票などの連続帳票用紙を 1 枚ずつ手で切ってご使用になる場合は、用紙先端のカールなどにより、うまく吸入できないことがあります。
用紙のカールなどを取り除いてからご使用ください。

■ 単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）

単票用紙は一枚ずつセットしてください。また、連続帳票用紙をセットしたままでもセットできます。

単票用紙のセットは、次の手順で行います。

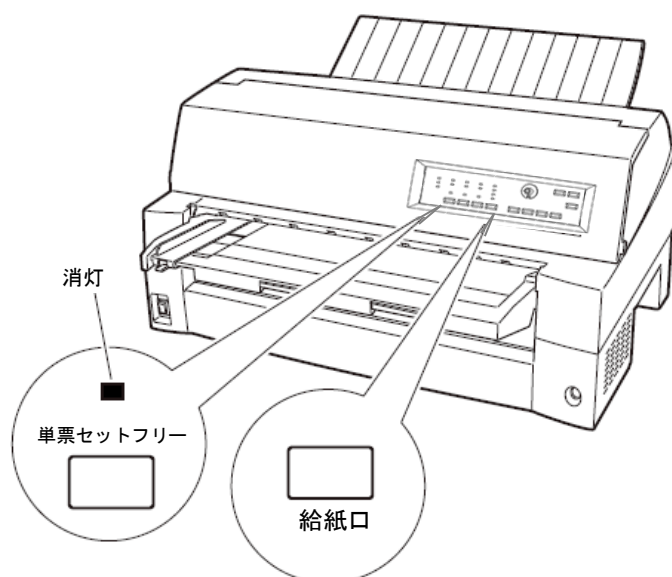
1 プリンタの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3 【単票セットフリー | リセット】スイッチを押して「単票セットフリー」ランプを消灯させる



4 【給紙口】スイッチを押して「単票手差し」状態にする

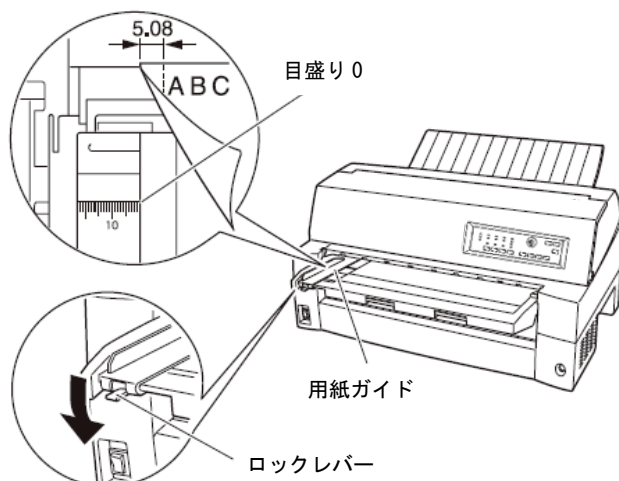
このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。



連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

5 印字開始位置に合わせて用紙ガイドを移動する

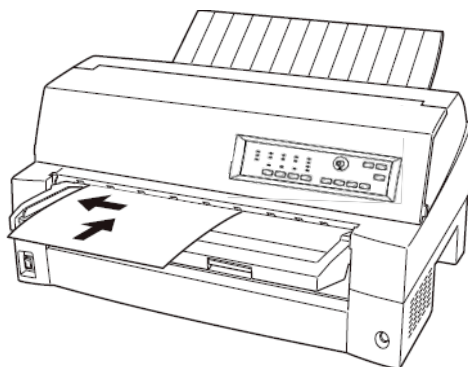
用紙ガイドの左端を単票テーブルの目盛り 0 (mm) の位置にして、ロックレバーを下側に倒してロックします (第 1 ドット目が用紙の左端より 5.08mm の位置に印字します)。



6 単票用紙をセットする

印字する面を上にし、単票用紙の左端を用紙ガイドに当てて、一枚ずつ差し込みます。

用紙が奥に軽く突き当たるまで、まっすぐに差し込んでください。
用紙が自動的に印字開始位置まで送られます。



- 注 1) 機能設定で『オートローディング』(66 ページ)を「無効」に設定している場合は、【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押して用紙をセットしてください。
- 注 2) 幅のせまい媒体 (100mm 未満の媒体) をセットする場合は、用紙ガイドの左側を目盛り 0 (mm) の位置に合わせてください。
- 注 3) 用紙ガイドは目盛り 0 (mm) の位置より右側にしないでください。
- 注 4) A3 用紙の場合は、用紙ガイドを目盛り 28 (mm) よりも左側へ移動して用紙をセットしてください。

7 【オンライン】スイッチを押し、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にしてパソコンから印字データを送る

送られた用紙がまっすぐセットされなかった場合は、オンライン状態にする前に【用紙カット | 用紙吸入/排出】スイッチを押し、一旦単票用紙を排出してから再度セットしてください。

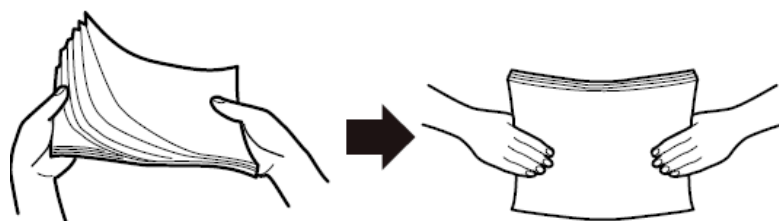
注) 「2.7 機能設定を変える（59 ページ参照）」で、【その他の設定】の『単票自動オンライン』が「有効」になっている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字が開始されます。

■ 単票用紙をセットする (カットシートフィーダを取り付けた場合)

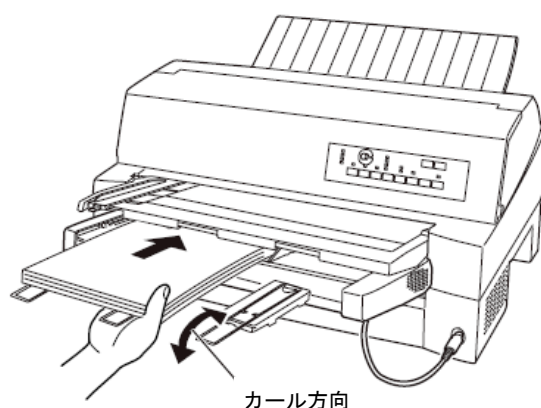
カットシートフィーダをプリンタに取り付け場合に用紙をセットする方法について説明します。

カットシートフィーダの取り付けについては、「7.1 カットシートフィーダを取り付ける (199 ページ)」を参照してください。

- ・ セットするときは、図のように用紙をさばき、机の上などで用紙の上下、左右をきちんと揃えてください。



- ・ 用紙はカールを取り除いた上でセットしてください。
用紙は、湿度などの影響でカールしていることがあります。カールした用紙を補充する場合や別梱包の用紙を合わせてセットする場合、カールを取り除いた上、カール方向を合わせてセットしてください。(背中合わせでセットすると複数枚数が同時に吸入される場合があります。)また、少しカールのある場合は、カール方向を下図のようにセットしてください。



- ・ 紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄や連量(紙厚)などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

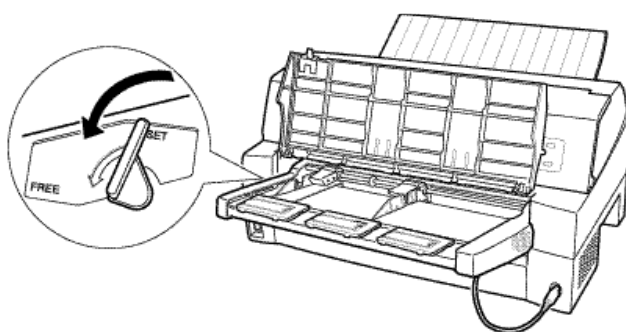
【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態(「オンライン」ランプ消灯)にします。

3 【給紙口】スイッチを押して「カットシートフィーダ」ランプを点灯させる

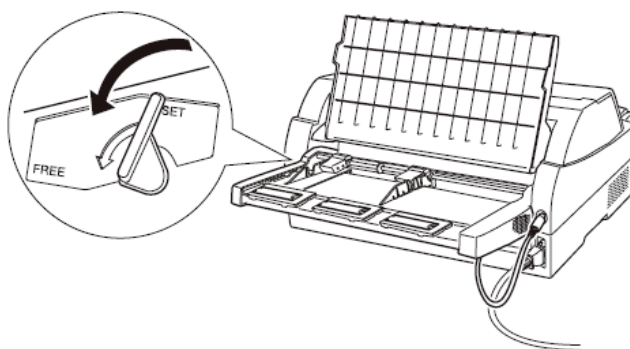
4 カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合は単票テーブル(30 ページ参照)を、プリンタ後部に取り付けられている場合はスタッカを開く

5 カットシートフィーダのセットレバーを「FREE」の位置にする

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



6 用紙ガイドに沿って用紙を載せる

用紙を揃え、左側用紙ガイドに沿って用紙を乗せます。ガイド線（赤色）が一度にセットできる用紙の高さを示します。

（55kg 紙の場合、総枚数が 120 枚となります。）



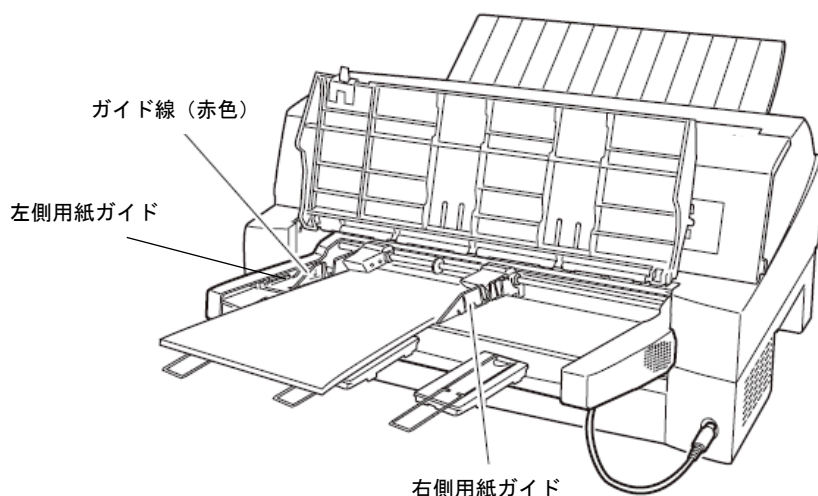
- ・ 左側用紙ガイドは通常の場合、「▽」の位置（最も内側）に寄せご使用ください。
- ・ A3 用紙を横にセットするときは、「←」の位置に左側用紙ガイドを移動してください。

7 長い用紙をセットする場合は、エクステンションおよびエクステンションワイヤを展開する

「7.1 カットシートフィーダを取り付ける（199 ページ）」参照

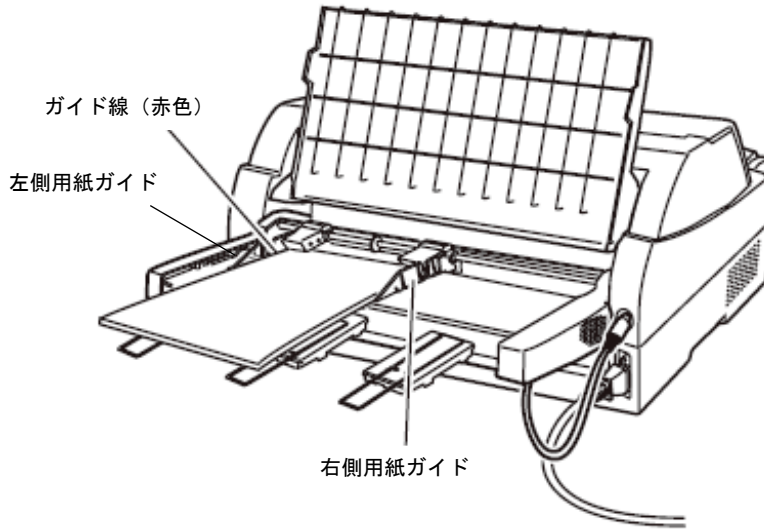
8 右側用紙ガイドの位置を、セットする用紙に合わせる

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



ガイド線（赤色）

【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



✓**チェック**

用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、右側用紙ガイドを動かして隙間をなくしてください。なお、用紙ガイドを用紙に押しつけ過ぎますと、吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

9 カットシートフィーダのセットレバーを「SET」の位置に戻し、単票テーブル、スタッカを元に戻す

10 オンライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンから印字データを送ります。

✓**チェック**

スタッカへ印字後の用紙をスタックしすぎると用紙づまりなどが発生します。スタック可能枚数は 120 枚（上紙 55kg 用紙でカットシートフィーダにセット可能な枚数）を目安に適度に取り除いてください。

■ 単票用紙をセットする (CSFセットフリーオン時)

CSFセットフリー機能を有効にすると、単票の左端を検出し、横方向の印字位置を自動的に調整し、印字することができます。この機能で利用できる用紙幅は、100～364mm(B4の長手方向)です(詳細は「第4章 用紙について」を参照)。364mmを超える単票は、印字カットが発生しますので、CSFセットフリー機能を無効にして使用してください。

ここで説明するカットシートフィーダへの用紙のセット方法と注意点は、前カットシートフィーダおよび後カットシートフィーダに共通する内容です。

◆ 用紙のセットに関する注意

CSFセットフリー機能は、つぎの方法により使用します。

まず、「2.7 機能設定を変える(59 ページ)」に従い、【装置機能設定】で『前CSFセットフリー』、または『後CSFセットフリー』が「有効」になっていることを確認します。『前CSFセットフリー』、または『後CSFセットフリー』が「無効」になっているは、「機能設定を変える」の手順に従い、『前CSFセットフリー』、または『後CSFセットフリー』を「有効」に設定してください。

カットシートフィーダへの単票のセットは、CSFセットフリー機能が無効のときと同様に「単票用紙をセットする(カットシートフィーダを取り付けた場合)」(116 ページ)に従いセットして下さい。

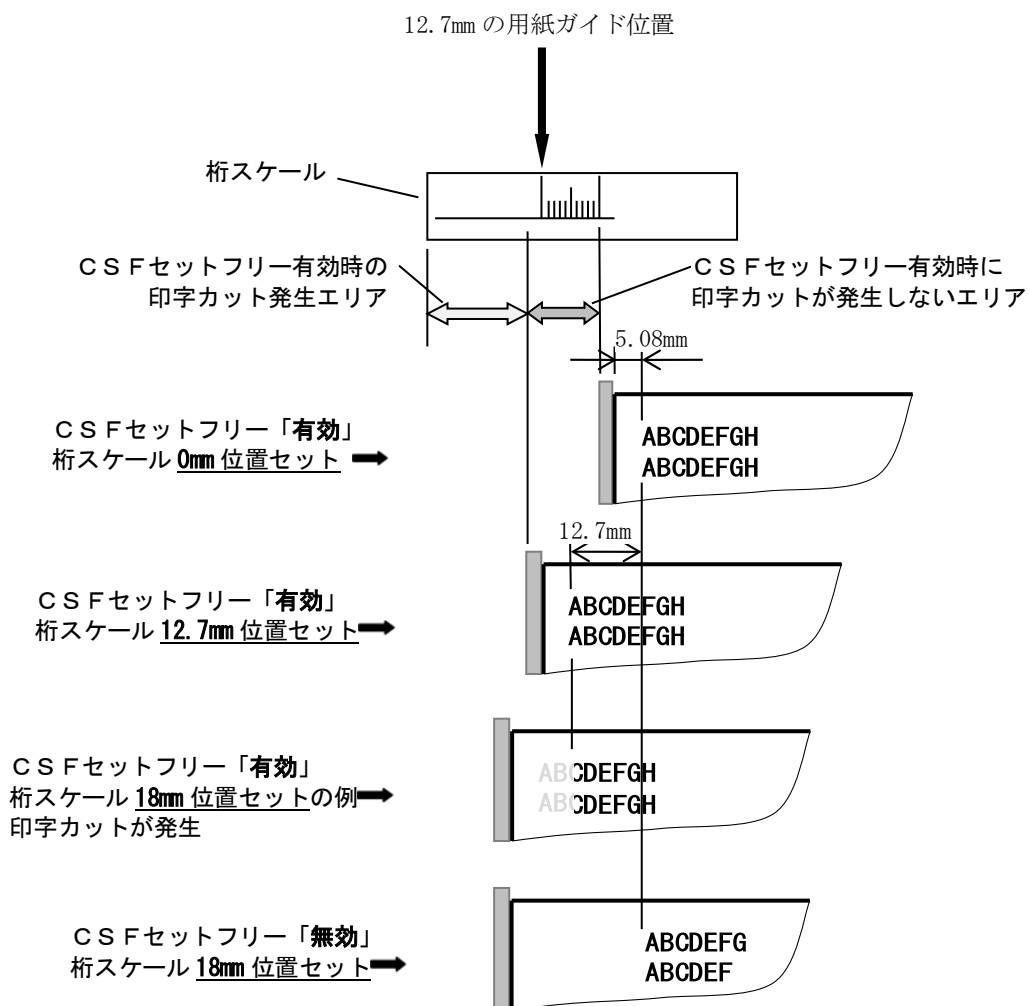
印字開始位置は、機能設定【余白量設定】の『前CSFセットフリー余白量』(71 ページ)、または、『後CSFセットフリー余白量』(72 ページ)により設定します。工場出荷時は、用紙左端より 5.08mm の位置になります。

注) 印字開始位置を頻繁に変更したいときは、CSFセットフリー機能を使わず用紙ガイドの位置で調整してください。

◆ 用紙左端位置に関する注意

左側の用紙ガイドを用紙基準位置（桁スケール）の0～12.7mmの位置に合わせて固定してください。

12.7mmの位置より左側にセットすると、印字データによっては、印字がカットされます。



3.2 用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。

本プリンタは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。

宅急便伝票などの段差のある用紙に印字するときに、自動紙厚調整ではうまく印字できない場合にのみ、以下の手順で手動紙厚調整を設定してください。

- 1) プリンタドライバのプロパティで用紙厚を指定します。
このとき、操作パネルの自動紙厚調整はオンのままにしておいてください。
- 2) 操作パネルの自動紙厚調整を手動にし、ダイヤル設定を行います。
この場合、紙厚に関するプリンタドライバの全ての設定を無視し、ダイヤル設定に従います。ダイヤル設定は印字が開始するときに作動します。

用紙厚を調整するときは、次表を参考にしてください。

操作パネルの手動紙厚調整ダイヤルが“1”の位置にあるとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は最も狭くなり、“R”の位置のとき最も広がります。

自動紙厚調整



用紙の種類と厚さ			手動紙厚調整ダイヤルの位置														
1 枚紙	複写紙	推奨厚さ (mm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	R	
連量 40～70kg	一般的な 1P (連量 34kg)	0.08	○														
連量 70～110kg	一般的な 2P	0.13		○													
連量 110～135kg	一般的な 3P	0.18			○												
はがき 各種封筒 特殊紙など	一般的な 4P	0.23				○											
	一般的な 5P	0.28					○										
	一般的な 6P	0.33						○									
	一般的な 7P	0.38							○								
	一般的な 8P	0.43								○							
	各種宅配伝票 (ゆうパック など)	0.48										○					
		0.53											○				
		0.58												○			
		0.63													○		
0.68															○		
リボン交換時 (注)																○	



手動でお使いになる場合は、用紙の厚さに対して上記の目安に沿って手動紙厚調整ダイヤルをセットしてください。

手動紙厚調整ダイヤル位置は数字 1～9、英字 A～D、R の 14 段階あり、ダイヤルの回転によって 1 番の位置から 1 目盛増す毎に約 0.05mm 単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広がります。おおよその目安として 1～2 番の設定で 1 枚、1 目盛増すごとに用紙 1 枚分間隔が広がります。

使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるように手動紙厚調整ダイヤルを設定してください。

使用する用紙に対して、手動紙厚調整ダイヤルのセットが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整ダイヤルのセットが広すぎるとき

- ・ 印字かすれ、印字抜けが生じることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整ダイヤルのセットが狭すぎるとき

- ・ 印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- ・ 用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
- ・ リボンによって用紙が汚れることがあります。
- ・ 用紙の送りが悪くなることがあります。
- ・ 印字ヘッドが正常に動かなくなることがあります。

◆ 紙厚調整の動作タイミングについて

- ・ 自動紙厚調整モードのとき
印字動作を開始するときに、自動的に用紙厚が調整されます。
- ・ 手動紙厚調整モードのとき
ダイヤル操作後、次の印字動作を開始するときに、設定した用紙厚に調整されます。また、印字中にダイヤルを回すと、次の改行時に変更した用紙厚に調整されます。

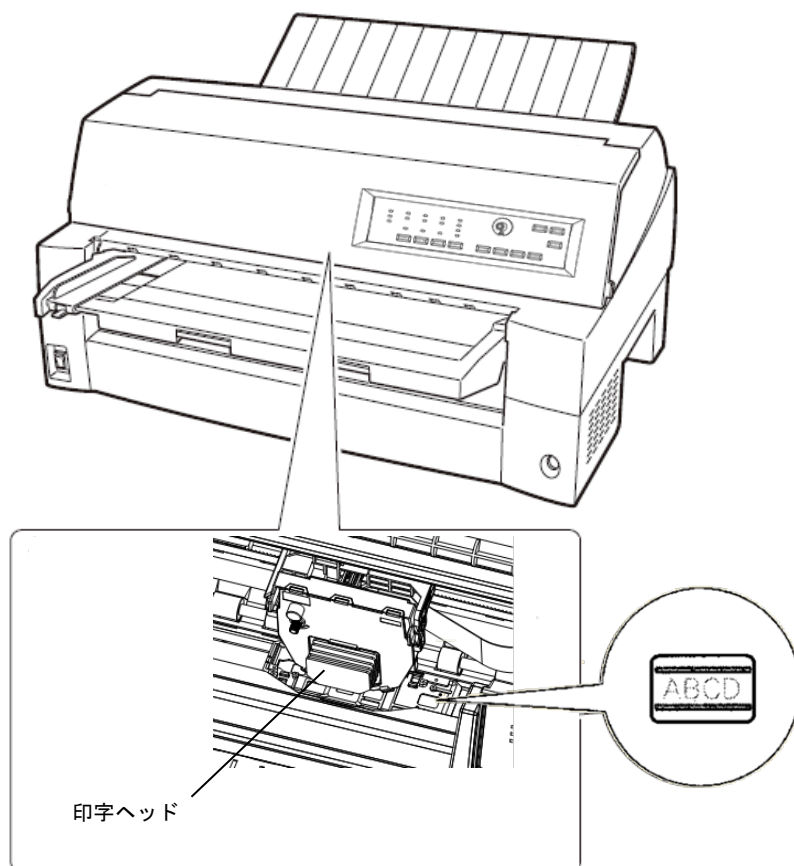
3.3 印字開始位置について

必要に応じてセットした用紙の行方向の印字開始位置を変えます。

注) 用紙セット直後はプリンタドライバの上端余白に対応するため、上端余白が最小値となる位置に仮吸入されます。

最初に【手前排出 | 改行】スイッチを押したとき、機能設定で設定した上端余白量に移動した後、スイッチ操作分用紙を移動します。

印字開始位置を調整するとき、カードガイドの右側窓のラインが文字の上下端を示していますので、これを目安にして用紙を合わせます。



■ 印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルの操作で行方向の印字位置を微調整できます。トップカバーを開いているとプリンタが動作しませんので、トップカバーを閉じてから操作してください。

◆ 正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

【微小改行▲】スイッチを押します。

単票テーブル、前カットシートフィーダ、および前トラクタの用紙は、正方向に 1/180 インチ改行します。

押し続けると連続して正改行します。

後カットシートフィーダ、および後トラクタの用紙に対しては、逆改行となります。

◆ 逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

【微小改行▼】スイッチを押します。

単票テーブル、前カットシートフィーダ、および前トラクタの用紙は、逆方向に 1/180 インチ改行します。

押し続けると連続して逆改行します。

後カットシートフィーダ、および後トラクタの用紙に対しては、正改行となります。

連続帳票用紙の印字開始位置を【微小改行▲】スイッチ、または【微小改行▼】スイッチを押して変更した場合は、変更した分が次ページでも加減されます。また、「2.10 連続帳票用紙をカット位置に送る (87 ページ参照)」でも、用紙を送り出す際に、変更した分が加減されます。さらに、カット位置に用紙を送り出した状態で、【微小改行▲】スイッチ、または【微小改行▼】スイッチを押した場合は、その位置から印字が開始されます。

第 4 章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

4.1 用紙使用上のご注意

■ 連続帳票普通紙

[使用できる用紙]

本プリンタでは、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。

用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印字をし、支障がないことを確認することをお勧めします。

詳細は「4.2 連続帳票用紙(135 ページ)」を参照願います。

[使用できない用紙]

- ・ 連量が 45kg 未満の薄い用紙(複数つづりの構成用紙は除きます)
- ・ 連量が 70kg 以上の厚い用紙
- ・ 全体の用紙厚さが 0.65mm 以上の厚い用紙
- ・ 用紙のとじ方法が線のりとじ、紙ホチキスとじ、束のりとじ、片のりとじの複写用紙
- ・ 「ミシン目の入れ方」(138 ページ)記載以外のミシン目を入れた用紙
- ・ 湿っている用紙や濡れている用紙
- ・ 一度印字した用紙(裏紙等)
- ・ 貼り合わせた用紙(切手など)や、糊などが付いている用紙
- ・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
- ・ 反り(カール)、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・ 裁断部のバリが大きい用紙
- ・ 紙粉の多い用紙

[使用できない用紙を使用したとき]

- ・ 連量が 70kg 以上の厚い用紙や全体の用紙厚さが 0.65mm 以上の用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことによりローラーが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- ・ 用紙のとじ方法が線のりとじ、束のりとじ、片のりとじの複写用紙を使用すると用紙づまりや印字ズレが発生し、装置故障の原因となります。
- ・ 連量が 45kg 未満の薄い用紙や湿っている用紙などに印字した場合は、紙詰まりやシワなどが発生しやすくなります。
- ・ 一度印字した用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラーなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- ・ 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- ・ 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

■ 連続帳票特殊紙

[使用できる用紙]

本プリンタでは、はがき用紙およびタック紙等の特殊連続帳票用紙を使用することができます。

しかし、印字品質は、普通紙より劣ることがありますので、用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印字をし、支障がないことを確認することをおすすめします。

詳細は、「はがき用紙」(140 ページ)、「タック用紙」(143 ページ)を参照してください。0

◆ はがき用紙

[使用できない用紙]

- ・ 連量が 135Kg 以上の厚い用紙
- ・ 「ミシン目の入れ方」(138 ページ)記載以外のミシン目を入れた用紙
- ・ 湿っている用紙や濡れている用紙
- ・ 一度印字した用紙（裏紙等）
- ・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などが付いている用紙
- ・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
- ・ 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・ カールしている用紙
- ・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・ 裁断部のバリが大きい用紙
- ・ 紙粉の多い用紙

[使用できない用紙を使用したとき]

- ・ 連量が 135Kg 以上の厚い用紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことにより、ローラーが磨耗し、本プリンタに適している用紙まで給紙できなくなります。
- ・ 貼りあわせた用紙や、糊の付いている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- ・ 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

◆ タック用紙

[使用できない用紙]

- ・ 用紙(ラベル+台紙)の厚さ 0.2mm 以上の厚いラベル紙
- ・ 台紙の厚さ 0.1mm 以上の厚いラベル紙
- ・ ラベルの厚さ 0.1mm 以上の厚いラベル紙
- ・ 湿っている用紙や濡れている用紙
- ・ 一度印字した用紙
- ・ 貼り合わせた用紙(切手など)や、糊などがラベルからはみ出してついている用紙
- ・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
- ・ 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・ カールしている用紙
- ・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・ 裁断部のバリが大きい用紙
- ・ 紙粉の多い用紙
- ・ ラベルの貼り付け強度の弱い用紙(「ラベルの貼り付け強度」(143 ページ)参照)

[使用できない用紙を使用したとき]

- ・ 用紙の厚さ 0.2mm 以上の厚いラベル紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラーへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
- ・ ラベルの貼り付け強度の弱い用紙を使用すると、ラベルが台紙から剥がれやすくなり、用紙搬送ローラーへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
- ・ 一度印字した用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラーなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- ・ 印字領域内にとじ穴がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

■ 単票普通紙

[使用できない用紙]

- ・ 連量が 45kg 未満の薄い用紙(複数つづりの構成用紙は除きます)
- ・ 連量が 135kg 以上の厚い用紙
- ・ 全体の用紙厚さが 0.65mm 以上の厚い用紙
- ・ 用紙のとじ方法が横のりとじの複写用紙
- ・ 湿っている用紙や濡れている用紙
- ・ 一度印字した用紙(裏紙等)
- ・ 貼り合わせた用紙(切手など)や、糊などが付いている用紙
- ・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
- ・ 反り(カール)、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・ 裁断部のバリが大きい用紙
- ・ 紙粉の多い用紙

[使用できない用紙を使用したとき]

- ・ 連量が 135kg 以上の厚い用紙や全体の用紙厚さが 0.65mm 以上の用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことによりローラーが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- ・ 用紙のとじ方法が横のりとじの複写用紙を使用すると斜行印字が発生することがあります。
- ・ 連量が 45kg 未満の薄い用紙や湿っている用紙などに印字した場合は、紙詰まりやシワなどが発生しやすくなります。
- ・ 一度印字した用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラーなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- ・ 貼りあわせた用紙や、糊の付いている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- ・ 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

■ 単票特殊紙

[使用できる用紙]

本プリンタでは、郵政はがき、宅配伝票等の特殊単票用紙を使用することができます。

しかし、印字品質は、普通紙より劣ることがありますので、用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印字をし、支障がないことを確認することをお勧めします。詳細は、「はがき用紙」(140ページ)を参照願います。

◆ はがき

[使用できない用紙]

- ・ 郵政はがきでないもの
- ・ 折り目をつけた往復はがき
- ・ 湿っている用紙や濡れている用紙
- ・ 一度印字した用紙（裏紙等）
- ・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などが付いている用紙
- ・ 印字領域内にとじ穴がある用紙
- ・ 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・ カールしている用紙
- ・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・ 裁断部のバリが大きい用紙
- ・ 紙粉の多い用紙

[使用できない用紙を使用したとき]

- ・ 郵政はがき以外を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことにより、ローラーが磨耗し、本プリンタに適している用紙まで給紙できなくなります。
- ・ 折り目をつけた往復はがきを使用すると用紙吸入不良や斜行印字が発生します。
- ・ 一度印字した用紙(裏紙)を使用すると用紙搬送ローラーなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- ・ 貼りあわせた用紙や、糊の付いている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- ・ 印字領域内にとじ穴やミシン目がある用紙を使用すると印字ヘッドピンが折れ装置故障の原因となります。

◆ 封筒

[使用できない用紙]

- ・ フラップなどがのり付け加工された用紙
- ・ 窓付き封筒
- ・ 二重封筒
- ・ 湿っている用紙や濡れている用紙
- ・ 一度印字した用紙
- ・ 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがついている用紙
- ・ 反り（カール）、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・ ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・ 裁断部のバリが大きい用紙
- ・ 紙粉の多い用紙

[使用できない用紙を使用したとき]

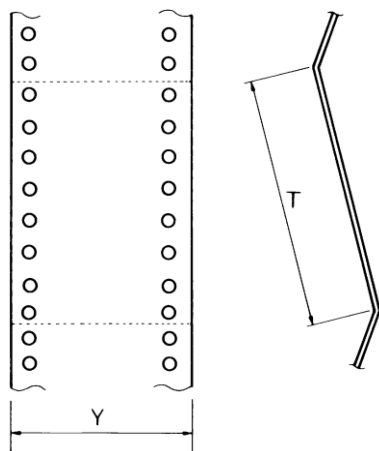
- ・ 窓付きの用紙を使用すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラーがすべってしまうことによりローラーが磨耗し、本プリンタに適している用紙までも給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- ・ 貼りあわせた用紙や、糊のついている用紙に印字すると糊の成分等が装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。

4.2 連続帳票用紙

このプリンタで利用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下图に示します。



単位 mm

記号	寸法
Y (用紙幅)	101.6~406.7 (4~16 インチ)
T (折り畳み長さ)	101.6 以上 (4 インチ以上)

◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ（連量）の組み合わせは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

用紙の構成枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70	
ノンカーボン紙	2P	34, 43, 55, (70)	() 内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
	6P	34, (43, 55)	
	7P	34, (43, 55)	
	8P	34, (43, 55)	

用紙種類	枚数	連量 (kg)	備考
裏カーボン紙	2P	34, 45, 55, (70)	
	3P	34, 45, (55, 70)	
	4P	34, (45, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	
	6P	34, (45, 55)	
	7P	34, (45, 55)	
	8P	34, (45, 55)	
中カーボン紙	2P	30, 40, 45, (55, 70)	
	3P	30, 40, (45, 55)	
	4P	30, 40, (45, 55)	

連量 70kg を超える用紙については、はがき用紙を参照してください。
 (「はがき用紙 (前トラクタフィーダ)」 140 ページ参照)

注 1) 連量とは、四六判 (788×1091mm) の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカーによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。

注 3) 中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 4P までです。(後トラクタフィーダは 3P までです。)
 中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下としてください。

注 4) 用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。

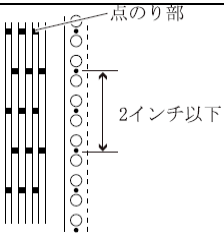
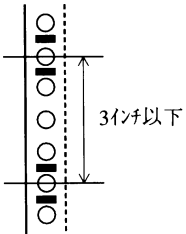
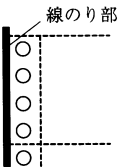
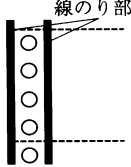
不具合が発生する用紙については、その度合いが容認出来るものであるかどうか判断の上ご使用ください。

注 5) 全体の用紙厚さは、0.65mm 以下にしてください。

注 6) とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

◆ 用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のりとじ」にしてください。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。

とじ方法		適用する 用紙枚数	備 考
点のりとじ		8 枚まで	本プリンタに最も適したとじ方です。
ダブルギャザー		8 枚まで	用紙枚数が多くなるほど、用紙層ズレが出やすくなります。
線のりとじ	一列	8 枚まで	用紙のしなやかさが失われ堅くなってしまうので、用紙ジャム等が出やすくなります。
	二列		
			
			

注 1) 上記説明図では帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けしてください。

注 2) 完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように 1mm 以下になるようにしてください。



注 3) プリンタ故障の原因になるので、金属ホチキスとじは使用しないでください。

注 4) 帳票の用紙送り穴の層間でのズレは、0.4mm 以下のものを使用してください。

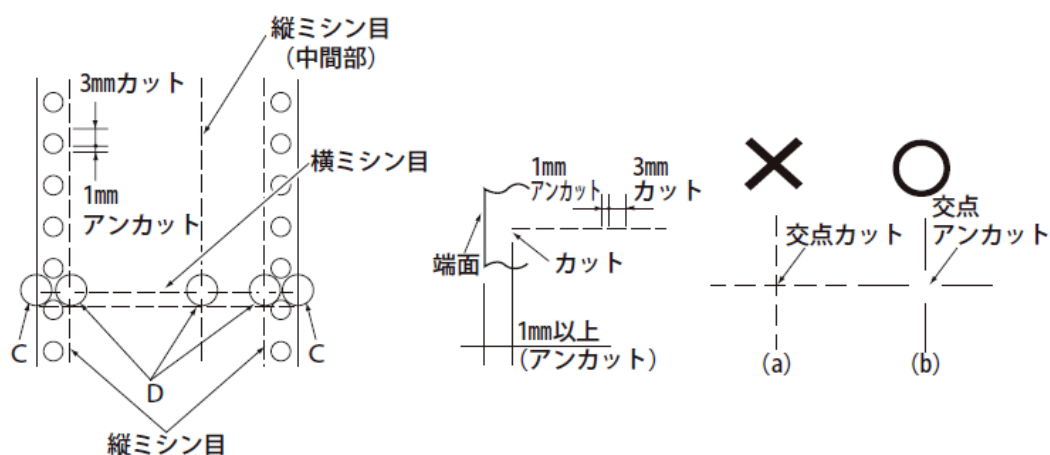
注 5) 用紙とじ部でリボンがズレて印字の上下が欠ける場合は機能設定【その他の設定】の『連帳改行時リボン保護制御』を「有効」にしてください。

◆ ミシン目の入れ方

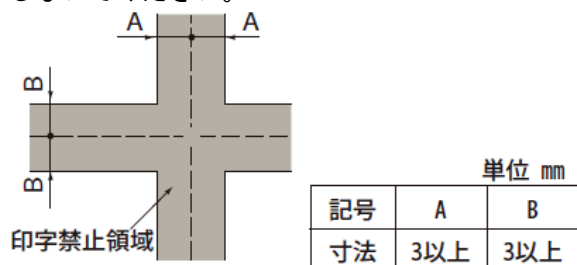
ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に1枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。

ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

- ・ 1枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約 3 : 1 にしてください。
- ・ 横ミシン目の端面アンカット寸法（両端部 C）は、1mm 以上にしてください。
- ・ 縦ミシン目と横ミシン目の交点（D）部は交点アンカット（b）の方法にしてください。交点カット（a）は、行わないでください。
- ・ 複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注 1) ミシン目上に印字すると、用紙にキズがついたりプリンタの故障となることがありますので、下の図に示す斜線部には印字しないでください。



注 2) 印字を伴わない印字ヘッドの移動の際にも悪影響が発生しますので紙面全体に上記のミシン目の入れ方を適用してください。

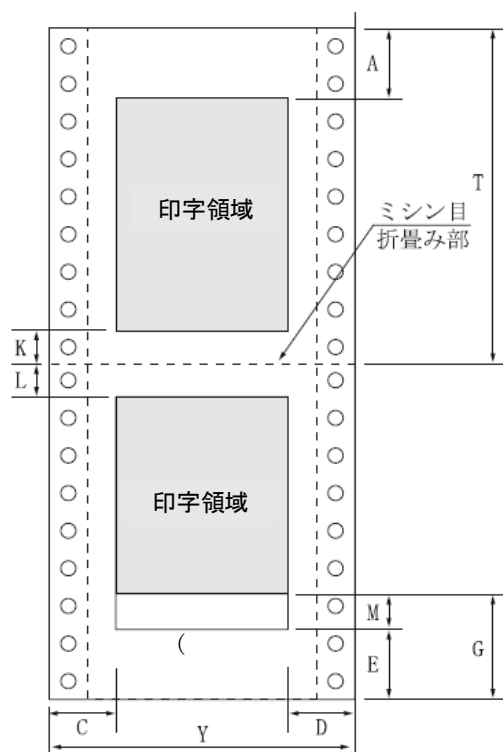
注 3) 縦ミシン目と横ミシン目の交点がカットされていない（交点アンカット（b））ときは、印字禁止領域の制限はありません。

■ 一般用紙（前・後トラクタフィーダ）

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

◆ 用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



記号	項目	寸法 (mm)	
		前トラクタフィーダ	後トラクタフィーダ
A	上端余白	4.2 以上	
C	横打ち出し	11.43 以上 (注 1)	
D	最終印字	(注 2)	
E	下端余白	約 20	
G	PE 検出 (注 3, 4)	4.2	
		約 101	157
K	下端余白	4.2 以上	
L	上端余白	4.2 以上	
M	オーバーラ イド印字	(注 5)	
T	用紙長さ	101.6 (4 インチ以上)	
Y	用紙幅	101.6 ~ 406.4 (4~16 インチ)	

注 1) C 値は用紙幅 381.0mm (15 インチ) 以下の場合です。406.4mm (16 インチ) の場合は、14~30mm となります。

注 2) D 値については用紙幅と印字桁数によりますが、最小 11.43mm とします。

注 3) E 検出位置は、機能設定【余白量設定】の『前トラクタ下端余白量』、および『後トラクタ下端余白量』の設定により変更できます。初期設定は 4.2mm です。この設定を変更すると、トラクタの位置（前トラクタ 約 101mm、後前トラクタ 約 157mm）で PE 検知を行うようになります。

トラクタから外れた後の改行がうまく行かない場合や、逆改行を行う場合は、トラクタの位置で PE を検知するように設定変更してください。

注 4) G 値領域への印字は、印字品質が低下する場合があります。

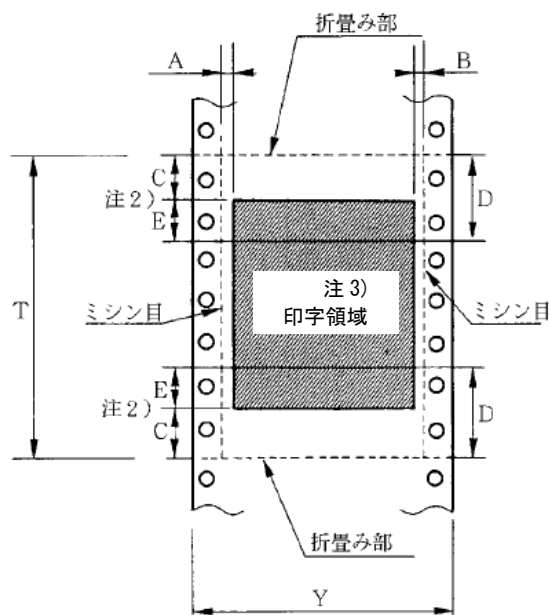
注 5) 左右の印字余白 (C, D) が 16mm 未満となる場合は、以下のセットアップ項目により印字カット量を適切な値に変更して使用してください。変更しない場合、左右端から約 14mm の範囲に入る印字データがカットされ、データが正しく印字されなくなるので注意してください。

- ・前トラクタフィーダ使用時：『前トラクタ印字カット量 L』
『前トラクタ印字カット量 R』
- ・後トラクタフィーダ使用時：『後トラクタ印字カット量 L』
『後トラクタ印字カット量 R』

■ はがき用紙（前トラクタフィーダ）

各プリンタで連続帳票のはがき用紙が使用できます。はがき用紙を使用する場合は、前方（操作パネル側）から用紙をセットします。

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	横打ち出し	5.08 (1/5 インチ) 以上
B	最終印字	5.08 (1/5 インチ) 以上
C	縦打ち出し (注 1)	8.46 (1/3 インチ) 以上 (注 2)
D	縦打ち出し (推奨値)	25.4 (1 インチ) (注 2)
T	用紙長さ	203.2～355.6 (9～13 インチ)
Y	用紙幅	228.6～330.2 (9～13 インチ)

注 1) C 領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。
(用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。)

注 2) E の印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。

注 3) 印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2 : 1 にしてください。

◆ 連量

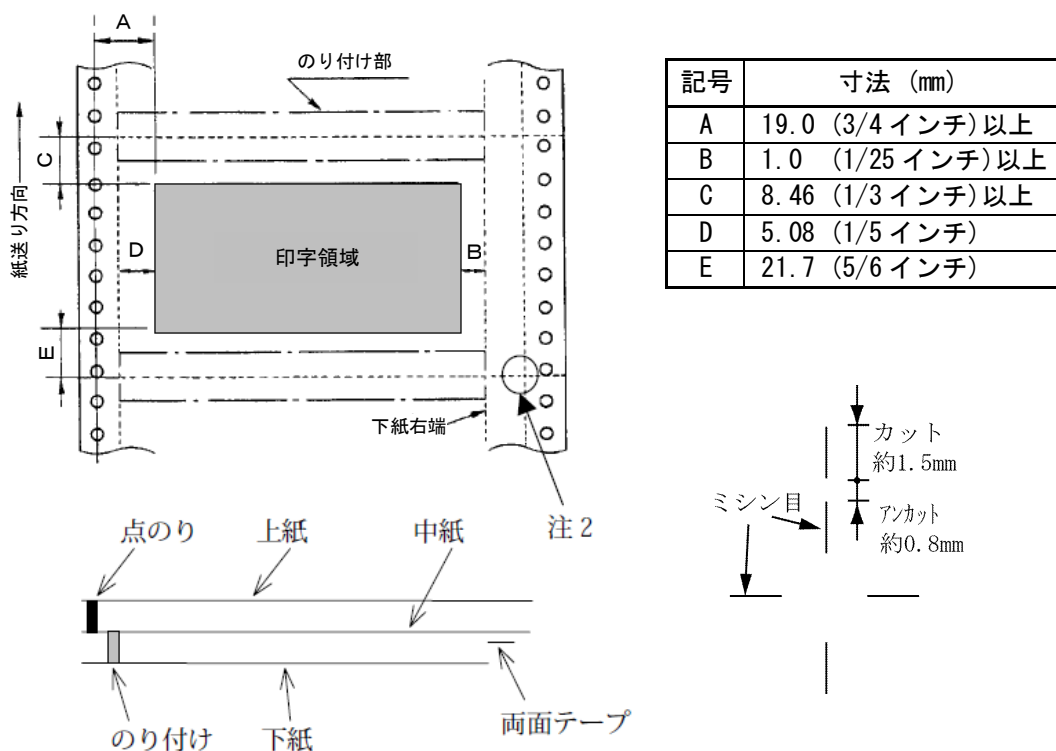
135kg 以下とし、枚数は 1 枚のみとします。

◆ ミシン目の入れ方

一般連続帳票用紙と同様です。

■ 封筒用紙（前・後トラクタフィーダ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



注 1) 改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。

注 2) ミシン目の寸法は、上図をおすすめします。

（ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。）

縦ミシン目と横ミシン目の交点部は交点アンカットの方法にしてください。

（「ミシン目の入れ方」138 ページ参照）

注 3) のり付けの幅は、4.23mm (1/6 インチ) 以下とします。

注 4) のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。

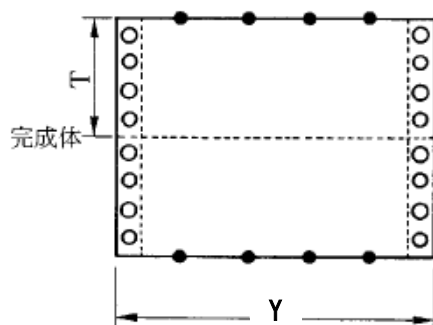
注 5) 穴ズレは、0.3mm 以下とします。

◆ 紙質構成および連量

	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量 (kg)	33.5	70	70

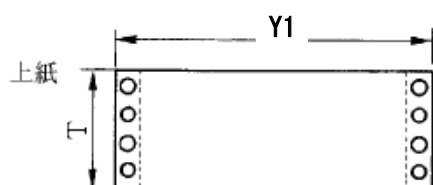
◆ 形状および構造

----- : ミシン目
 —●— : ミシン目+折り目



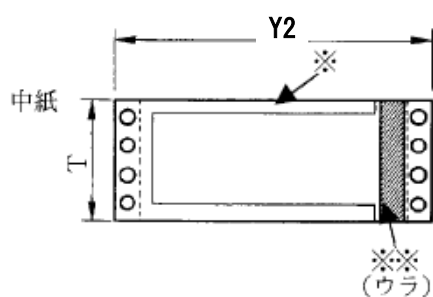
(a) 大きさ

記号	寸法 (mm)
T	127.0 (5 インチ)
Y	254.0 (10 インチ)
Y1	254.0 (10 インチ)
Y2	254.0 (10 インチ)
Y3	228.6 (9 インチ)



(b) とじ方法

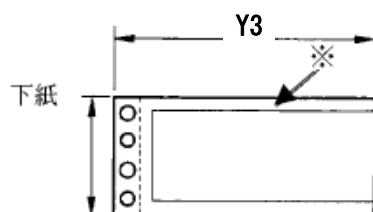
とじ方法	上紙／下紙	中紙／下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端・上下端 4.23mm 幅 (1/6 インチ幅) (※印)



(c) 両面テープ (※※印)

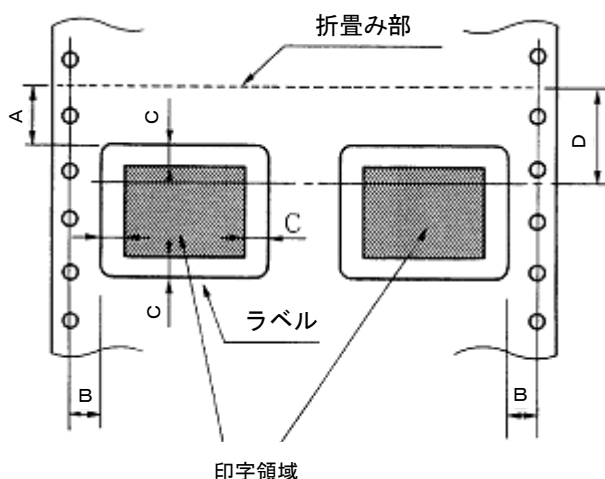
のり幅 : 10mm

(幅 12mm の はくり紙で
 のりを覆っています。)



■ タック用紙（前・後トラクタフィーダ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法 (mm)
A	2.54 (1/10 インチ) 以上
B	6.35 (1/4 インチ) 以上
C	2.54 (1/10 インチ) 以上
D	25.4 (1 インチ)

(注)

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

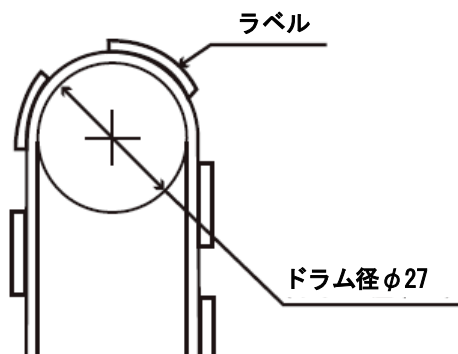
注) D 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。
 (改行量が 1/6 インチ以上の場合は、となり合う印字行の文字同士が重なり合うことは有りません。)

◆ 用紙厚さ

- ・ 用紙厚さは、ラベル＋台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。
- ・ 台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。
- ・ ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

◆ ラベルの貼付け強度

- ・ 次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。
 ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。



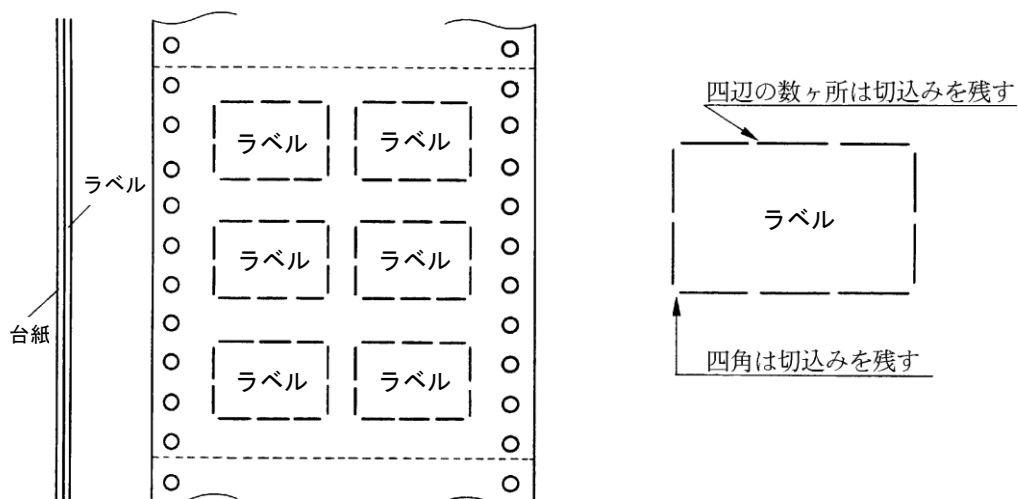
項目	条件
巻付ドラム径	φ 27
巻付角度	180°
巻付時間	24 時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%RH

◆ 用紙の形態

- ・ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

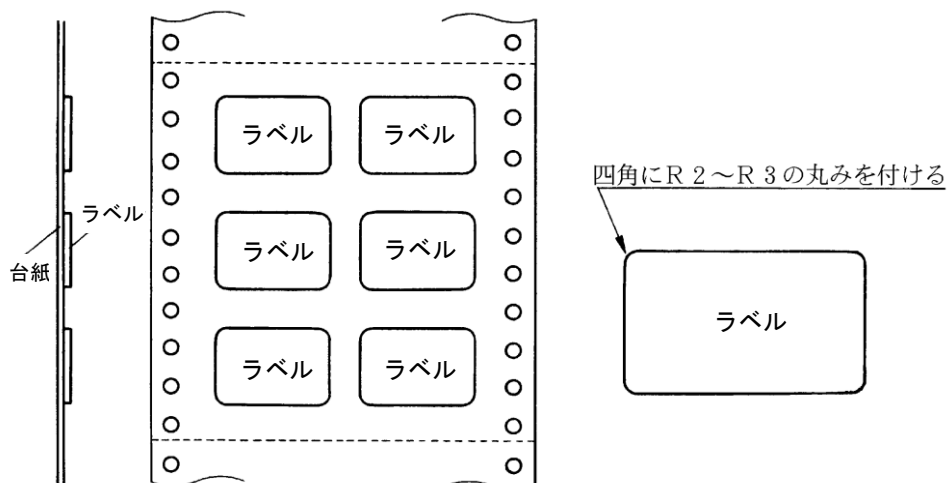
1) カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※ カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

2) カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付ける。



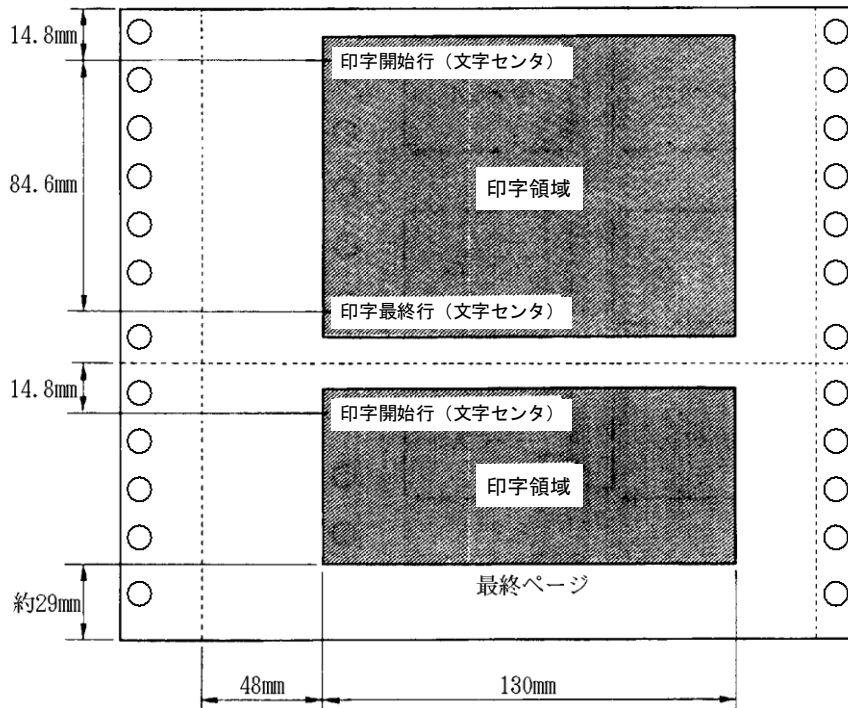
■ 宅配伝票（前トラクタフィーダ）

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック B、B-2、B-3）について規定します。

他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用ください。

◆ 印字領域

郵便小包ラベル



注 1) 印字領域内の用紙段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

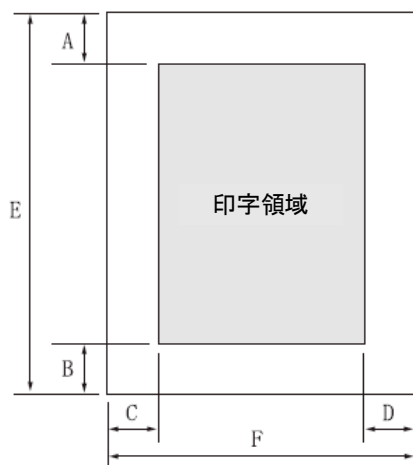
注 2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動用紙厚調整機構（APTC）の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。「3.2 用紙厚を調整する（122 ページ）参照」

注 3) 印字領域外への印字は禁止します。

4.3 手差しで使用する単票用紙

■ 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)	
		単票セットフリーオフの場合	単票セットフリーオンの場合
A	上端余白 (注 2)	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白 (注 2)	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白 (注 3, 4)	5.08 以上	5.08 以上
D	右端余白 (注 3)	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ (注 5)	70~420	70~364
F	用紙幅	55~420	100~364

注 1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注 2) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注 3) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注 4) A3 横を使用する場合は、C 値は 33~38.5mm となります。
機能設定【余白量設定】で『セットフリー無効時の左端位置』(72 ページ)を「左寄せ」に設定している場合は、C 値は 23.7~29.2mm となります。

注 5) 単票セットフリーオフの場合は、用紙長さが 90mm 以下の用紙は、セットしにくくなります。また、前カットシートフィーダを取り付けたとき、用紙長さは 90~420 mm となります。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) 注 1)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70, 90, 110, 135	
ノンカーボン紙 注 2)	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P	34, 43, 55, (70) 34, 43, (55, 70) 34, (43, 55, 70) 34, (43, 55) 34, (43, 55) 34, (43, 55) 34, (43, 55)	()内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
裏カーボン紙 注 2)	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P	34, 44, 55, (70) 34, 44, (55, 70) 34, (44, 55, 70) 34, (45, 55) 34, (45, 55) 34, (45, 55) 34, (45, 55)	

注 1) 連量とは、四六判 (788mm×1091mm) の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

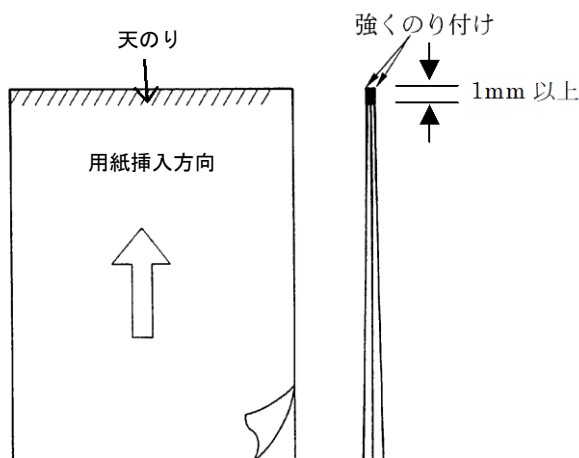
注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

注 4) 単票用紙で用紙の排出方向を手前排出 (テーブル側) にしたとき、用紙下端部の角折れが発生する場合には、排出方向を後方排出 (スタッカ側) に切り替えてご使用してください。切り替えるには、操作パネルの【手前排出 | 改行】スイッチを押して「手前排出」ランプを消灯します (「単票用紙の排出方向を切り替える (手前排出) 52 ページ参照」)。または、機能設定【装置機能設定】の『手差し排出方向』を「後方排出」に設定します。(67 ページ参照)

(用紙下端部の印字デューティが高い時に、角折れが発生する場合があります。)

■ 用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。

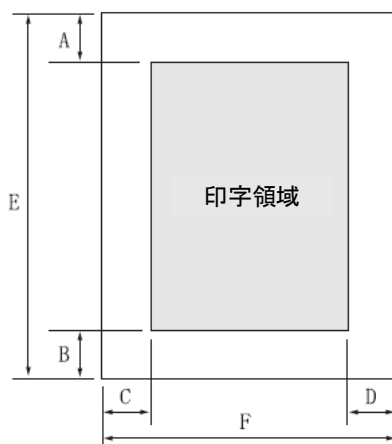


注 1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。

注 2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

■ はがき

◆ 用紙サイズおよび印字領域



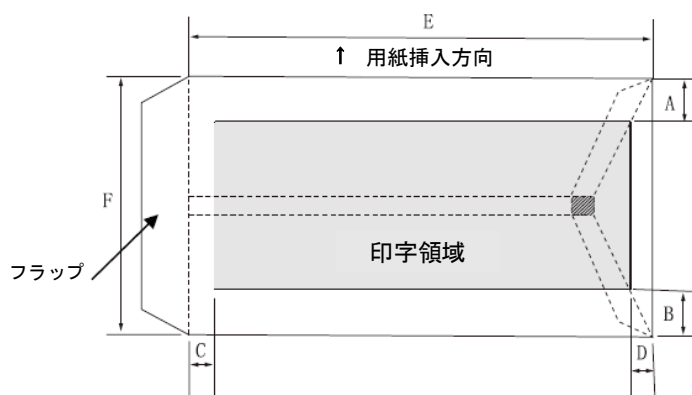
記号	項 目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200

注 1) はがきは、郵政はがきを指します。

注 2) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

■ 封筒

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項 目	寸法 (mm)
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上
E	用紙長さ	90～240
F	用紙幅	148～332

◆ 封筒サイズおよび坪量

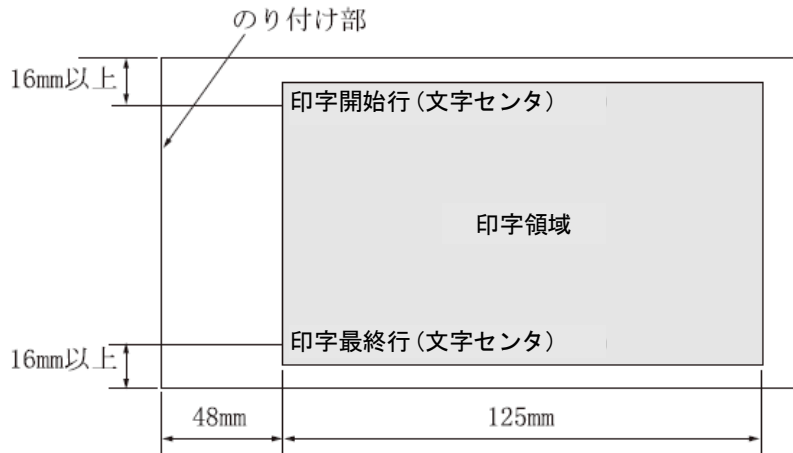
封筒の種類	寸法		坪量 (g/m ²)		最大 用紙厚 (mm)
	E (mm)	F (mm)	クラフト紙	その他の紙	
長形 2 号	277	119	70, 85	70 以上 85 以下	0.48
長形 3 号	235	120	50, 60, 70, 85	55 以上 85 以下	0.48
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 2 号	332	240	70, 85	70 以上 85 以下	0.48
角形 3 号	277	216			
角形 4 号	267	197			
角形 5 号	240	190			
角形 6 号	229	162			
角形 7 号	205	142	50, 60, 70, 85	70 以上 85 以下	0.46
角形 8 号	197	119			
洋形 1 号	176	120			
洋形 2 号	162	114			
洋形 3 号	148	98			
洋形 4 号	235	105			
洋形 5 号	217	95			
洋形 6 号	190	98			
洋形 7 号	165	92			

- 注 1) 印字領域以外への印字を禁止します。
- 注 2) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動用紙厚調整機構（APTC）の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。「3.2 用紙厚を調整する（122 ページ）参照」
- 注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
- 注 4) のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。
- 注 5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。
- 注 6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。
- 注 7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。
- 注 8) 斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。
- 注 9) 封筒は単票セットフリーをオフにして印字してください。単票セットフリーをオンで印字すると、封筒のフラップ部（斜めの部分）を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。
- 注 10) 封筒のフラップ部（斜めの部分）は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。（114 ページ参照）

■ 宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック 普通用 A、C）について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用ください。

◆ 印字領域



注 1) 印字領域以外の印字は禁止します。

注 2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動用紙厚調整機構 (APTC) の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。「3.2 用紙厚を調整する (122 ページ) 参照」

注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

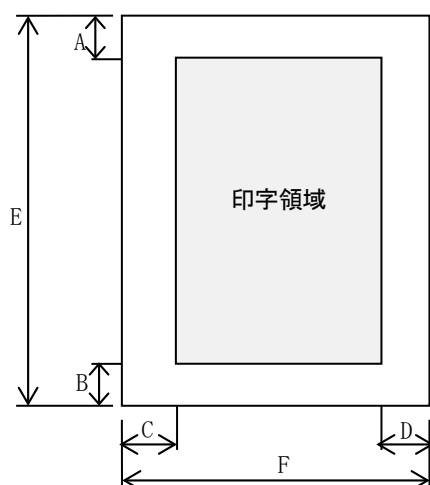
注 4) 用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票 (Max 0.6mm) 以下としてください。

注 5) 折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

4.4 カットシートフィーダ (オプション) で使用する単票用紙

■ 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)	
		CSF セット フリーオフ	CSF セット フリーオン
A	上端余白	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70~420	100~420
F	用紙幅	100~420	100~364

- 注 1) 上記は、前・後カットシートフィーダに共通の値です。
ただし、後カットシートフィーダで使用可能な最小用紙長さ (E 値) は、100mm となります。
- 注 2) 印字領域以外への印字は禁止します。
- 注 3) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。
- 注 4) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合、C 値と D 値は同時に実現できません。
- 注 5) A3 横を使用する場合は、C 値は約 37.3mm となります。
機能設定【余白量設定】で『セットフリー無効時の左端位置』(72 ページ)を「左寄せ」に設定している場合は、C 値は約 28mm となります。
- 注 6) カットシートフィーダで複写紙を使用する場合、F 値は 182mm 以上のものを使用してください。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) 注 1)	備 考
一枚用紙	1P	45, 55, 70, 90, 135	
ノンカーボン紙 (注 2)	2P	34, 43, 55, (70)	()内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
裏カーボン紙 (注 2)	2P	34, 44, 55, (70)	
	3P	34, 44, (55, 70)	
	4P	34, (44, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	

注 1) 連量とは、四六判 (788mm×1091mm) の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合がありますが、その場合表の数値に近いものを選んでください。

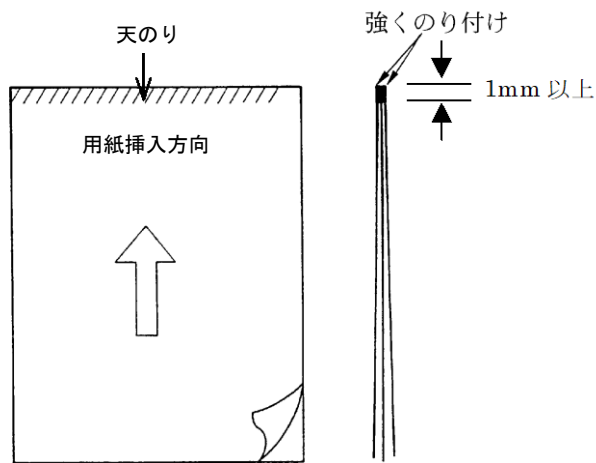
注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

注 4) 単票用紙で用紙の排出方向によっては、用紙下端部の角折れが発生する場合があります。この場合、後カットシートフィーダの場合は手前排出 (単票テーブル側) に、前カットシートフィーダの場合は後方排出 (スタッカ側) に、排出方向を切り替えてご使用ください。(用紙下端部の印字デューティが高い時に、角折れが発生する場合があります。)

排出方向の切り替えは、操作パネルの【手前排出 | 改行】スイッチを押す(「手前排出」ランプを点灯させると手前排出になり、消灯させると後方排出になります。)か、機能設定【装置機能設定】の『前 CSF 排出方法』、または『後 CSF 排出方向』を、「手前排出」または「後方排出」に設定します。
(67 ページ参照)。

■ 用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注 1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。

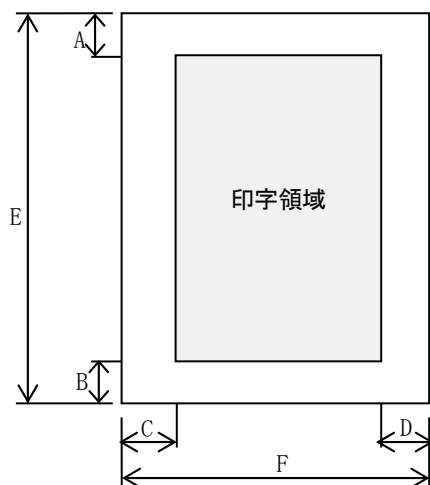
注 2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりのはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

◆ ホッパー容量

- | | |
|--------------------------|-------|
| (1) 一般用紙 (55kg、1P) | 120 枚 |
| (2) 5P (34kg) 用紙 | 25 枚 |
| (3) 郵政はがき | 40 枚 |

■ はがき

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項 目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200

注 1) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

注 2) 私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

■ 封筒

◆ 印字領域および用紙サイズ

手差しの場合と同様です。149 ページを参照してください。

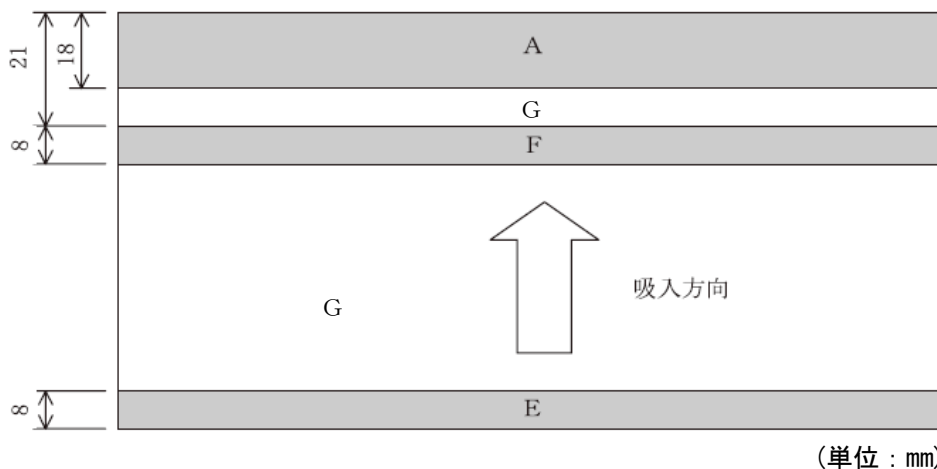
◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸 法		使用可否（注 1）		坪量（g/m ² ）		最大用紙厚（mm）
	E（mm）	F（mm）	前 CSF	後 CSF	クラフト紙	その他の紙	
長形 3 号	235	120	○	○	50, 60, 70	55 以上 70 以下	0. 40
長形 4 号	205	90	○	×			
長形 5 号	185	90	○	×			
角形 6 号	229	162	○	○	70	70 以下	0. 40
角形 7 号	205	142	○	○			
角形 8 号	197	119	○	○	50, 60, 70	70 以下	0. 40
洋形 3 号	148	98	○	○	50, 60, 70	70 以上 81 以下	0. 46
洋形 4 号	235	105	○	○			

4.5 プレプリント用紙を使用するとき

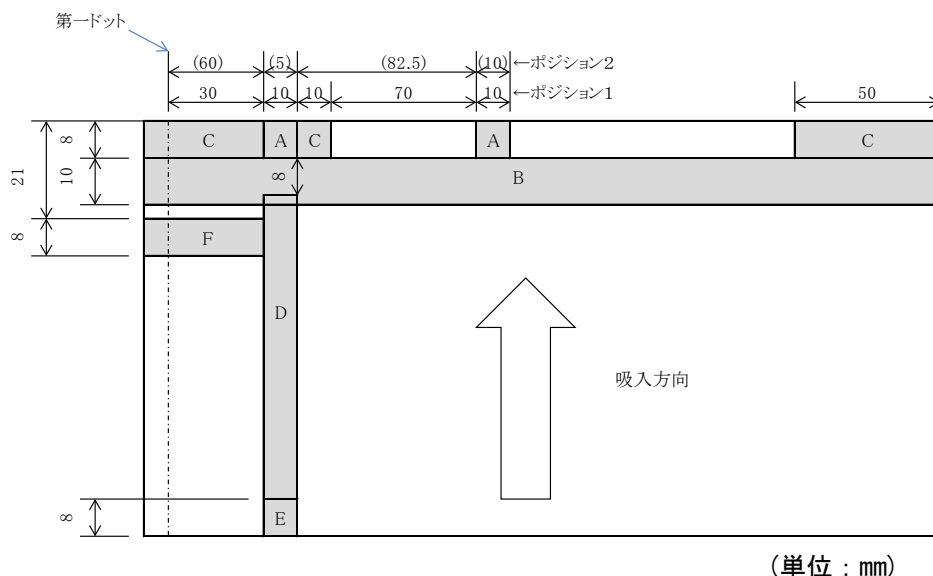
あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

◆ 単票セットフリー オン時の手差し単票のプレプリント禁止領域



- 注 1) 斜行補正機能をご使用の際は、全面にわたり、光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
- 注 2) A、E、F 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
- 注 3) G 部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印字するとき」(159 ページ参照)に示す幅の条件に従ってください。

◆ 単票セットフリー オフ時の手差し単票、カットシートフィーダで使用する単票、連帳の場合のプレプリント禁止領域

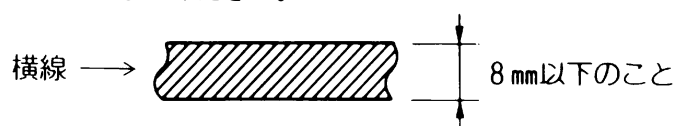


- 注 1) A、B、C、E、F 部は光反射率 60%以下の色 (例えば黒) は使用しないでください。
- 注 2) D 部に反射率 60%以下の色 (例えば黒) を使用する場合は、「プレプリント禁止領域に印字するとき」(159 ページ参照) に示す幅の条件に従ってください。
- 注 3) B、C 部は機能設定【その他の設定】の『用紙吸入時の斜行検出』と『用紙外印字防止』を無効にすると、プレプリントの制約はなくなります。
- 注 4) F 部は機能設定【装置機能設定】の『オートローディング』を「無効」にすると、プレプリントの制約はなくなります。また、連帳使用時は適用外です。
- 注 5) ポジション 1、2 は機能設定【その他の設定】の『前用紙吸入時のキャリア位置』と『後用紙吸入時のキャリア位置』で設定できます。

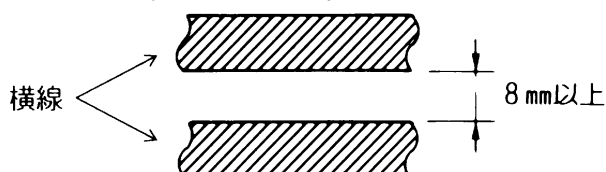
◆ プレプリント禁止領域に印字するとき

・ やむを得ず D 部内に印字するときは、次のようにしてください。

- (1) 斜線内に印字する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。



- (2) (1) の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8mm 以上あけてください。



注) 線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

- (3) 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に 1 本までとってください。

・ やむを得ず A、B、C、E、F 部内に印字するときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、すきまを 4mm 以上あけてください。

4.6 とじ穴の開けかた

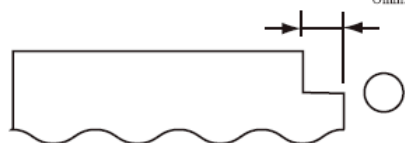
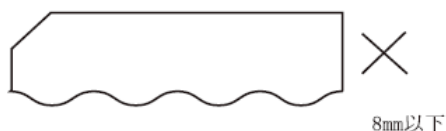
印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。

また下記の制限事項があります。

- ・ とじ穴部付近への印字は、穴の周囲 5.08mm を避けて印字してください。
- ・ とじ穴の径は 8mm 以下 にしてください。
長円穴の場合は長径側を 8mm 以下 にしてください。

4.7 用紙の形状について

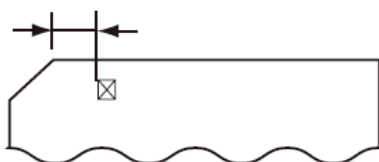
◆ 単票セットフリー オン時の用紙上端について



このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズれることがありますので、単票セットフリー オフで使用してください。

用紙右上部の切り欠きは 8mm 以下としてください。

◆ 単票セットフリー オフ時の用紙上端について



左端部の面取は第 1 ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。



用紙上端の切り欠きや面取が 8mm を越える場合は、機能設定【その他の設定】の『用紙吸入時の斜行検出』を無効にして、使用してください。

4.8 取り扱い上のご注意

◆ 用紙の保管および取扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。

◆ 特殊用紙について

- ・ この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- ・ 再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに變更してください。
- ・ 用紙厚段差のある用紙に印字すると、自動紙厚調整機構 (APTC) の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて、使用してください。「3.2 用紙厚を調整する (122 ページ) 参照」

◆ バーコードの印刷について

- ・ バーコードの領域は反射率 80%以上の白色で、染み・汚れ・しわなどのない用紙を使用してください。
- ・ バーコード使用時は、坪量 81.4～157.0g/m² (連量 70～135kg) の用紙を使用してください。

第 5 章

日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンタの清掃について説明します。清掃は MultiImpact 720 シリーズを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

5.1 インクリボンカートリッジを交換する

◆ インクリボンカートリッジの種類

このプリンタで使用するインクリボンカートリッジは、下表のとおりです。

商品名	型番	備考
インクリボン カートリッジ（黒）	PR-D720SE-01	黒色インクリボンが入ったインクリボンカートリッジです。
交換用 インクリボン（黒）	PR-D720SE-02	詰め替え用インクリボンです。 （1個入り）

上記製品のご購入については、プリンタをご購入頂いた販売店にお問い合わせください。



注意

インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。

健康を損なう原因となることがあります。



チェック

- ・ インクリボンカートリッジは、指定の純正品を使用してください。最大4回まで交換可能です。
指定以外のインクリボンカートリッジを使用すると、インクリボンがからまったり、印字ヘッドが傷んだりしてプリンタの故障を引き起こすことがあります。
- ・ インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまったり、巻きとりがロックすることがあります。

◆ 交換のしかた

インクリボンカートリッジの交換は、次の手順で行います。

1 印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

トップカバーを閉じて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。



注意

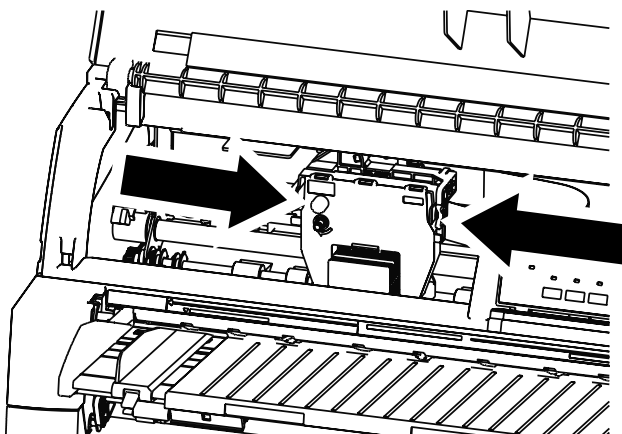
印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。
温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。
やけどの原因となることがあります。

2 電源を切る

(電源スイッチが (○) 側に倒れた状態になります。)

3 トップカバーを開ける

4 インクリボンカートリッジの両脇を押して、プリンタから取り外す



5 新しいインクリボンカートリッジを取り付ける

新しいインクリボンカートリッジの取り付けは、「1.7 インクリボンカートリッジを取り付ける (38 ページ)」を参照してください。

◆ 交換用インクリボンの交換のしかた

交換用インクリボンの交換方法は、交換用インクリボン (黒) に添付してある「インクリボン交換手順」を参照してください。

5.2 プリンタの清掃

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。



注意

- ・プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。
- ・印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。やけどの原因となることがあります。

✓チェック

- ・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
- ・プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。
- ・プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。

清掃は、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグを抜く

2 トップカバーを開ける

3 プリンタを清掃する

印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れたりしているときは、清潔な軟らかい布に無水エタノールや 0A クリーナーを浸し、よく絞ってカバー表面、プラテン、およびゴムローラーの表面を拭いてください。プリンタ内の紙粉は除去してください。

✓チェック

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないように注意してください。破損の原因となります。

4 トップカバーを閉じて、電源を入れる

第 6 章

故障かな？と思ったときは

この章では、プリンタがうまく動かない場合、プリンタにエラーが発生した場合の対処方法について説明します。

6.1 プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。

処置を行っても機能が回復しない場合は、お買い上げの販売店、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

■ エラーメッセージが表示されている

プリンタに異常が発生すると、操作パネルの各ランプの点滅でアラーム内容を通知します。

エラー発生時に点滅するランプによりアラーム内容を下表のように識別できます。対処方法については、本章の「電源投入時の不具合」の表内「現象欄」（170 ページ）を参照してください。

ランプ アラーム名	用紙切れ	低騒音	単票セットフリー	高複写	自動紙厚調整	前トラクタ	後トラクタ	単票手差し	カットシートフィーダ	手前排出	高速	用紙抜取	データ	オンライン	発生条件
LRES アラーム (キャリアの左右端認識)	●	●					●								印字キャリアホームポジション検出に失敗しました。
スペース脱調アラーム	●	●						●							スペース動作中に正常にセンサ検出できませんでした
斜行補正アラーム	●		●				●								斜行補正ローラー回転時に基準位置が正常に検出できませんでした
HCPP(連単切り換え機構)アラーム	●		●					●							連帳/単票の切り替えができませんでした
オーバーロード(過負荷)アラーム	●			●			●								印字中に過負荷となり3分割印字となったが電源電圧が復旧しませんでした
低電圧アラーム	●			●				●							印字中以外に電源電圧が所定のレベルより低下しました
過電圧アラーム	●			●					●						電源電圧が所定のレベルより高くなりました

ランプ アラーム名	用紙切れ	低騒音	単票セットフリー	高複写	自動紙厚調整	前トラクタ	後トラクタ	単票手差し	カットシートフィーダ	手前排出	高速	用紙抜取	データ	オンライン	発生条件
SP モーター アラーム	●	●				●									スペースモータードライバが所定の時間より長く駆動しました。
LF モーター アラーム	●		●			●									改行モータードライバが所定の時間より長く駆動しました。
印字ヘッド アラーム	●			●		●									印字ヘッドドライバが所定の時間より長く駆動しました。
APTC(自動用紙厚調整機構)ギャップ アラーム	●				●	●									APTC 動作において、アプローチ動作開始直後すぐに媒体を検出した、または媒体を検出できませんでした
APTC ホームポジションセンサ アラーム	●				●		●								APTC 動作において基準位置が検出されませんでした
ROM/RAM アラーム	●				●			●							以下のエラーが発生しました ・サムチェックエラー ・リード/ライトエラー ・CG-ROM 未搭載

*1 ●は、ランプ点滅を表します。
空白は、消灯を表します。



注意

使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

やけどの原因となることがあります。

■ 電源投入時の不具合

電源を投入すると、操作パネルのランプが点灯し、各部機構の位置決め動作と自己診断を行います。

その際の異常動作に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
電源を投入後「電源」ランプが点灯せず、プリンタが動作しない。	電源コードの接続が正しくありません。	プリンタの電源を切り、電源コードの接続を確かめてください。（「電源コードの接続」35 ページ参照）
電源を投入後、いったん「電源」ランプが点灯するが消灯する。	電圧異常を検出し、電源が自動的に停止しました。	電源を切って、5 分間放置後、再度電源を投入し、再現する場合は、修理を依頼してください。
電源投入後「用紙切れ」ランプが点滅する。	用紙やリボンが印字ヘッドに引っかかっているため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作（イニシャル動作）が正常にできません。	電源を切って、印字ヘッドに引っかかっているものを取り除いてください。
	印字ヘッドを固定している輸送用固定材が取り外されていないため、電源投入時の印字ヘッドの左右動作（イニシャル動作）が正常にできません。	電源を切って、輸送用固定材を取り外してください。（「輸送用固定材の取り外し」29 ページ参照）
	モーターやセンサー、回路の故障、その他を検出しました。	電源を切って、修理を依頼してください。
操作パネルのランプは点灯するが、プリンタが動作しない。	トップカバーが開いているため、動作を停止しています。	トップカバーを閉じてください。
電源投入時「オンライン」ランプが点滅する	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	早めに印字ヘッドを交換してください。

■ 単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	トップカバーが開いているため、動作を停止しています。	トップカバーを閉じてください。
	給紙口の選択が、「前トラクタ」または「後トラクタ」になっています。	【給紙口】スイッチを押して、「単票手差し」または「カットシートフィーダ」を選択してください。
	「用紙抜取」ランプが点滅しています(用紙抜き取り待ち状態となっています)。	一度用紙を抜き取り、1秒待ってから再吸入してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタの状態が紙有り状態となっています。	【用紙カット 用紙吸入/排出】スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	機能設定で『オートローディング』が「無効」になっています。	【用紙カット 用紙吸入/排出】スイッチを押して吸入させるか、機能設定を変更してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサーが誤検出しています。	紙粉を清掃してください。「5.2 プリンタの清掃 (168 ページ) 参照」
	単票セットフリーオフのときに、用紙のセットをゆっくり行なったため、規定時間内に吸入動作が完了しませんでした。	より素早く用紙をセットしてください。 オートローディング時間を調整してください。(66 ページ)を参照してください。
	用紙の形状に問題があり、吸入斜行を誤検出しています。	用紙の形状に関しては、「4.7 用紙の形状について (161 ページ)」を参照してください。

現象	原因	処置
吸入後キャリアが移動した後に排出される。	用紙が斜めに給紙された(吸入斜行)ことを検出しました。	用紙を傾かない様に再セットしてください。
	プレプリントによりセンサーが誤検出しています(プレプリントのない用紙は問題無い)。	プレプリントに関しては、「4.5 プレプリント用紙を使用するとき(157 ページ)」を参照してください。
	単票セットフリーオンのとき、用紙幅に問題があります。	幅 100～364mm (はがき～B4) の用紙を使用してください。
		幅 55～99mm 未満、365～420mm の用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。
	単票セットフリーオンのとき、セット位置に問題があります。	「単票用紙をセットする(単票セットフリーオン時)」(108 ページ)を参照し、セット位置を修正してください。
	用紙の形状に問題があり、吸入斜行を誤検出しています。	用紙の形状に関しては、「4.7 用紙の形状について(161 ページ)」を参照してください。

■ 単票用紙排出時の不具合

単票用紙排出がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
用紙の排出方向を手前排出（テーブル側）した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティが高いため、用紙がカールした状態で排出されるためです。	【手前排出 改行】スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯し、排出方向を後方排出（スタッカ側）にしてください。「単票用紙の排出方向を切り替える（手前排出）」（52 ページ参照）、または機能設定の【装置機能設定】の『手差し排出方向』を「後方排出」に設定してください。（67 ページ参照）

■ 連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	トップカバーが開いているため、動作を停止しています。	トップカバーを閉じてください。
	プリンタがオンライン状態です。	【オンライン】スイッチを押してオフライン状態にしてから、【用紙カット 用紙吸入/排出】スイッチを押してください。
	給紙口が正しく選択されていません。	【給紙口】スイッチを押して、正しい給紙口（「前トラクタ」または「後トラクタ」）を選択してください。
	「用紙抜取」ランプが点灯しています（単票テーブル上に放置された用紙を検出しています）。	単票テーブル上に放置された用紙を取り除いてください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタが紙有り状態となっています。	【用紙カット 用紙吸入/排出】スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
吸入途中で排出される。	プラテン直前直後の用紙ガイド（斜面）上に紙粉がたまり、センサーが誤検出しています。	紙粉を清掃してください。「5.2 プリンタの清掃（166 ページ）参照」
吸入途中で用紙づまりとなる。	左右のトラクタ間で用紙が弛んでいます。	左右のトラクタ間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。
	前トラクタ給紙時、単票テーブルを開いています。	単票テーブルを閉じてください。
	用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがあります。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
	トラクタへのセットで、左右で穴がズれています。	正しくセットし直してください。

■ 印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
プリンタが動作しない。	トップカバーが開いているため、動作を停止しています。	トップカバーを閉じてください。
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えています。	【オンライン】スイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンタケーブルの接続に問題があります。	プリンタケーブルを正しく接続してください。
印字開始前に用紙パスが切り替わってしまう。	プリンタドライバのプロパティで設定した用紙パスが正しくありません。	プリンタドライバのプロパティで正しく設定してください。
印字音はするのに印字しない。	インクリボンカートリッジを取り付けていません。	インクリボンカートリッジを取り付けてください。
プリンタ動作中に「用紙切れ」ランプが点滅し、プリンタが停止した。	印字ヘッドの左右動作に異常が発生しました。 〈要因〉 1. 段差のある用紙を使用しています。 2. 紙厚設定が正しくありません。 3. 用紙つまりが発生しました。 4. リボンが印字ヘッドに引っかかっています。	電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください。
印字開始直前にアラームとなる。	用紙が厚過ぎます。	「第4章 用紙について」を参照し用紙を確認してください。
	段差のある用紙を使用しているため、正常に自動紙厚検出ができません。	手動紙厚調整で印字するか、プリンタドライバのプロパティで用紙厚さを設定してください。

■ 印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正值に対して狭くなっています。	広めに設定し直して(ダイヤルを時計方向にリボン汚れが出なくなるまで回して)ください。
	プリンタドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正值に対して狭くなっています。	プリンタドライバのプロパティ設定値(枚数)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙を使用しています。	手動紙厚調整にて印字してください。 「3.2 用紙厚を調整する (122 ページ参照)」
	自動紙厚調整機構が故障しています。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	インクリボンカートリッジの交換時期が近づいています。リボン生地が激しくなっています。	新しいインクリボンカートリッジと交換してください。 「5.1 インクリボンカートリッジを交換する (164 ページ) 参照」
縦棒のつながりの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正值に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっています。	広めに設定し直してください。
	プリンタドライバのプロパティで設定した用紙厚さが、適正值に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっています。	プリンタドライバのプロパティ設定値(枚数)を、リボン汚れが出なくなるまで多くしてください。
	段差のある用紙の段差部分で印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっています。	手動紙厚調整にて印字してください。 「3.2 用紙厚を調整する (122 ページ) 参照」
	行間ズレ調整が正しくありません。	「2.8 行間ズレを直す (83 ページ)」を参照し、行間ズレを直してください。

現象	原因	処置
印字が薄い。	手動紙厚調整のとき、ダイヤル設定が適正值に対して広がっています。	狭めに設定し直してください。 (ダイヤルを反時計方向に印字が濃くなるまで回します、狭くし過ぎると故障の原因となるので注意してください。)
	プリンタドライバのプロパティで設定した用紙厚さが適正值に対して広がっています。	プリンタドライバのプロパティ設定値(枚数)を印字が濃くなるまで少なくしてください。
	段差のある用紙を使用しています。	手動紙厚調整で印字してください。 「3.2 用紙厚を調整する(122 ページ参照)」
	自動紙厚調整機構が故障しています。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	インクリボンカートリッジの交換時期が近づいています(リボン生地 of 印字跡部の黒さが薄くなっています)。	新しいインクリボンカートリッジと交換してください。
	印字ヘッドの交換時期が近づいています。	印字ヘッドを交換してください。
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	印字ヘッドを交換してください。
前給紙の場合、印字の上側が欠ける。	インクリボンカートリッジが正しく取り付けられていません。	印字を中止して、インクリボンカートリッジを正しく取り付けてください。「1.7 インクリボンカートリッジを取り付ける(38 ページ) 参照」
後給紙の場合、印字の下側が欠ける。		
印字が所々でよじれたように欠ける(用紙を変えても発生する)。	リボンがたるんだり、よじれたりしています。	印字を中止して、インクリボンカートリッジを点検してください(リボンつまみを回してリボンのよじれが無い確認します)。
印字行の左端部や右端部で印字の上下が欠ける。 (連帳用紙のみ発生する。)	連帳改行時に用紙のとじ部や用紙送り穴の影響でリボンがズレて、印字左右端部が欠ける場合があります。	機能設定【その他の設定】の『連帳改行時リボン保護制御』を「有効」にして使用してください。

■ 印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズレる。	プリンタドライバの余白設定に対してプリンタの設定が正しくありません。	機能設定【余白量設定】の『上端余白量指定』を「ドライバ優先」にしてください。(70 ページ参)
	プリンタドライバでの給紙方法選択、余白の設定、プリンタの上端余白の設定がアプリケーションに適合していません。	アプリケーションに合わせて、プリンタドライバの給紙方法、余白量設定、プリンタの機能設定を正しく設定してください。
	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要があります。	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがあります。	プレプリントを修正するか、吸入後用紙の位置合わせを行なって印字してください。
単票セットフリー使用時に印字の左右の位置がズレる。	機能設定の単票左端余白量とアプリケーションソフトの余白設定が異なっています。	プリンタとアプリケーションソフトの設定を合わせてください。
	用紙の左端部に面取、プレプリントがあるために、用紙左端を正しく認識できません。	用紙を修正するか、単票セットフリーをオフにして使用してください。

■ 印字位置がページによってズれる

印字位置がページによってズれる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
連続用紙の印字位置がページによってズれる。	仕様外用紙を使用しているため、正しく搬送できません。	「第4章 用紙について」を参照し、仕様にあった用紙を使用してください。
	連続用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できません。	連続用紙は給紙口の下に置き、斜めになったり、途中で引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。
	用紙のページ長さと、ソフトウェア、またはプリンタドライバのページ長設定値が異なります。	ソフトウェア、またはプリンタドライバのページ長指定に合う用紙を使用してください。
	用紙の特性により、吸入位置に対してわずかながら印字位置がずれることがあります。	機能設定で補正してください。補正の行いかたについては、「2.7 機能設定を変える(59 ページ)」を参照してください。
	機能設定の【その他の設定】の『トラクタ給紙制御』が「速度優先」に設定されています。	機能設定で【その他の設定】の『トラクタ給紙制御』を「精度優先」にしてください。(81 ページ参照)

■ カットシートフィーダ使用時の不具合

カットシートフィーダ使用時の不具合点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。	カットシートフィーダのコネクタがプリンタに接続されていません。	コネクタを接続してください。コネクタは、プリンタの電源が切断された状態で接続してください。
用紙が吸入しない。	左右の用紙ガイドで用紙をきつくはさんでいます。	用紙に対して適正なゆとりを持って、用紙ガイドをセットしてください。
	用紙が厚すぎます。	仕様にあった用紙を使用してください。
	セットした用紙が多すぎます（赤線を越えています）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
	用紙つまりが発生しています。	つまった用紙を取り除いてください。
	セットレバーが「FREE」になっています。	セットレバーを「SET」にしてください。
	操作パネルの「給紙口」ランプの表示が「前トラクタ」、「後トラクタ」または「単票手差し」になっています。	操作パネルの【給紙口】スイッチを操作し「カットシートフィーダ」にセットしてください。
	カットシートフィーダがプリンタにきちんとセットされていません。	正しくセットし直してください。「7.1 カットシートフィーダを取り付ける（199 ページ）」参照
複数枚の用紙が同時に送られてしまう。	用紙を十分にさばいていません。	用紙を十分にさばいてからセットしてください。
	用紙が薄すぎます。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがあります。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか、広過ぎます。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	紙置台内の用紙が不揃いの状態でセットされています。	用紙を揃えて紙置台内に正しくセットしてください。
	種類の異なった用紙が混在しています。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。

現象	原因	処置
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか広過ぎます。	用紙カイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使用しています。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがあります。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在しています。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
	セットした用紙が多すぎます（赤線を越えています）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
用紙排出を手前排出（テーブル側）した場合に用紙下端が角折れする。	用紙下端部の印字デューティが高いため、用紙がカールした状態で排出されるためです。	【手前排出 改行】スイッチを押して、「手前排出」ランプを消灯し、排出方向を後方排出（スタッカ側）にしてください。（「単票用紙の排出方向を切り替える（手前排出）」52 ページ参照）、または機能設定で【装置機能設定】の『前 C S F 排出方向』または『後 C S F 排出方向』を「後方排出」に設定してください（67 ページ参照）

6.2 用紙づまりのとき

■ 連続帳票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。

まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。

その後、用紙づまりの状態に合わせて次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 前トラクタから吸入した用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとのすきまが最大となります。



注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

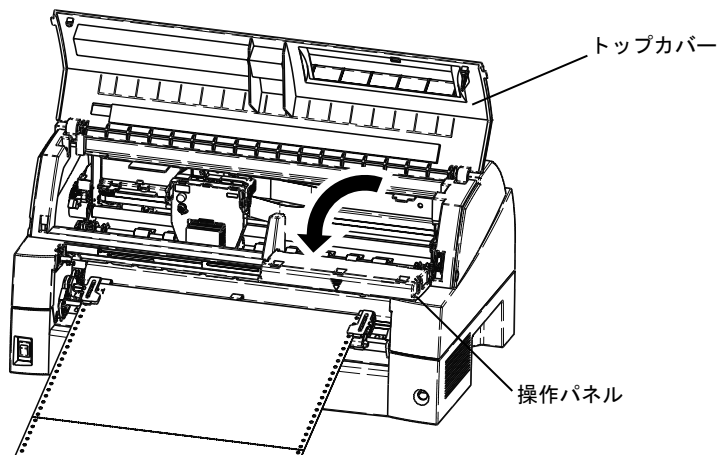
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

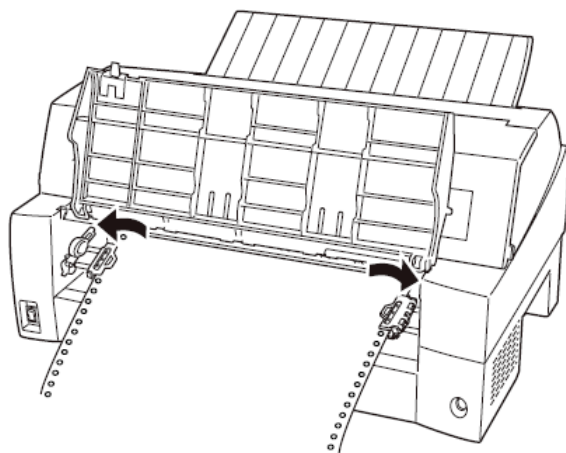
3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す

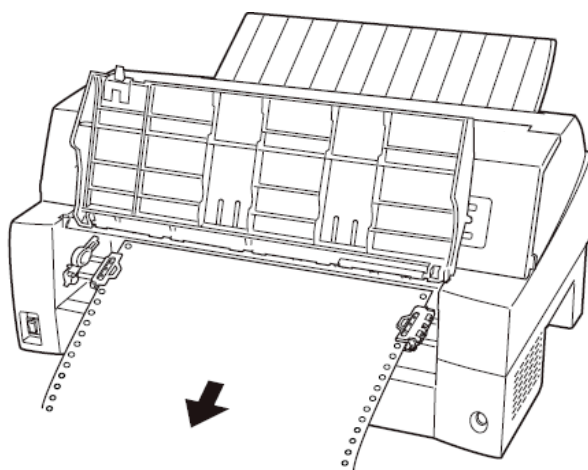


- 5** 左右のトラクタの用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す
単票テーブルを上側に開き、左右のトラクタの用紙押さえを開いて、
トラクタから用紙を外します。

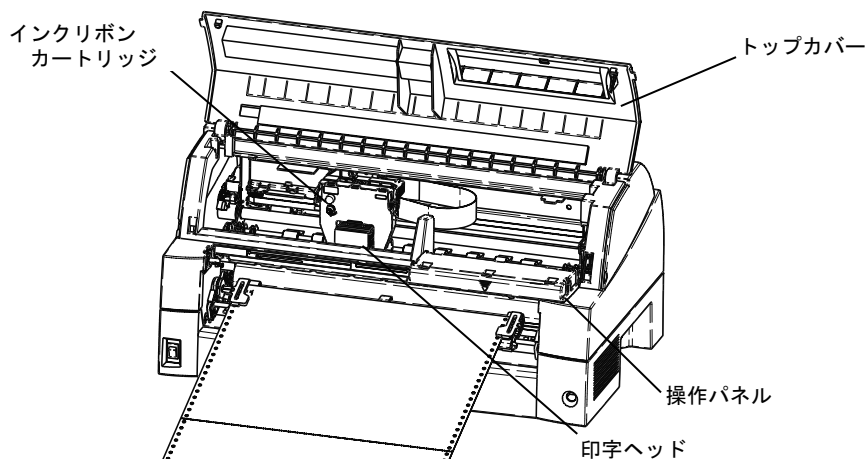


- 6** スタッカを取り外す
スタッカの取り外し方は、「■スタッカ部に用紙がつまった時」の手
順3「スタッカを取り外す」(189 ページ)を参照してください。

- 7** 用紙を取り除く
プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取
り除きます。



用紙が印字部につまってしまうと取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし（下図参照）、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、インクリボンカートリッジを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



8 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

9 スタッカを取り付ける

スタッカの取り付け方は、「■スタッカ部に用紙がつまった時」の手順4「スタッカを取り付ける」（190 ページ）を参照してください。

◆ 後トラクタから吸入した用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。



注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

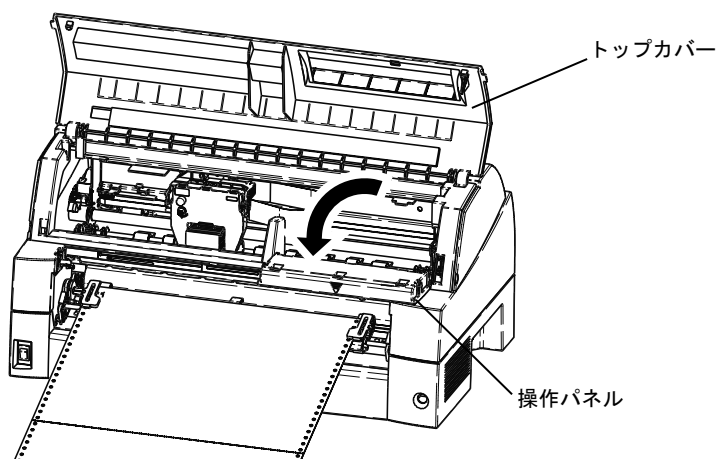
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

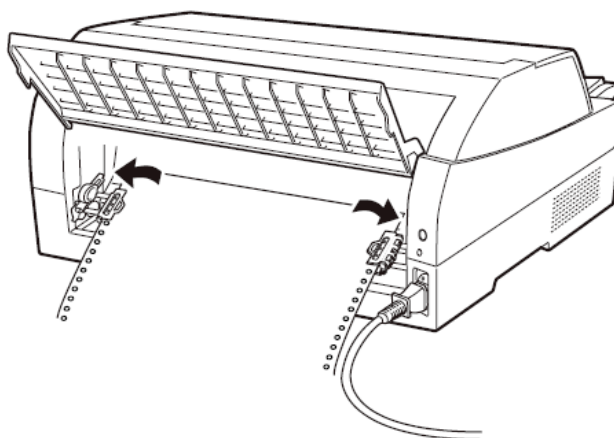
3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



- 5** 左右のトラクタの用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す
左右のトラクタの用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。



6 スタッカを取り外す

スタッカを取り外し方は、「■スタッカ部に用紙がつまった時」の手順3「スタッカを取り外す」(189 ページ)を参照してください。

7 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってしまうと取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、インクリボンカートリッジを取り外してから用紙を取り除きます(取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください)。

- 8** 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

9 スタッカを取り付ける

スタッカを取り付け方は、「■スタッカ部に用紙がつまった時」の手順4「スタッカを取り付ける」(190 ページ)を参照してください。

■ 単票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。

用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 手差しで吸入した単票用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。



注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

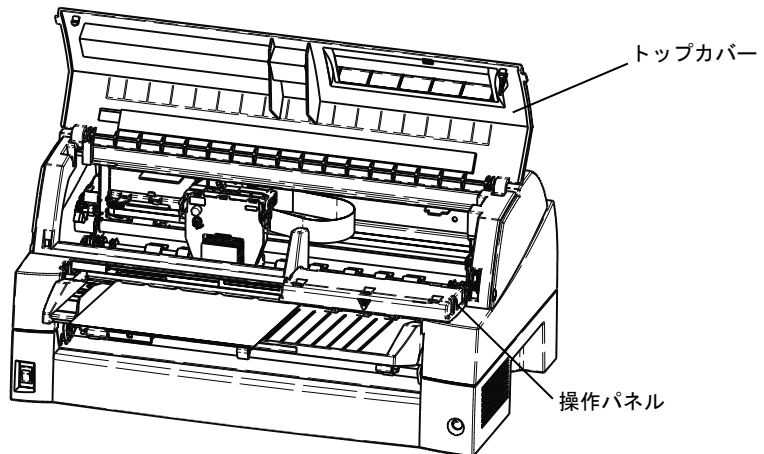
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す

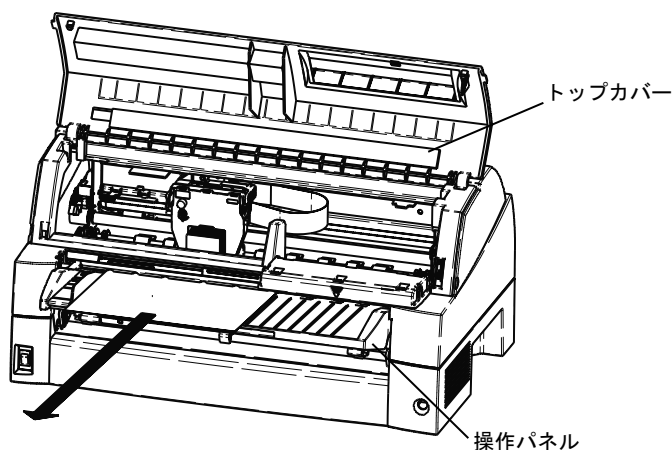


5 スタッカを取り外す

スタッカを取り外し方は、「■スタッカ部に用紙がつまった時」の手順3「スタッカを取り外す」(189 ページ)を参照してください。

6 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまんでうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、インクリボンカートリッジを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

8 スタッカを取り付ける

スタッカ取り付け方は、「■スタッカ部に用紙がつまった時」の手順4「スタッカを取り付ける」(190 ページ)を参照してください。

■ スタッカ部に用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

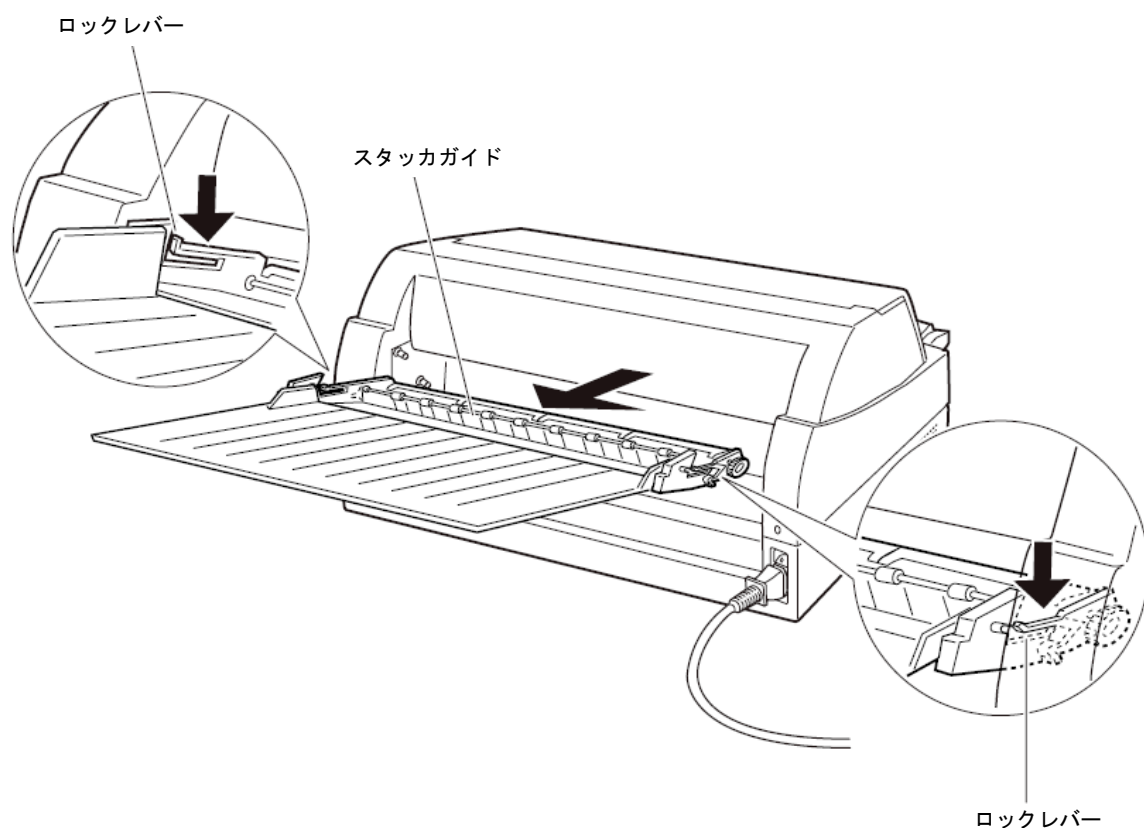
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 スタッカを取り外す

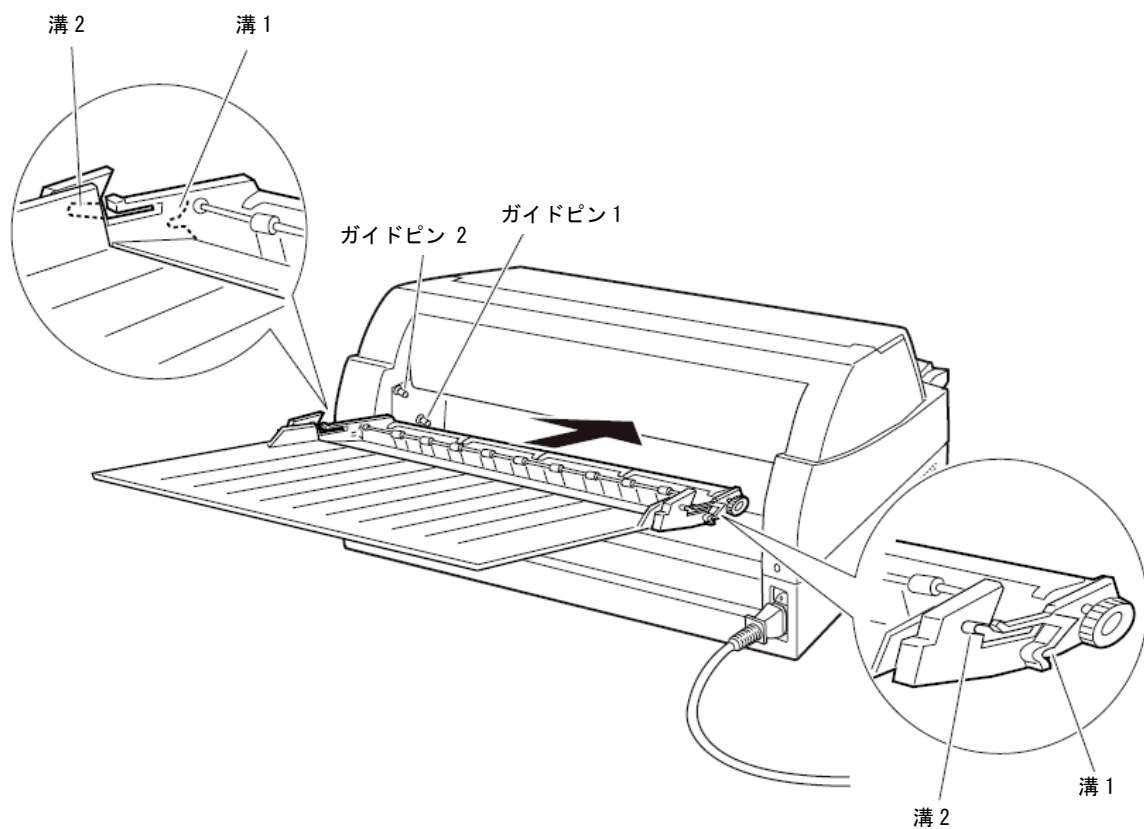
スタッカガイドのロックレバーを押し下げながら、後方に取り外します。

装置内部の用紙づまりの状況を確認します。



4 スタッカを取り付ける

スタッカ左右の溝1をガイドピン1に合わせ、ガイドピン2が溝2にロックされるまでスタッカを押し込みます。



■ カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

【オンライン】スイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

◆ カットシートフィーダ内での用紙づまりの場合

1 カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

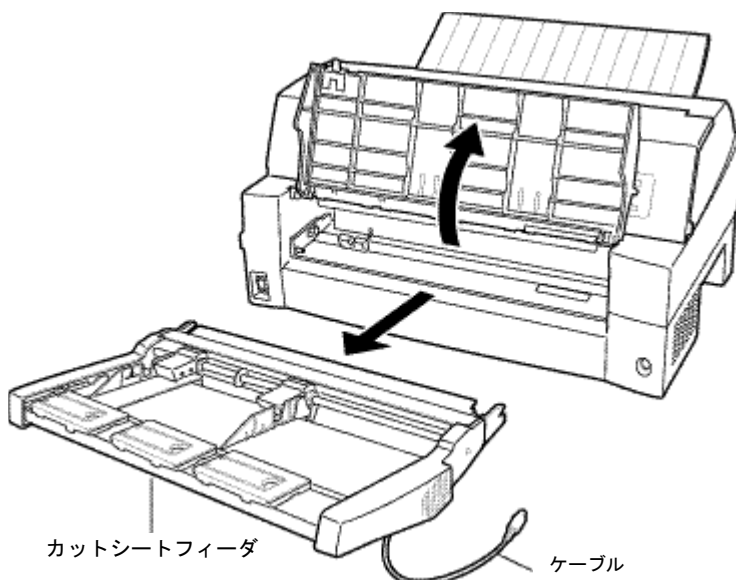
カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。



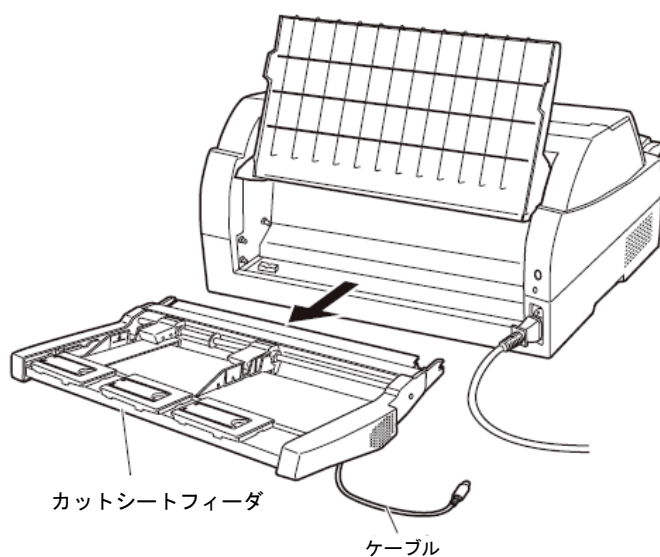
注意

ケーブルを外すときは必ず電源を切ってください。電源を切らずに作業すると感電の原因となることがあります。

プリンタ前部から取り外す場合

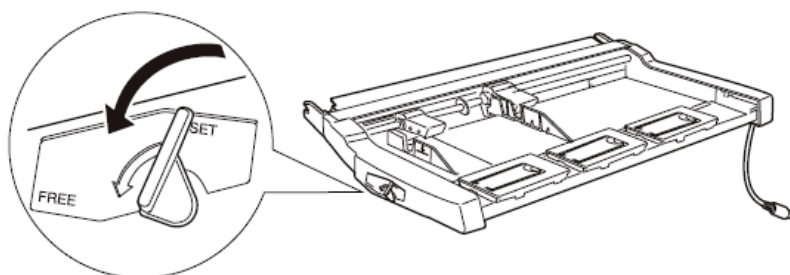


プリンタ後部から取り外す場合



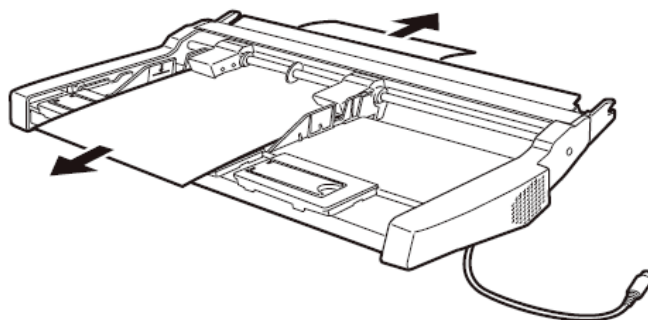
2 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダ側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。



3 用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。



◆ プリンタ装置内部まで用紙が送られた後の用紙づまりの場合

1 カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。

「7.2 カットシートフィーダを取り外す（206 ページ）参照」

【つまった用紙がカットシートフィーダ側に残った場合は…】

2 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダの側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。（192 ページ参照）

3 用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。

【つまった用紙がプリンタ装置に残った場合は…】

2 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまってもうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適宜な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、インクリボンカートリッジを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。



チェック

一度紙づまりを起こした用紙は使用しないでください。

6.3 保証および修理の依頼について

◆ 保証について

プリンタには「保証書」が付いています。「保証書」はプリンタをお買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については「保証書」をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、プリンタをお買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせください。



チェック

本体の背面に Type（型式）、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名が明記された装置銘板が貼ってあります。お買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。

また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

◆ 修理について

保証期間中の修理は、「保証書」を添えてお申し込みください。本プリンタは出張修理対象品です。お買い上げの販売店またはサポート窓口へお問い合わせください。



重要

海外でのご使用について

本プリンタは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合は NEC の海外拠点で修理することはできません。

また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。

したがって、本プリンタを輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

◆ 有寿命部品（有償）について

プリンタの機能・性能を維持するために交換^{*1}を必要とする部品があり、これを「有寿命部品（有償）」と呼びます。有寿命部品（有償）の維持交換周期（交換の目安）^{*2}は印刷ドット数によって設定されています。本製品の有寿命部品（有償）と、その推奨交換周期（交換の目安）は次の通りです。

部品名	推奨交換周期（交換の目安）
印字ヘッド	4億ドット／ピン

*1 有寿命部品（有償）の交換は、販売店またはサポート窓口に依頼してください。

*2 NEC 純正インクリボンを使用し、15×11 インチ用紙（坪量 64g／m²の一枚綴りの連続帳票用紙）に寿命確認用のパターンを印刷した際の交換周期の目安です。

お客様のご使用する用紙サイズ、用紙種類、印刷環境や条件により、交換周期が大きく異なる場合があります。

◆ 補修用性能部品について

プリンタの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

◆ 情報サービスについて

NEC 製品に関する情報を、下記で提供しています。

インターネットのWEBページ	NECコーポレートサイト (https://jpn.nec.com/)
----------------	--

6.4 プリンタを輸送するとき

プリンタを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。



注意

印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

- 1 プリンタの電源を一旦入れた後に切る
(電源スイッチが (○) 側に倒れていることを確認します。)
一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。
- 2 用紙を取り去り、スタッカを取り外す
- 3 プラグを電源プラグから抜いて、プリンタケーブルをプリンタから外す
- 4 インクリボンカートリッジを取り外す
「5.1 インクリボンカートリッジを交換する (164 ページ) 参照」
- 5 スタッカを梱包する
- 6 印字ヘッドを手でゆっくりと右端まで移動する
- 7 印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける
- 8 プリンタを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる

6.5 プリンタの廃棄とインクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

◆ プリンタの廃棄について

プリンタおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせ願います。

◆ インクリボンカートリッジ、インクリボンの処理について

使用済みのインクリボンカートリッジ、インクリボンを廃棄するときは各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳細は各自治体へお問い合わせ願います。

使用済みインクリボンカートリッジ、インクリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。

第7章

オプション

この章では、オプションの種類および取り付け、取り外しについて説明します。

7.1 カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダは、プリンタの前部（前側）または後部（後ろ側）に取り付けて使用します。前部、後部同時に取り付けることもできます。



注意

カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。



チェック

- ・ プリンタの前部にカットシートフィーダを取り付けた場合は、トラクタフィーダを前面に取り付けることはできません。取り外したトラクタフィーダは保管しておいてください。
- ・ カットシートフィーダをプリンタの前後同時に取り付けた場合は、【ソフトウェア】の『CSF ビン1センチ』（80 ページ参照）でどちらを優先して使用するかを設定する必要があります。

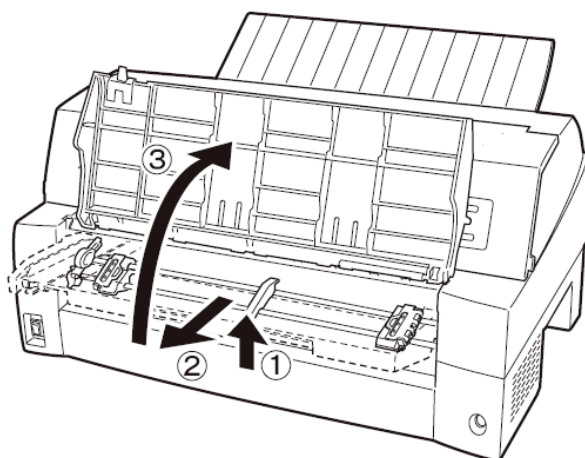
■ プリンタ前部（前側）に取り付ける

1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

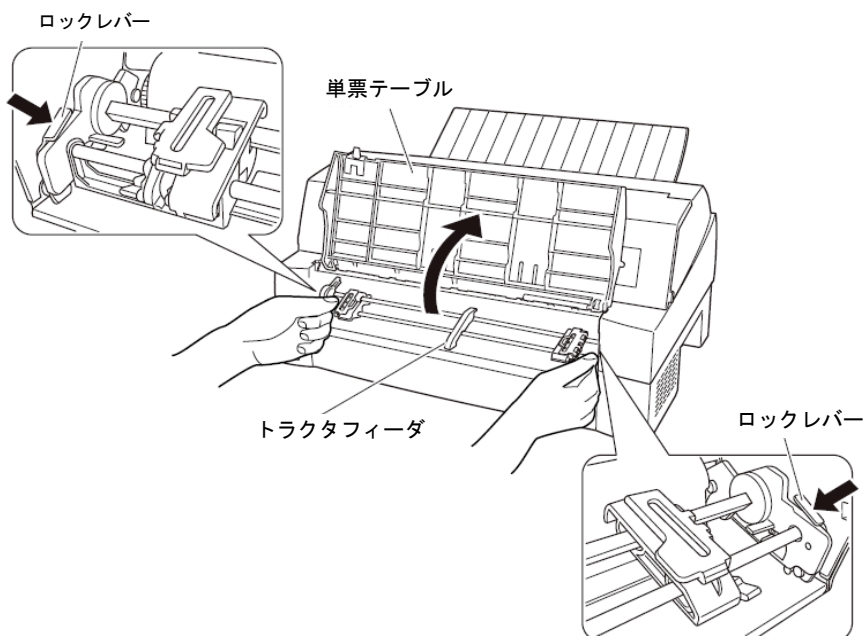
2 単票テーブルを開く

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



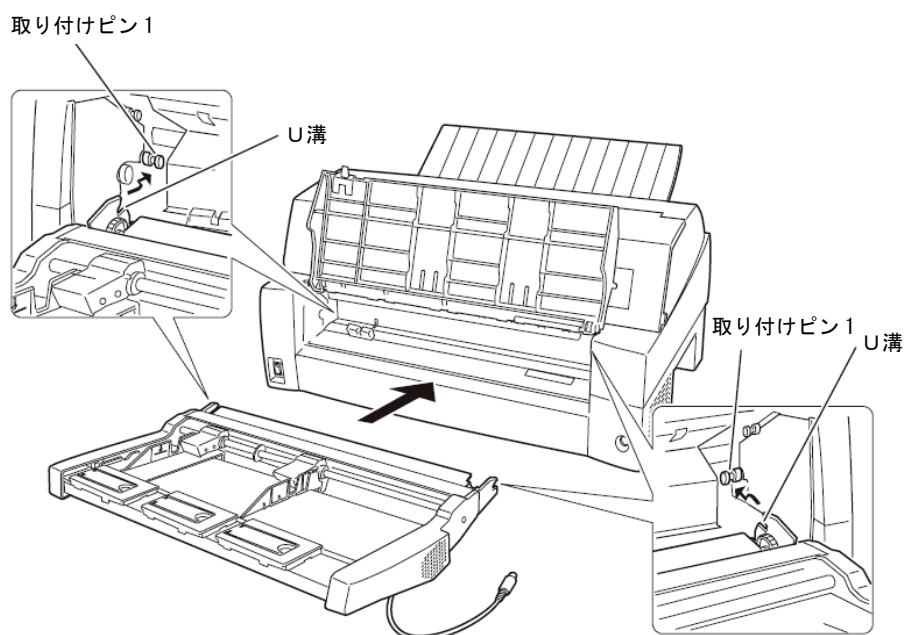
3 トラクタフィーダを取り外す

トラクタフィーダの左右にあるトラクタフレーム部のロックレバーを押しながら、トラクタフィーダを上方に持ち上げて外します。

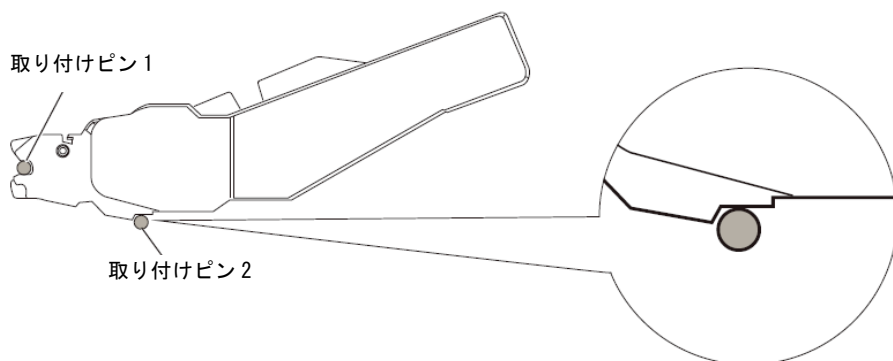


4 カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダの両側にあるU溝を、プリンタの奥の取り付けピン1に差し込み、ゆっくりと下ろします。



取り付けピン2にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。

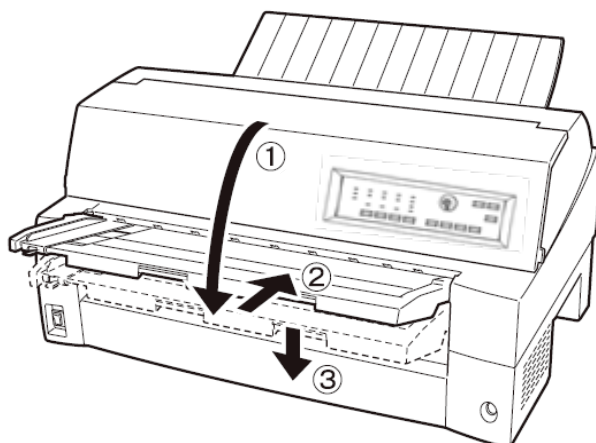


カットシートフィーダを横から見た図

5 単票テーブルを元に戻す

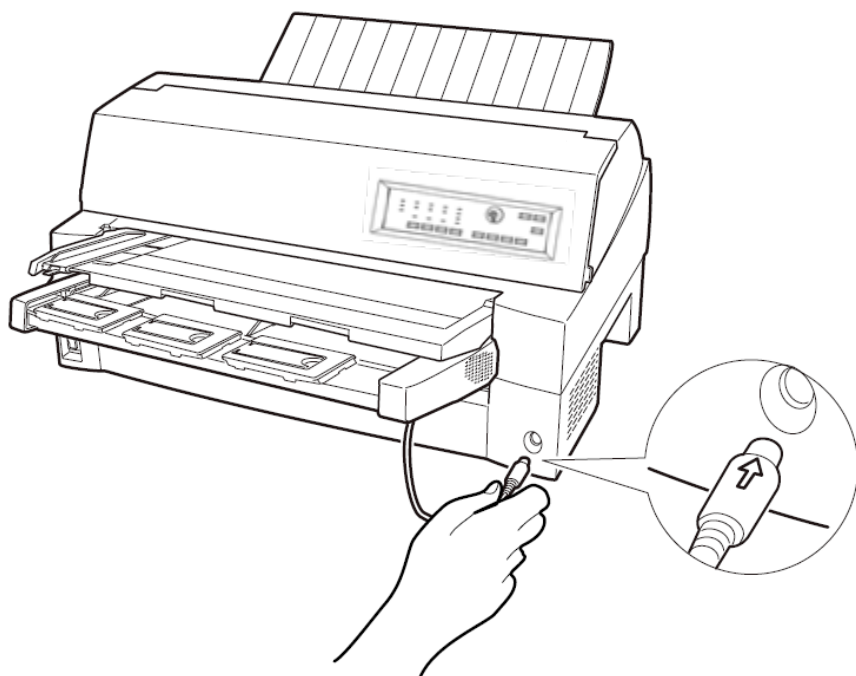
単票テーブルを下図のように回転させた（①）のち、奥に押し込んで（②）閉じます（③）。

単票テーブルのセットが正しくないと、用紙ぶまりの原因となります。

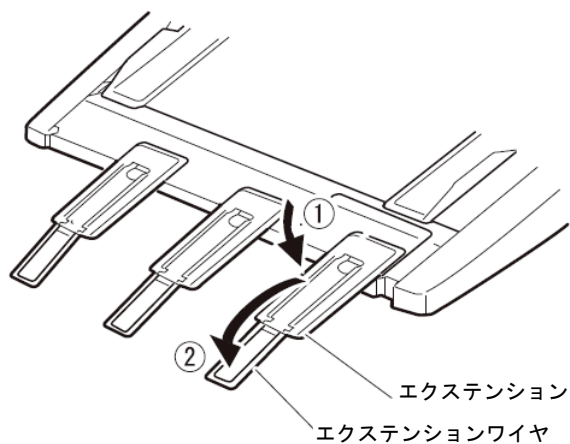


6 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ前面の右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



- 7 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に展開する



■ プリンタ後部（後ろ側）に取り付ける

プリンタ後部は、カットシートフィーダとトラクタフィーダの同時搭載が可能です。

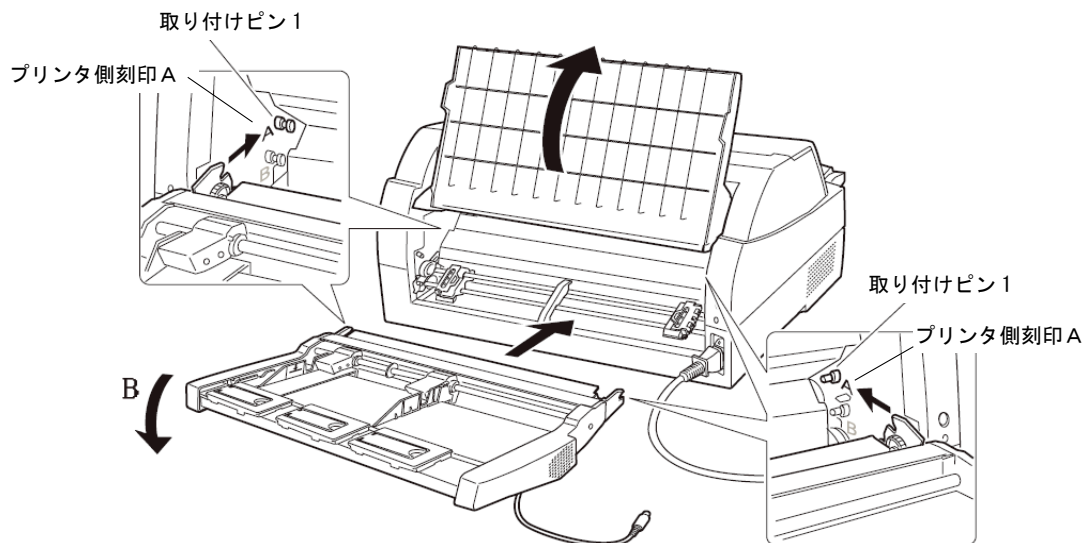
カットシートフィーダの取り付けは、プリンタの電源を切ってから行います。

1 プリンタの電源を切る

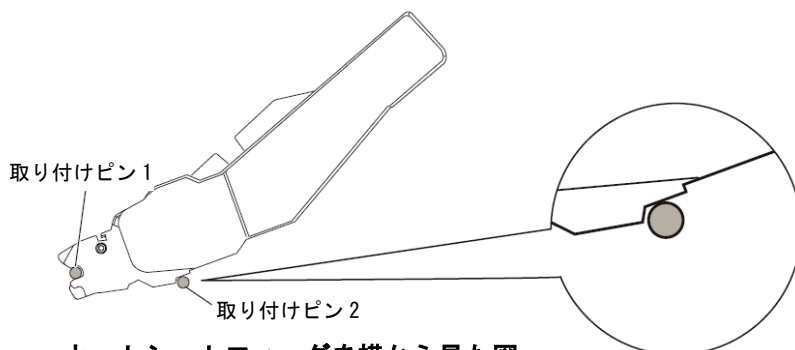
プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

2 カットシートフィーダを取り付ける

スタックを開きます。カットシートフィーダの両側を持ち、カットシートフィーダの両側にあるU溝を、プリンタの奥にある取り付けピン1に差し込みます。（カットシートフィーダのラベルAをプリンタ側の刻印Aに合わせて差し込みます。）そのまま取り付けピン1を支点にして、矢印Bの方向に回転させるように下ろします。

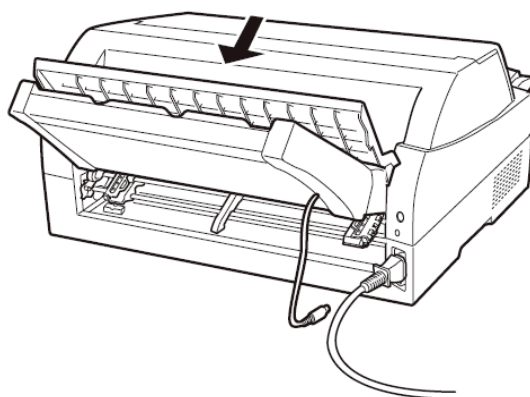


取り付けピン2にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。



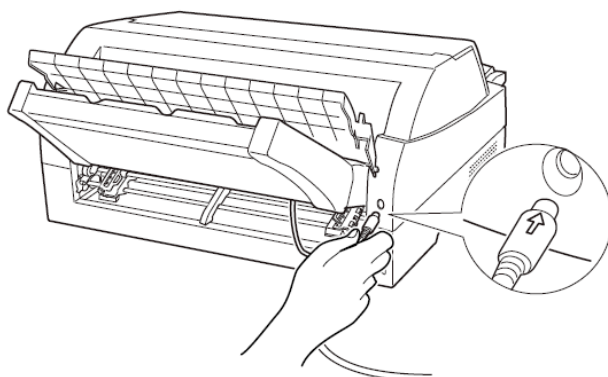
カットシートフィーダを横から見た図

3 スタッカを閉じる

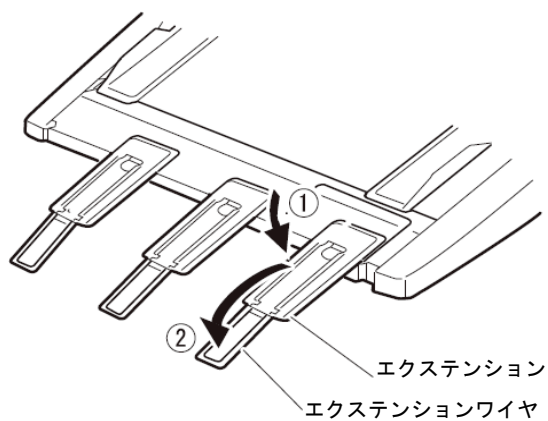


4 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ後面に向かって右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



5 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に矢印の方向に展開する



7.2 カットシートフィーダを取り外す

カットシートフィーダを取り外すときは、ケーブルを抜いてから取り外してください。

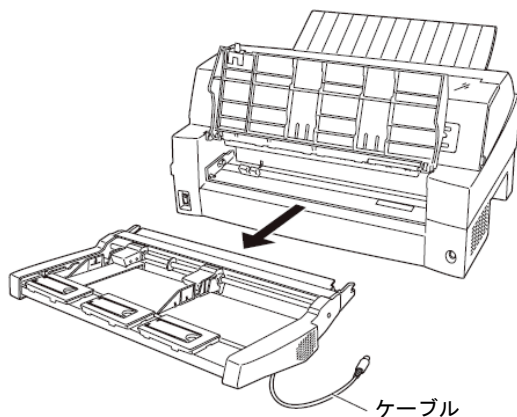
- 1 プリンタの電源を切る
- 2 カットシートフィーダのケーブルを抜く
- 3 カットシートフィーダを取り外す



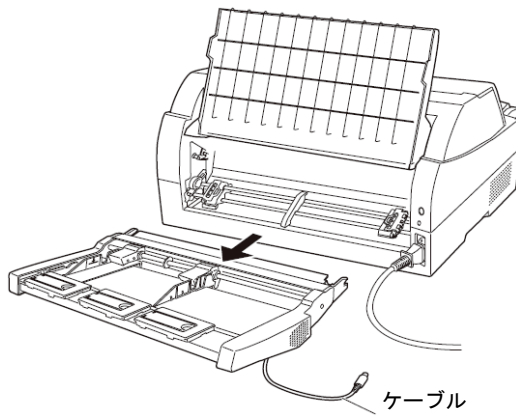
注意

カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いたあとに行なってください。
感電の原因となります。

プリンタ前部に取付けた場合

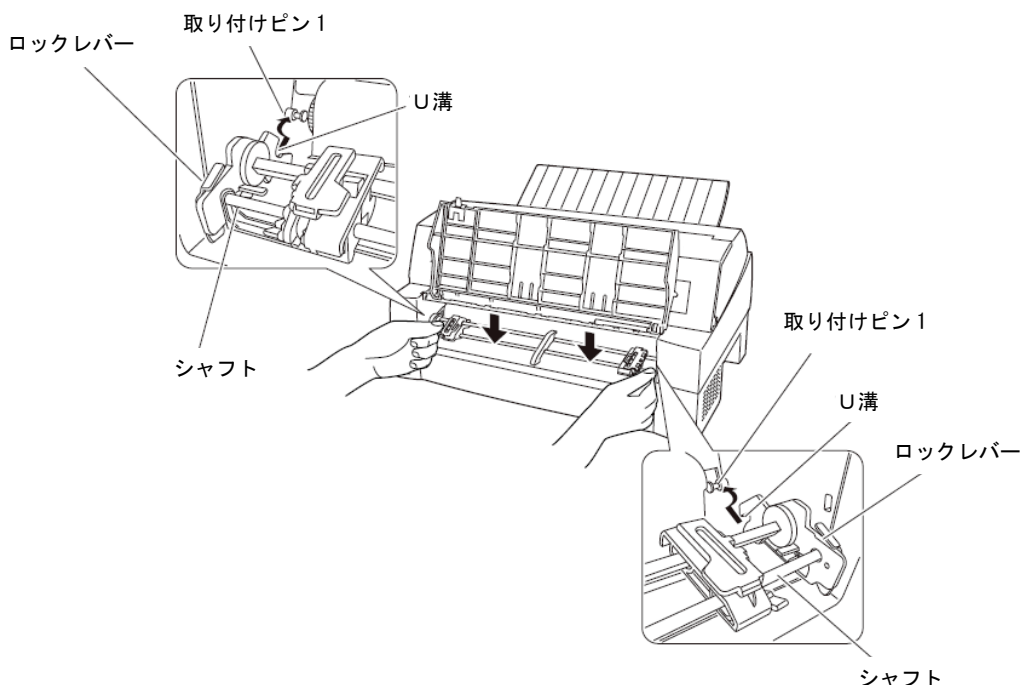


プリンタ後部に取付けた場合

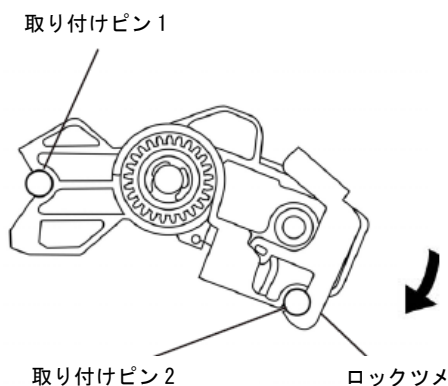


プリンタ前部のカットシートフィーダを取り外した後に、トラクタフィーダを取り付ける方法を以下に示します。

- 1) トラクタフィーダ左右のU溝をプリンタの取り付けピン1に合わせます。
(左側の取り付けピン1の溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピン1には、溝はありません。)
- 2) トラクタフィーダ手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックさせます。(押し下げるとき、ロックレバーを押さないでください。)



- 3) 下図のように取り付けピン2にトラクタフィーダの左右のロックツメが、しっかりかかっていることを確認してください。



トラクタフィーダを横から見た図

付 録

プリンタの概略仕様

・印字方式 ワイヤドットマトリックス

・印字速度

(文字/秒)

	標準	高複写モード
漢字 (27/180 インチ)	80	56
漢字高速 (27/180 インチ)	160	112
ANK レギュラー (パイカ)	120	84
ANK レギュラー (エリート)	144	101
ANK ドラフト (パイカ)	360	254
ANK ドラフト (エリート)	432	305

・ドット径 0.2mm

・ドットピッチ 1/180 インチ (縦、横共)

・印字桁数

漢字全角 : 90 (文字/行)

半角漢字 : 180 (文字/行)

ANK (パイカ) : 136 (文字/行)

ANK (エリート) : 163 (文字/行)

・印字動作 両方向最短距離印字

・印字色 黒 (単色)

・複写能力 (コピー能力)

標準モード : オリジナル+4 枚

高複写モード : オリジナル+7 枚

・イメージ印字 行ドット数 : 4896

・用紙送り 用紙送り方式 : 押込みトラクタ方式
(連続帳票用紙)

: フリクション方式

(単票用紙)

改行間隔 : 1/360 インチ × n

(n はプログラム設定による)

改行速度 : 約 60ms

(1/6 インチ改行時)

・スタッカ容量 (単票) : 120 枚以下

(A4 サイズ、1P 用紙、連量 55kg)

用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、印字デューティ使用環境などにより減少しますので、ご注意ください。

- ・使用環境

温度	: 稼動時 5~35℃ : 非稼動時 -15~60℃
湿度	: 稼動時 20~80%RH : 非稼動時 5~95%RH
- ・インターフェース
 - IEEE 1284 双方向パラレルインターフェース
 - USB2.0 インターフェース
 - LAN インターフェース
- ・電源仕様

入力電源種別	: 商用单相
電源電圧	: AC100V ±10%
電源周波数	: 50/60 +2%, -4%
- ・消費電力

平均 75W (最大 170W, 50%Duty 印字)
待機時 2.5W 以下
- ・外径寸法

600mm (幅) × 350mm (奥行) × 290mm (高)

- ・重量

約 18kg

- ・稼動音

60dB (A) 以下

- ・リボン

黒	種類	: エンドレスインクリボン カートリッジ (インクリボンカートリッジインク 補給型)
	リボン寿命	: 500 万字 (ANK ドラフト文字)

上記の寿命は、製造後 2 年以内のものを下記の環境で保存した場合に保証する値です。

温度: -10~50℃

湿度: 20~90%RH

- ・耐用期間

プリンタ装置	: 5 年 (電源の通電条件: 8 時間/日以内) または 500 万行 (いずれか早い方)
--------	---

耐用期間はプリンタの設置環境、使用頻度により大幅に変動します。
24 時間通電による運用の耐用期間は 1/3 に減少します。

印字ヘッド : 通常モード 4 億打/ピン
(交換の目安)

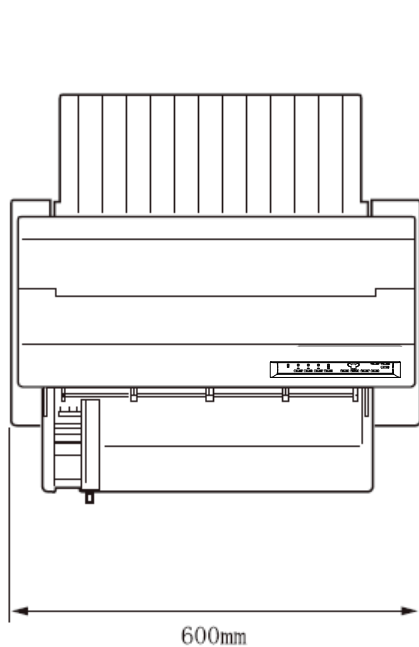
高複写モードは、印字圧を上げ印字を行うため、交換の目安で印字できる文字数が少なくなります。

・ 制限事項

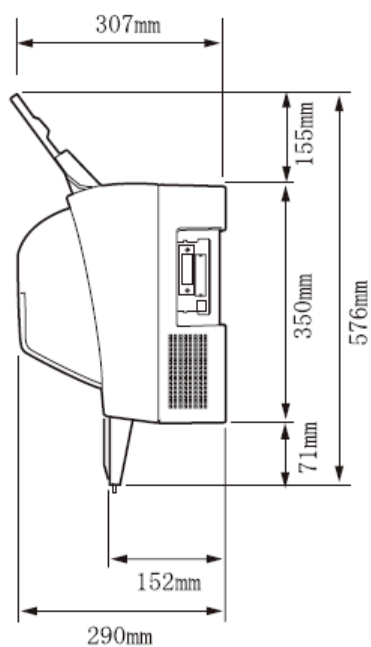
- | | |
|-------|--|
| 連続改行 | LF モータ劣化防止のため、連続改行、連続改ページ動作は 3 分間以上行なわないでください。 |
| 高密度印字 | 印字ヘッド劣化防止のため、50%デューティ以上のパターンを印字すると、3 分割印字になることがあります。 |
| 逆改行動作 | <ul style="list-style-type: none">・ 逆改行動作は改行乱れの原因となる場合がありますので、十分確認の上ご使用ください。・ カットシートフィーダ使用の場合は 1/3 インチ以上の逆改行はできません。・ 連帳用紙使用時に 22 インチを越える逆改行動作は、用紙づまりや用紙ガレの原因となるため行なわないでください。 |
| 連続印字 | 印字ヘッドの温度上昇による劣化を防止のため、連続印字をおこなうと 3 分割印字になることがあります。 |

外觀圖

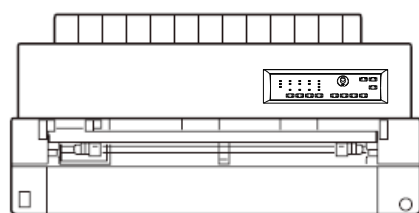
■ 標準外觀圖



〈上面図〉



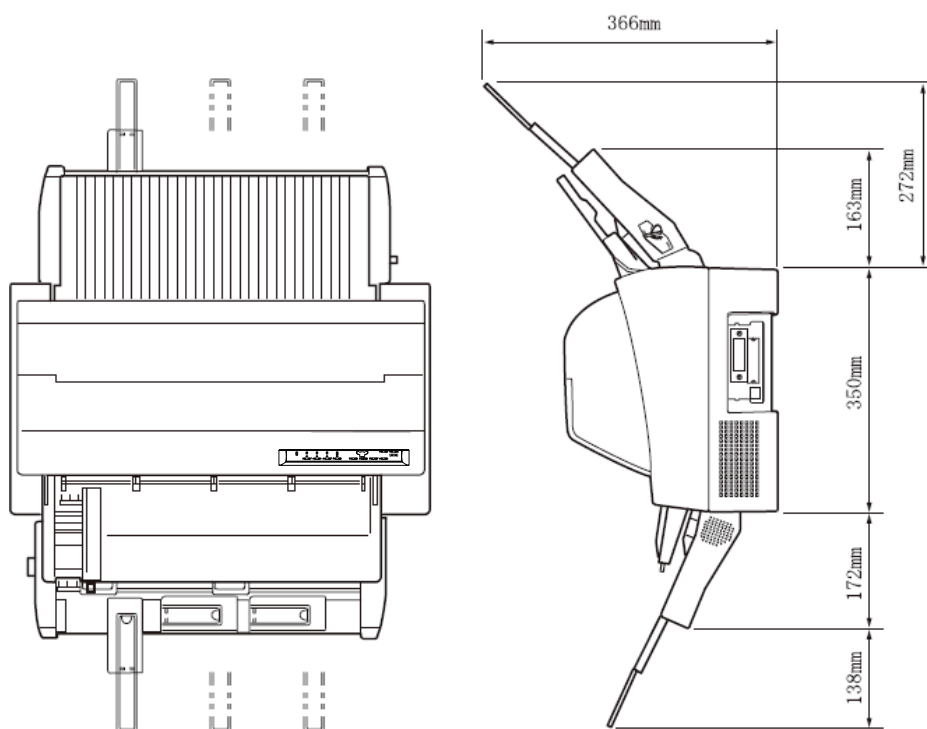
〈側面図〉



〈正面図〉

■ カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図

◆ カットシートフィーダを前面と後面に取り付けたときの外観図



インターフェース仕様

■ パラレルインターフェース

◆ 基本仕様

IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインターフェース

◆ インターフェースコネクタ

プリンタ側 : レセプタクル : アンフェノール (DDK) 57-40360 相当
ケーブル側 : プラグ : アンフェノール (DDK) 57-30360 相当

◆ インターフェースケーブル

素材 : 7/φ0.12 (AWG28 相当) 以上
タイプ : シールド
長さ : フラットケーブル : 1.5m 以下
ツイストケーブル : 3.5m 以下

◆ 信号レベル

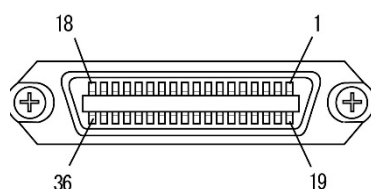
LOW : 0.0V~+0.4V
HIGH : +2.4V~+5.0V

◆ データ転送方式

8 ビットパラレル

◆ コネクタピン配列

インターフェースコネクタ (36 ピン)



※ パソコンの BIOS 設定

本プリンタを接続するパソコンのパラレルポート設定は、必ず「Bidirectional (双方向)」にしてご使用ください。
確認および設定の方法については、パソコンのユーザースマニュアルを参照してください。

ピン No.	信 号	ピン No.	信 号
1	*STROBE	19	*STROBE-RET
2	DATA1	20	DATA1-RET
3	DATA2	21	DATA2-RET
4	DATA3	22	DATA3-RET
5	DATA4	23	DATA4-RET
6	DATA5	24	DATA5-RET
7	DATA6	25	DATA6-RET
8	DATA7	26	DATA7-RET
9	DATA8	27	DATA8-RET
10	*ACKNLG	28	*ACKNLG-RET
11	BUSY	29	BUSY-RET
12	PE	30	*INIT-RET
13	SLCT	31	*INIT
14	*AUTO FEED XT	32	*ERROR
15	NC	33	SG
16	SG	34	NC
17	FG	35	NC
18	NC	36	*SLCT IN

注 1) -RET 信号は、すべて SG に接続されています。

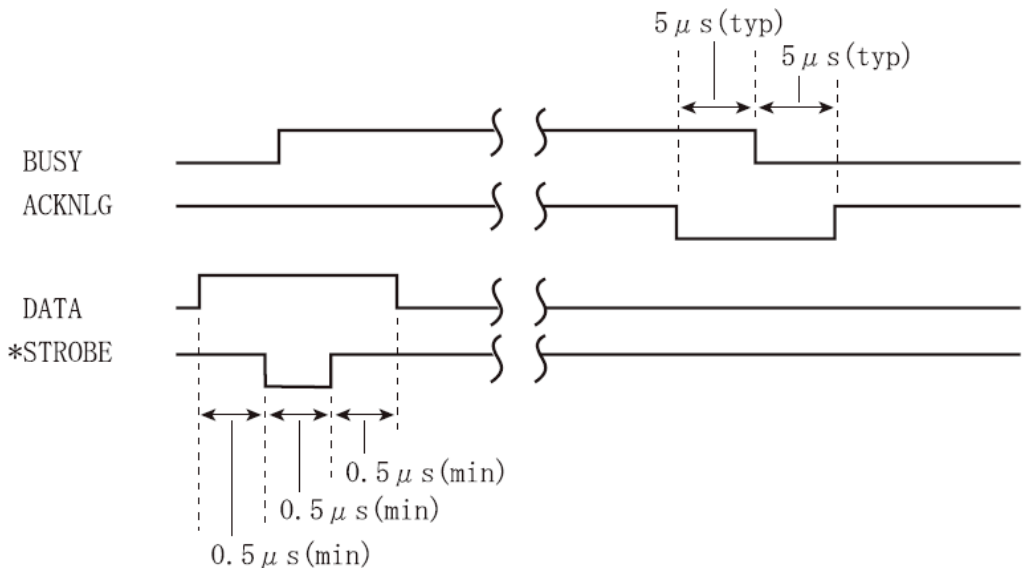
注 2) “*”は、負論理信号であることを示します。

・ 入力信号の説明

- DATA1～8 プリンタの受信データです。
“H” で信号あり、“L” で信号なしです。
- *STROBE DATA1～8 を読み込むためのパルス信号です。
定常状態では“H” です。“H” から“L” になると
き、データを読み込みます。
- *INIT プリンタを初期状態にする信号です。
“L” になるとプリンタは初期状態になります。
初期状態については、221 ページを参照してくだ
さい。
- *SLCT IN DC1/DC3 を無効にする信号です。
電源投入時に“L” になっていると、DC1/DC3 コー
ドが無効になります。
- *AUTO FEED XT 復帰改行する信号です。
“L” になっていると、CR コードを受信して復帰
改行します。

・ 出力信号の説明

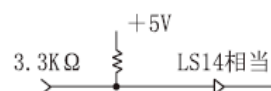
*ACKNLG	*STROBE に対する応答信号です。 データ入力完了時に出力される負のパルス信号です。
PE	用紙切れを通知する信号です。 用紙が残り少なくなると、この信号は“H”になり、「用紙切れ」ランプが点灯します。
BUSY	プリンタのビジー状態を通知する信号です。 この信号が“H”のとき、プリンタはビジー状態で、データは受信できません。 以下の状態のとき、この信号は“H”です。 <ul style="list-style-type: none"> - 受信データ処理中 - アラーム状態 - オフライン状態 - 電源投入時または*INIT 信号を受信しての初期化動作中
SLCT	【EP 設定】の『SLCT』により設定された状態になります。（初期設定：HIGHT 固定）（74 ページ参照）
*ERROR	アラーム状態、オフライン状態を通知する信号です。 この信号が“L”のときは、アラーム状態、オフライン状態です。



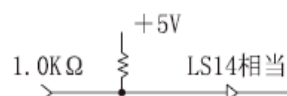
◆ インターフェース回路

・ 入力回路

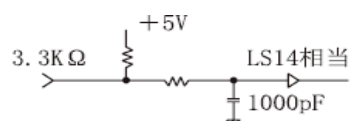
ピン No.	信号
2~9	DATA1~8



ピン No.	信号
14	*AUTOFEED XT

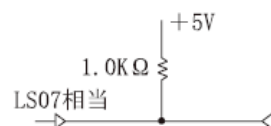


ピン No.	信号
1	*STROBE
31	*INIT
34	NC



・ 出力回路

ピン No.	信号
10	*ACKNLG
11	BUSY
12	PE
13	SLCT
15	NC
32	*ERROR
33	SG

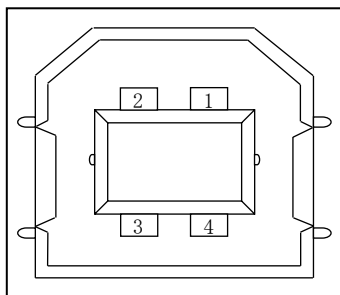


■ USB インターフェース仕様

◆ ケーブル

仕様 : USB2.0
タイプ : シールドタイプ
長さ : 5m以下

◆ コネクタピン配列



No.	信号線名称	機能
1	VBUS	電源
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

◆ コネクタ仕様

プリンタ側 : typeB レセプタクル (メス) アップストリームポート
ケーブル側 : typeB プラグ (オス)

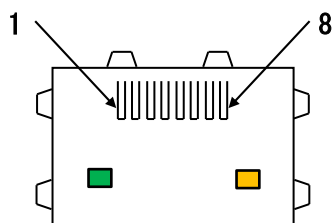
◆ 仕様

基本仕様 : USB インターフェース準拠
注意) 全ての USB デバイスとの接続を保証するものではありません。

電力制御 : セルフパワーデバイス
伝送モード : フルスピード (最大 12Mbps±0.25%)

■ LAN インターフェース仕様

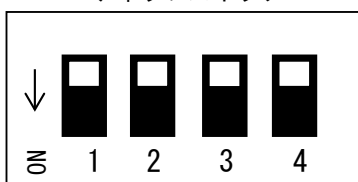
◆ コネクタピン配列



No.	信号線名称	DIR	機 能
1	TX0+	NIC→HUB	送信データ+
2	TX0-	NIC→HUB	送信データ-
3	RXI+	HUB→NIC	受信データ+
4	-		
5	-		
6	RXI	HUB→NIC	受信データ-
7	-		
8	-		

◆ DIP スイッチ

4bit ディップスイッチ



bit	定義	ON	OFF
1	初期化時の IP アドレスのデフォルト	DHCP 無効 ※1	DHCP 有効
2	初期化モード	初期化	通常
3	設定情報印刷	設定情報印刷	通常
4	(Reserve)	-	-

*1: DHCP 無効時の IP アドレス初期値は『 192.168.192.168 』、サブネットマスク初期値は『 255.255.255.0 』になります。

プリンタエミュレーションの制限事項

ここでは、このプリンタがサポートしているエミュレーションの制限事項について説明します。

◆ サポートコマンド

このプリンタは、ESC/P 24-J84 に準拠していますが、印字方式、解像度の違いによりサポートしていないコマンドがあります。

◆ ソフトウェアの設定

次のプリンタドライバを使用してください。

- ・ NEC MultiImpact 720SE
(プリンタ装置に添付しているプリンタソフトウェア CD-ROM からインストール可能。)

初期状態

電源投入時、*INIT 受信時、リセットコマンド受信時およびリセットスイッチによる初期状態を下表に示します。

	電源投入 *INIT	リセット コマンド	リセット スイッチ
ページ先頭位置	初期化時に印字ヘッドのある位置		
印刷バッファ	クリア		
メカニズム	印字ヘッドをホーム ポジションに移動する	印字ヘッドをホームポジションに 移動しない	
ダウンロード文字 外字定義文字	クリア	クリアしない	
ページ長	11 インチ（注 1）		
ミシン目スキップ	解除（注 1）		
右マージン	136 桁 (10CPI の文字幅による)		
左マージン	0		
改行量	1/6 インチ/行（注 1）		
水平タブ位置	8 文字ごとの水平タブ		
垂直タブ位置	無指定		
文字ピッチ	10 文字/インチ（注 1）		
プロポーショナル	解除		
英数カナ文字書体	クーリエ（注 1）		
文字品位	高品位（注 1）		
国際文字選択	日本（注 1）		
文字コード表	カタカナコード表（注 1）		
文字間スペース量	0		
文字装飾	解除		
縮小	解除（注 1）		
漢字モード	解除		
漢字書体	明朝体（注 1）		
縦書き/横書き	横書き		
全角文字/半角文字/・角文字	全角文字		
全角漢字の左右スペース量	左スペース量：0 右スペース量：3		
半角漢字の左右スペース量	左スペース量：0 右スペース量：2		
1/4 角文字の左右スペース量	左スペース量：0 右スペース量：2		

注 1) 機能設定の内容により、初期状態が異なります。上記は、機能設定が出荷時の状態の場合です。

	電源投入 *INIT	リセット コマンド	リセット スイッチ
漢字装飾	解除		
単方向印字	解除（注 1）		
漢字高速印字	解除（注 2）		
カットシートフィーダモード	第 1 ビン選択		

注 1) 機能設定の内容により、初期状態が異なります。上記は、機能設定が出荷時の状態の場合です。

注 2) ただし、【印字モード | 改ページ】スイッチにより高速印字モードにしていた場合、リセットコマンド受信では高速印字を解除しません。

キャラクタコード一覧表

本プリンタのキャラクタコードは以下のとおりです。

◆ カタカナコード

上 下 位 位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	'	p	一	上	ー	タ	ミ	=	×	
1	DC1	!	1	A	Q	a	q		一	下	。	ア	チ	ム	ハ	円
2	DC2	~	2	B	R	b	r		一	フ	「	イ	ツ	メ	キ	年
3	DC3	#	3	C	S	c	s		一	ト	」	ウ	テ	モ	コ	月
4	DC4	\$	4	D	T	d	t		一	、	エ	ト	ヤ	▲	日	
5		%	5	E	U	e	u		一	、	オ	ナ	ユ	▲	時	
6		&	6	F	V	f	v		一	、	カ	ニ	ヨ	▲	分	
7	BEL	'	7	G	W	g	w		一	、	ア	キ	ヌ	ラ	▲	秒
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x		「	イ	ク	ネ	リ	◆	干
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y		「	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z		「	エ	コ	ハ	レ	◆	区
B	VT	ESC	+	:	K	[k	{		「	オ	サ	ヒ	ロ	◆	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l			「	ヤ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M]	m	}		「	ユ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SD		.	>	N	^	n	~		「	ヨ	セ	ホ	°	/	■
F	SI		/	?	O	_	o			「	ッ	ソ	マ	°	\	

注 1) <15>₁₆を除く、<00>₁₆～<7F>₁₆はカタカナコード、拡張グラフィックスコードに共通です。

注 2) <23>₁₆、<24>₁₆、<40>₁₆、<5B>₁₆～<5E>₁₆、<60>₁₆、<7B>₁₆～<7E>₁₆のコードは国際文字選択によって入れ替わります。
(本プリンタではアメリカ、日本のみ選択できます。)

【国際文字コード】

コード 16進 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	~	{		}	~
フランス	#	\$	à	°	ç	8	^	~	é	ù	è	..
ドイツ	#	\$	8	À	Ü	U	^	~	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	\$	@	[\]	^	~	{		}	~
デンマーク I	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	~	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	À	Ü	Å	U	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	\$	@	°	\	é	^	ù	ä	ò	è	ì
スペイン I	Pt	\$	@	i	Ñ	ó	^	~	ñ	í	ó	ü
日本	#	\$	@	[¥]	^	~	{		}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	\$	É	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	\$	à	i	Ñ	ó	é	~	í	ñ	ó	ü
デンマーク	#	\$	à	i	Ñ	ó	é	ü	í	ñ	ó	ü

◆ 拡張グラフィックスコード

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	ˆ	p	Ç	É	á	¸	¸	¸	α	≡
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	¸	¸	¸	β	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	ë	Æ	ó	¸	¸	¸	Γ	≥
3		DC3	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú				π	≤
4		DC4	\$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ				Σ	
5			%	5	E	U	e	u	ä	ö	Ñ				σ	
6			&	6	F	V	f	v	ä	û	ä				μ	÷
7	BEL		'	7	G	W	g	w	ç	ù	ø				τ	≈
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	ë	ÿ	¿				Φ	°
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y	ë	Û					θ	•
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	U					Ω	·
B	VT	ESC	+	:	K	[k	{	ÿ	¢	¸				δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		í	£	¸				∞	n
D	CR		-	=	M]	m	}	í	¥	i				φ	²
E	SO		.	>	N	ˆ	n	˜	Ä	Pt	<				∈	■
F	SI		/	?	O	—	o		Ä	f	>				∩	SP

注) <23>₁₆、<24>₁₆、<40>₁₆、<5B>₁₆～<5E>₁₆、<60>₁₆、<7B>₁₆～<7E>₁₆
 のコードは国際文字選択によって入れ替わります。
 (本プリンタではアメリカ、日本のみ選択できます。)

【国際文字コード】

コード 16進 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	\$	@	[\]	ˆ	ˆ	()	˜
フランス	#	\$	à	°	ç	¸	ˆ	ˆ	è	ù	è	¨
ドイツ	#	\$	¸	Ä	Ü	U	ˆ	ˆ	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	\$	@	[\]	ˆ	ˆ	()	˜
デンマーク I	#	\$	@	Æ	Ø	Å	ˆ	ˆ	æ	ø	å	˜
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ü	Å	U	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	\$	@	°	\	é	ˆ	ù	ä	ò	è	ì
スペイン I	Pt	\$	@	í	Ñ	¿	ˆ	ˆ	¨	ñ)	˜
日本	#	\$	@	[¥]	ˆ	ˆ	()	˜
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	\$	É	Æ	Ø	Å	U	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	\$	à	í	Ñ	¿	é	ˆ	í	ñ	ó	ú
ラテン語	#	\$	à	í	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

非漢字一覽表

◆ 文字コード一覧表

JISコードはすべて 16 進形式

点\$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31																				
区\$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																																																																																																																			
21	1																																																																																																																																			
22	2																																																																																																																																			
23	3																																																																																																																																			
24	4																																																																																																																																			
25	5																																																																																																																																			
26	6																																																																																																																																			
27	7																																																																																																																																			

注 1) 区点コードは点の部分を加算して求めます。%の区点コードは 0180+03 で 0183 となります。区点コードは 10 進数です。例えば、%の JIS コードは 2173 と読みます。実際の使用には、“&H”をつけて、「&H2173」とします。

注 2) コード表の空白部分を印字させますと、何らかの文字が出力される場合があります。

外字登録領域

点\$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区\$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
\$																																
77:87	※																															
78:88	※																															

点\$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区\$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
\$																																
77:87																																
78:88																																

点\$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	7F
区\$	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95
\$																																
77 87																																
78 88																																

注) ※部 (7720, 777F, 7820, 787F) は登録できません。

JIS⁻⁹⁰ 第一水準漢字一覽表

JIS コードはすべて 16 進形式

点 \$	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
区 \$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20 0	點	、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
21 1	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝																		
22 2	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	じ	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た													
23 3	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ジ	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ													
24 4	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
25 5	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
26 6	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
27 7	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
28 8	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
29 9	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
2A 10	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
2B 11	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
2C 12	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
2D 13	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
2E 14	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
2F 15	二	一	フ	リ	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
30 16	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ			
31 17	垂	娃	阿	哀	愛	挨	始	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
32 18	院	陰	韻	頤	右	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
33 19	押	旺	橫	歐	王	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
34 20	魁	晦	械	海	界	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
35 21	刺	川	菊	瓦	乾	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
36 22	供	婦	僞	兒	乾	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
37 23	掘	窟	查	靴	靴	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
38 24	後	植	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
39 25	察	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
3A 26	次	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
3B 27	宗	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
3C 28	勝	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
3D 29	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
3E 30	試	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
3F 31	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
40 32	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
41 33	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
42 34	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
43 35	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
44 36	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
45 37	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
46 38	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
47 39	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
48 40	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
49 41	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
4A 42	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
4B 43	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
4C 44	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
4D 45	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
4E 46	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐
4F 47	拭	後	植	坑	坑	翁	換	蓬	葵	茜	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐	槐

注) 「茜」の JIS コードは 302B と読みます。実際の使用には、
 “&H”をつけて、「&H302B」とします。

点\$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F		
区\$	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
0	20	0																																
1	21	1	∖	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	∕	×	
2	22	2	U	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	
3	23	3																																
4	24	4	だ	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	ち	
5	25	5	ダ	チ	ヂ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	ヅ	
6	26	6																																
7	27	7	Ю	Я																														
8	28	8	十																															
9	29	9																																
10	2A	10																																
11	2B	11																																
12	2C	12																																
13	2D	13	ミ	リ	キ	シ	フ	ロ	ン	ク	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	
14	2E	14																																
15	2F	15																																
16	30	16	葉	拾	安	按	暗	案	蘭	鞍	杏	以	伊	依	偉	團	夷	委	威	尉	憲	憲	慰	慰	易	椅	為	畏	異	移	絲	宵		
17	31	17	雲	在	飼	當	嬰	影	蘭	家	永	水	洩	瑛	盈	穎	英	英	術	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠		
18	32	18	伽	仕	飼	可	嘉	夏	家	家	永	水	洩	瑛	盈	穎	英	英	術	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠	詠		
19	33	19	垣	姊	飼	可	嘉	夏	家	家	永	水	洩	瑛	盈	穎	英	英	術	詠	詠	詠												

点\$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
区\$	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20 0																															
21 1	÷	=	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	'	°	℃	¥	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	○
22 2	▽	≡	≡	≡	√	∞	∞	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	
23 3	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
24 4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	ら	り	る	れ	ろ	わ	め	き	を	ん	を	ん	を	ん	を	ん	を	ん	を	ん	を	ん	を
25 5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ヨ	ヲ	リ	ル	レ	ロ	ワ	キ	エ	ラ	ン	ヅ	カ	ケ										
26 6																															
27 7	o	p	r	s	t	u	φ	x	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28 8																															
29 9																															
2A 10																															
2B 11																															
2C 12																															
2D 13	”	”	No.	KL	TEL	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	Ⓢ	
2E 14																															
2F 15																															
30 16	萎	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃
31 17	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
32 18	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
33 19	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
34 20	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
35 21	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
36 22	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
37 23	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
38 24	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
39 25	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
3A 26	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
3B 27	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
3C 28	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
3D 29	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
3E 30	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
3F 31	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
40 32	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
41 33	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
42 34	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
43 35	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
44 36	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
45 37	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
46 38	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
47 39	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
48 40	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
49 41	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
4A 42	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
4B 43	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
4C 44	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
4D 45	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
4E 46	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類
4F 47	園	過	握	玩	求	近	戲	擊	午	香	罪	死	的	準	鉦	逗	窃	操	退	逐	釣	凍	奈	煤	彼	斧	圃	摩	尤	沃	類

JIS⁻⁹⁰ 第二水準漢字一覽表

[illegible]

[illegible]

[illegible]

■ ご注意

このプリンタが印字する漢字は JIS C6226-1983 (情報交換用漢字符号系) に準拠していますが、JIS C6234-1983 (ドットプリンタ用 24 ドット字形) は採用していません。したがって、パソコン本体の表示画面の文字および記号なども必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS C6234-1983 の字体との違いはおおむね次の表の通りです。

JIS コード (区点)	プリンタ	JIS	JIS コード (区点)	プリンタ	JIS	JIS コード (区点)	プリンタ	JIS
3022(1602)	啞	哑	3979(2589)	甌	甌	4578(3788)	禱	禱
303B(1627)	飴	飴	3A67(2671)	榊	榊	4642(3834)	瀆	瀆
306E(1678)	溢	溢	3A74(2684)	柵	柵	4654(3852)	澗	澗
3135(1721)	爵	爵	3B2A(2710)	鯖	鯖	466A(3874)	檣	檣
3139(1725)	廐	廐	3B2C(2712)	鎗	鎗	4729(3909)	襦	襦
313D(1729)	噂	噂	3B39(2725)	珊	珊	4739(3925)	褰	褰
3142(1734)	餌	餌	3C48(2840)	屢	屢	482E(4014)	潑	潑
316B(1775)	焰	焰	3D2B(2911)	繡	繡	4830(4016)	醢	醢
322A(1810)	鷗	鷗	3D36(2922)	酋	酋	4B4B(4343)	頰	頰
327A(1890)	恢	恢	3E55(3053)	蔣	蔣	4B70(4380)	鯿	鯿
336B(1975)	葛	葛	3E5F(3063)	醬	醬	4C4D(4445)	麵	麵
337A(1990)	嚙	嚙	3F2A(3110)	蝕	蝕	4C5F(4463)	餅	餅
3442(2034)	澗	澗	4066(3270)	蟬	蟬	4D32(4518)	猷	猷
3540(2132)	祇	祇	4139(3325)	噌	噌	4D69(4573)	萊	萊
3622(2202)	俠	俠	4169(3373)	瘦	瘦	4E7B(4691)	煉	煉
362A(2210)	卿	卿	424D(3445)	驪	驪	4F31(4717)	榔	榔
366D(2277)	軀	軀	4263(3467)	黛	黛	4F39(4725)	蠟	蠟
367B(2291)	櫛	櫛	432E(3514)	樽	樽	5622(5402)	屏	屏
3737(2323)	祁	祁	433D(3529)	箏	箏	5960(5764)	振	振
3771(2381)	倦	倦	444F(3647)	擱	擱	5A39(5825)	攢	攢
377E(2394)	捲	捲	4522(3702)	鄭	鄭	6546(6938)	緌	緌
3834(2420)	齟	齟	4536(3722)	填	填			
396D(2577)	麴	麴	453F(3731)	顛	顛			

◆ 第一水準と第二水準が入れ替わった文字

コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)	コード (区点)	新第1 水準	新第2 水準	コード (区点)
3083 (1619)	鯆	鯆	724D (8245)	4128 (3308)	賤	賤	6C4D (7645)
3229 (1809)	鶯	鶯	7274 (8284)	445B (3659)	壺	壺	5464 (5268)
3342 (1934)	蛎	蠣	695A (7358)	4557 (3755)	砺	礪	626A (6674)
3349 (1941)	攪	攪	5978 (5788)	456E (3778)	梲	櫛	5B6D (5977)
3376 (1986)	竈	竈	635E (6762)	4573 (3783)	濤	濤	5E39 (6225)
3443 (2035)	灌	灌	5E75 (6285)	4676 (3886)	迕	邇	6D6E (7778)
3452 (2050)	諫	諫	6B5D (7561)	4768 (3972)	蠅	蠅	6A24 (7404)
375B (2359)	頸	頸	7074 (8084)	4930 (4116)	桧	檜	5B58 (5956)
395C (2560)	砧	礪	6268 (6672)	4B79 (4389)	俛	儘	5056 (4854)
3C49 (2841)	蕊	藥	6922 (7302)	4C79 (4489)	藪	藪	692E (7314)
3F59 (3157)	靱	靱	7057 (8055)	4F36 (4722)	籠	籠	6446 (6838)

◆ 第二水準に追加された文字

コード (区点)	追加文字	コード (区点)	追加文字
7421 (8401)	堯	7424 (8404)	瑤
7422 (8402)	楨	7425 (8405)	凜
7423 (8403)	遙	7426 (8406)	熙